YAMAHA

J

AVENTAGE
ブルーレイディスクプレーヤー

BD-A1040

取扱説明書

ご使用前に本書の「安全上のご注意」（86 ～ 88ページ）を必ずお読みください。

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■ 製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。

■ 保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。

本書は下記のウェブサイトから PDF 版をダウンロードできます。

http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/

保証書別添付

目次

付属品を確認する 4

本機の特長 5

本機でできること 5

ディスクとファイルについて 6

再生できるディスク 6
再生できるデータファイル 6
ディスクをセットする 7

各部の名称 8

前面 8
背面 9
リモコン 10

準備する 12

映像 / 音声機器を接続する 12

出力端子とケーブル 13
AV レシーバー経由でテレビを接続する 14
テレビを接続する 14
テレビ / 音声機器を接続する 14

ネットワークに接続する 15

有線接続 15
無線接続 15
DLNA 16

USB メモリーを接続する 17

その他の機器を接続する 17

リモート接続対応のヤマハ製機器を接続する 17

電源コードを接続する 18

初期設定を行う 19

簡単セットアップを実行する 19
無線接続を設定する 20
本機のソフトウェアを更新する 21

再生する 22

再生の基本操作 22

市販のディスクを再生する 22
動画 / 音楽ファイルを再生する 23
写真を見る 25

便利な再生機能 26

お好みの順番で再生する（プログラム再生） 26
順不同で再生する（シャッフル再生） 27
繰り返し再生する（リピート再生） 27
指定した箇所から再生する（サーチ再生） 28
字幕言語を切り替える 29
アングルを切り替える 29
音声言語や音声フォーマットを切り替える 29
原音に忠実な音声で再生する（ピュアダイレクト） 29

テレビ画面で操作する 30

画面で再生操作をする（オンスクリーンメニュー） 30
再生情報を表示する 31

ブルーレイディスクの特殊コンテンツを楽しむ（BONUSVIEW™/BD-Live™） 33

第 2 映像や第 2 音声を楽しむ（Picture in Picture/Secondary Audio） 33
BD-Live™ を楽しむ 34

ネットワークサービスを利用する 34
Bluetooth® 経由で音楽を楽しむ 36
Bluetooth 機器とペアリングする 36
Bluetooth 機器と接続して再生する 37
スマートフォンの動画 / 写真をテレビで楽しむ（Miracast™）..... 37
モバイル機器から本機を操作する（AV CONTROLLER）..... 38

設定する 39

本機の各種機能を設定する（設定メニュー）..... 39
設定メニューでできること 40
一般設定 42
ディスプレイ設定 47
オーディオ設定 49
システム情報 51
本機の映像 / 音声出力 52
映像出力フォーマット 52
音声出力フォーマット 53

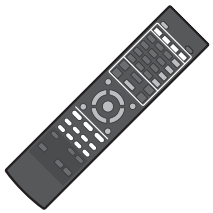
付録 55

故障かな？と思ったら 55
電源 / システム / リモコン 55
映像 56
音声 57
ネットワーク 57
Bluetooth 59
テレビ画面のエラー表示 60
ディスクと動画再生に関するご注意 61
ディスクに関するご注意 61
3D 映像の視聴に関するご注意 61
Cinavia テクノロジーについて 62
用語 / 技術解説 63
映像 / ディスクに関する用語 63
音声に関する用語 63
ネットワークに関する用語 64
商標 65
主な仕様 66
ソフトウェア情報 68
索引 84
安全上のご注意 86

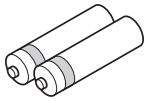
付属品を確認する

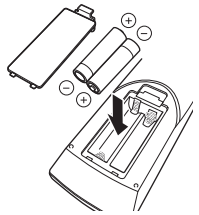
すべて揃っていることをお確かめください。

□リモコン



□単 4 乾電池（2 本）





正しい向き（+と−）でリモコンに入れてください。

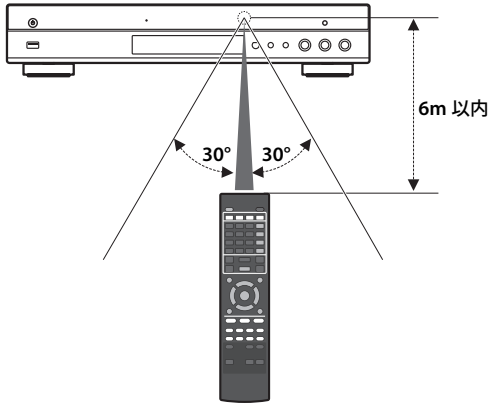
□電源コード



□取扱説明書（本書）
□ステッカー（無線に関する注意）

リモコンの操作範囲

- 本体のリモコン信号受光部に向け、以下の範囲内で操作してください。



- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書は付属のリモコンによる操作を主として説明しています。
- 本書で使用されている記号

  使用時の注意点や機能の制約が記載されています。

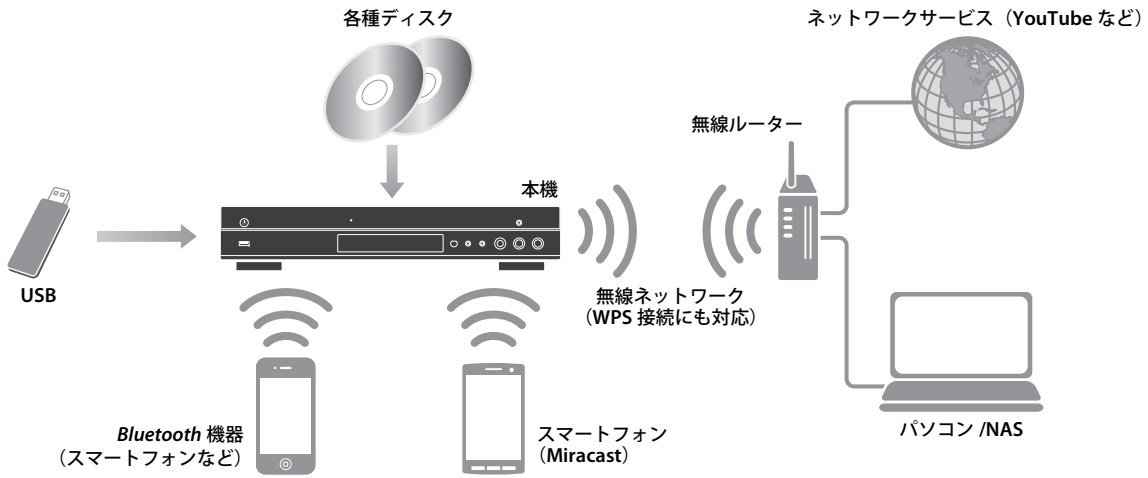
  知っておくと便利な補足情報が記載されています。

- 本機の一部の機能は特定のディスク / ファイルにのみ対応しています。その場合、本書では対応ディスク / ファイルを以下のように表示しています。

  BD 市販のブルーレイディスク（BD-Video）、BDAV
  DVD 市販の DVD（DVD-Video/DVD-Audio）、DVD-VR、DVD+VR
  CD オーディオ CD、スーパーオーディオ CD（SA-CD）
  VIDEO 動画ファイル
  MUSIC 音楽ファイル
  PHOTO 写真ファイル

本機の特長

本機でできること



ハイレゾ音源再生に対応したプレーヤー

- スーパーオーディオ CD（SA-CD）の DSD ダイレクト出力（7 ページ）
- 192kHz/24bit ハイレゾ音源再生（ブルーレイディスク、DVD-Audio、音楽ファイル）（6 ページ）
- ブルーレイ 3D™（47 ページ）、BONUSVIEW™（33 ページ）、BD-Live™（33 ページ）
- 原音に忠実な音声で再生するピュアダイレクト（29 ページ）

スマートフォン / タブレットとの豊富な連携機能

- スマートフォンの動画や写真をテレビ画面で楽しむ（Miracast™）（37 ページ）
- *Bluetooth*® 経由で音楽を楽しむ（36 ページ）
- モバイル機器用アプリケーション「AV CONTROLLER」を使って本機を操作する（38 ページ）
- DMC アプリケーションを使った DLNA 再生（16 ページ）

充実したネットワーク機能 / ファイル再生機能

- ネットワークサービス（ストリーミング再生）を楽しむ（34 ページ）
- DLNA サーバー（パソコン /NAS）のコンテンツを楽しむ（23 ページ）
- USB メモリーやディスクに保存した動画、音楽、写真ファイルの再生（23 ページ）

かんたん設定 / かんたん操作

- 自動で無線接続を設定する WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能（20 ページ）
- ネットワークまたは USB 経由でソフトウェアの更新（21 ページ）
- 本機に接続したテレビやAVレシーバーとの連動操作（HDMIコントロール）（42ページ）

ディスクとファイルについて

再生できるディスク

本機では以下のディスクを再生することができます。

ディスクの種類	フォーマット
BD-ROM	BD-Video
BD-R、BD-R（LTH）、BD-R DL、BD-RE、BD-RE DL	BD-Video、BDAV、データファイル
DVD-ROM	DVD-Video、DVD-Audio
DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW	DVD-Video、DVD-VR（CPRM 対応）、AVCHD、AVCREC、データファイル
DVD+R、DVD+R DL、DVD+RW	DVD-Video、DVD+VR、AVCHD、データファイル
CD-ROM	CDDA、HDCD
CD-R、CD-RW	CDDA、データファイル
SA-CD	SA-CD

- **本機は 12cm ディスクおよび 8cm ディスクを再生できます。8cm ディスクを再生する際に、アダプターは使用しないでください。**
- **本機はディスクのラベル面に正規ロゴマークがついているディスクを再生できます。それ以外のディスクは、再生できなかったり映像 / 音声が正しく出力されなかったりする場合があります。**
- **自作ディスクに収録されているファイルを本機で再生するには、あらかじめディスクのファイナライズを行ってください。（ファイナライズとは、再生対応機器で再生できるよう処理することです。）**

再生できるデータファイル

本機では、ディスク、USB メモリー、DLNA サーバーに保存されている以下のデータファイルを再生することができます。

データファイルの種類	ファイル形式
音楽ファイル	AAC（.aac/.m4a）、ALAC（.m4a）[*1]、FLAC（.flac）[*1]、MP3（.mp3）[*2]、WAV（.wav）[*1]、WMA（.wma）[*3]
動画ファイル	ASF（.asf）、AVI（.avi）、DivX（.divx）、MKV with DivX（.mkv）、MKV with H.264（.mkv）、MPEG-4（.mp4）、MPEG PS（.mpeg/.mpg）、MPEG TS（.ts）、VOB（.vob）、WMV（.wmv）[*4]
写真ファイル	JPEG（.jpeg/.jpg）、GIF（.gif）、PNG（.png）

***1 サンプリング周波数：最大 192kHz/24bit（LPCM/ ステレオ）**
***2 サンプリング周波数：32kHz ～ 48kHz（ステレオ）、ビットレート：8kbps ～ 320kbps**
***3 サンプリング周波数：32kHz ～ 48kHz（ステレオ）、ビットレート：32kbps ～ 192kbps**
***4 WMV9（最大解像度：1,920×1,080）**

- **対応ファイルでも、ファイルの作成方法や使用しているコーデックなどにより本機で再生できない場合があります。対応ファイルすべての再生を保証するものではありません。**
- **著作権保護ファイルは再生できません。**
- **DLNA での再生は、DLNA サーバー（パソコン /NAS）が該当ファイルの再生に対応している必要があります。**

◆ディスクのリージョンコード

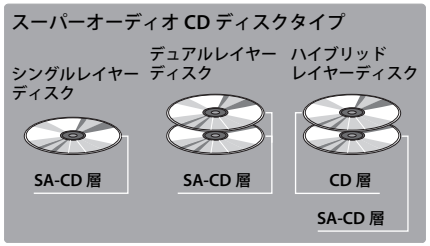
市販のブルーレイディスク（BD-Video）や DVD（DVD-Video）にはリージョンコード（発売地域ごとに割り当てられた識別番号）が決められています。本機では、リージョンコードが「A」または「ABC」のブルーレイディスク、「2」または「ALL」の DVD を再生できます。

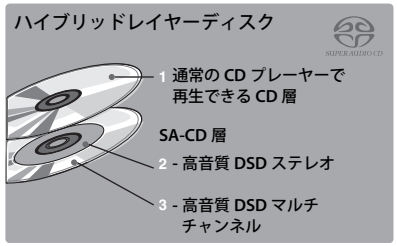
BD-Video	DVD-Video
	

- ディスクによっては動作が本書の説明と異なる場合があります。また再生や操作ができない場合があります。
- ディスクの再生中にメニュー画面や指示が表示された場合、表示内容にしたがって操作してください。

◆スーパーオーディオ CD（SA-CD）について

高音質な音楽情報が高密度に記録されたディスクです。スーパーオーディオ CD には、シングルレイヤー、デュアルレイヤー、ハイブリッドレイヤーの 3 種類のタイプがあります。ハイブリッドレイヤーのディスクには、1 層のレイヤーに 2 種類のデータが記録され、もう 1 層に従来の音楽 CD データが記録されているため、通常の CD プレーヤーでも再生できます。



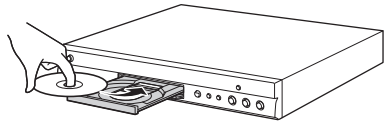


- ハイブリッドレイヤーディスクを再生する際のレイヤーは、SA-CD/CD キー（11 ページ）で切り替えることができます。
- 設定メニューの「HDMI 出力」（50 ページ）で SA-CD 再生時に出力する音声信号の種類（DSD または PCM）を設定できます。

- 本機ではディスクに含まれる文字データは表示されません。

ディスクをセットする

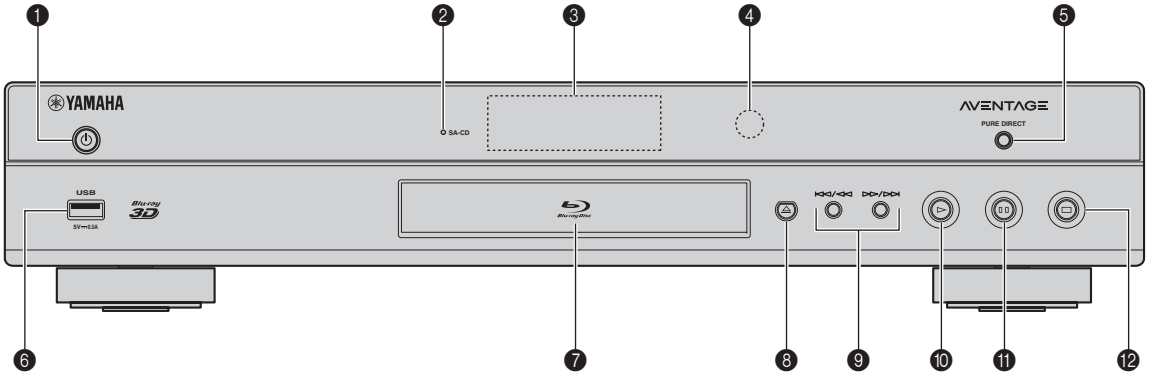
- ディスクのラベル面を上にしてディスクトレイにセットしてください。
- 両面にデータが記録されているディスクを再生する場合は、再生したい面を下に向けてください。



- ディスクによっては読み込みに時間がかかる場合があります。

各部の名称

前面



❶ ⏻（電源）キー
本機の電源を入 / 切（スタンバイ）します。

❷ SA-CD 表示
スーパーオーディオ CD（SA-CD）をディスクトレイにセット時、SA-CD 層（11 ページ）が選ばれている場合に点灯します。

❸ 前面ディスプレイ
各種情報が表示されます。

❹ リモコン信号受光部
リモコンの信号を受信します（4 ページ）。

❺ PURE DIRECT（ピュアダイレクト）キー
ピュアダイレクトを有効 / 無効にします（29 ページ）。

❻ USB 端子
USB メモリーを接続します（17 ページ）。

❼ ディスクトレイ
ディスク再生時にディスクをセットします（7 ページ）。

❽ ⏏（トレイ開閉）キー
ディスクトレイを開閉します（7 ページ）。

❾ ⏮/◁◁、▷▷/⏭（スキップ / サーチ）キー
再生中のコンテンツの先頭（繰り返し押すと前のコンテンツ）/ 次のコンテンツにスキップします。
押し続けると、早戻し / 早送りします。

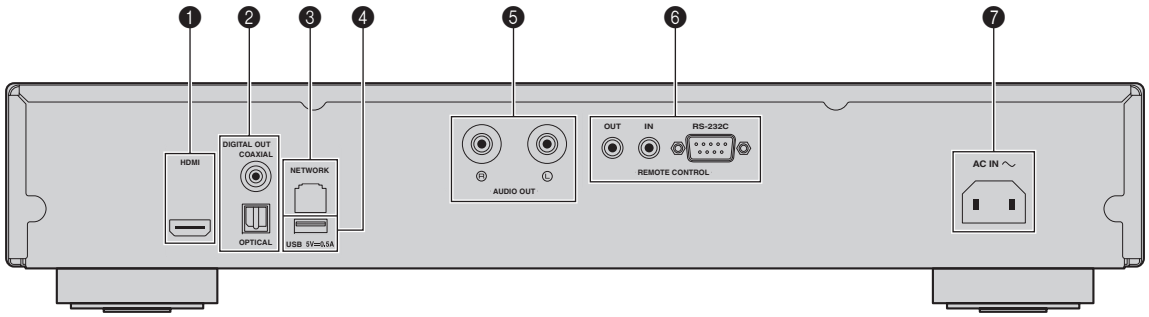
❿ ▷（再生）キー
再生を始めます。

⓫ ⏸（一時停止）キー
再生を一時停止します。

⓬ ⏹（停止）キー
再生を停止します。

- 前面パネルの保護シートをはがしてからお使いください。

背面



❶ HDMI 端子
HDMI 入力対応のテレビや AV レシーバーを接続し、映像 / 音声を出力します（14 ページ）。

❷ DIGITAL OUT（デジタルアウト）端子

COAXIAL（コアキシャル）端子
同軸デジタル入力を持つ外部機器を接続し、音声を出力します（14 ページ）。

OPTICAL（オプティカル）端子
光デジタル入力を持つ外部機器を接続し、音声を出力します（14 ページ）。

❸ NETWORK（ネットワーク）端子
ネットワークケーブルを使って本機をネットワークに接続します（15 ページ）。

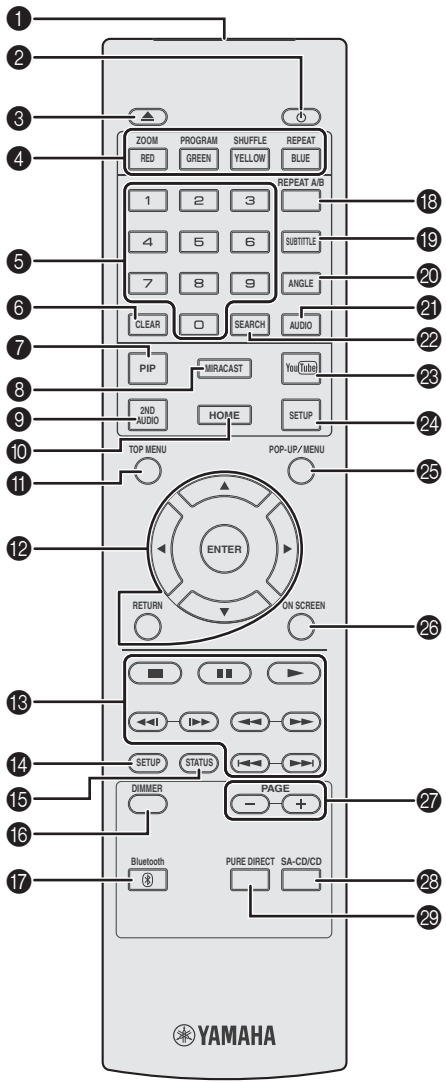
❹ USB 端子
USB メモリーを接続します（17 ページ）。

❺ AUDIO OUT（オーディオアウト）端子
アナログステレオ入力を持つ外部機器を接続し、音声を出力します（14 ページ）。

❻ REMOTE CONTROL（リモートコントロール）端子
リモート接続対応のヤマハ製機器を接続し、リモコン信号を転送します（17 ページ）。

❼ AC IN（AC イン）端子
電源コードを接続します（18 ページ）。

リモコン



- ディスクやファイルによっては、一部またはすべての機能が使用できない場合があります。
- 操作できないキーを押した場合、画面の左上に「⃠」が表示されます。
- 一部の機能はテレビ画面（オンスクリーンメニューなど）でも操作できます。

❶ リモコン信号送信部
赤外線を送信します。

❷ ⏻（電源）キー
本機の電源を入 / 切（スタンバイ）します。

❸ ⏏（トレイ開閉）キー
ディスクトレイを開閉します（7 ページ）。

❹ カラー（RED/GREEN/YELLOW/BLUE）キー *BD*
ブルーレイディスクの画面操作時に使用します。

ZOOM（ズーム）キー *DVD* *VIDEO* *PHOTO*
画像の表示倍率を切り替えます。

PROGRAM（プログラム）キー *DVD* *CD*
プログラム再生の再生順を設定します（26 ページ）。

SHUFFLE（シャッフル）キー
DVD *CD* *VIDEO* *MUSIC* *PHOTO*
シャッフル再生の方法を選びます（27 ページ）。

REPEAT（リピート）キー
BD *DVD* *CD* *VIDEO* *MUSIC* *PHOTO*
リピート再生の方法を選びます（27 ページ）。

❺ 数字キー
再生する曲やチャプターを指定する場合など、数値を入力します。

❻ CLEAR（クリアー）キー
入力した数値や設定を取り消します。

❼ PIP キー *BD*
ブルーレイディスクの第 2 映像（Picture in Picture）を有効 / 無効にします（33 ページ）。

❽ MIRACAST（ミラキャスト）キー
MIRACAST を使用する際に押します（37 ページ）。

❾ 2ND AUDIO（セカンドオーディオ）キー *BD*
ブルーレイディスクの第 2 音声（Secondary Audio）を有効 / 無効にします（33 ページ）。

❿ HOME（ホーム）キー
テレビ画面にホームメニューを表示します（23 ページ）。

⓫ TOP MENU（トップメニュー）キー *BD* *DVD*
ディスクのトップメニュー画面を表示します（22 ページ）。

⓬ メニュー操作キー

カーソルキー	メニューや設定値を選びます。
ENTER（エンター）キー	選択項目を確定します。
RETURN（リターン）キー	メニュー操作中に、1 つ前の表示に戻します。

⓭ 再生操作キー
BD *DVD* *CD* *VIDEO* *MUSIC* *PHOTO*

■（停止）キー	再生を停止します。
▮▮（一時停止）キー	再生を一時停止します。
►（再生）キー	再生を始めます。

◄◄I/I►►（インスタントリプレイ / サーチ）キー
10 秒前 /30 秒後の再生地点にスキップします。
写真の再生中は機能しません。

◄◄/►►（サーチ）キー
早戻し / 早送りします。押すたびに早戻し / 早送りの速さが切り替わります。► キーを押すと、通常の再生に戻ります。
写真の再生中は、スライドショー再生の速さが切り替わります。

I◄◄/►►I（スキップ）キー
再生中のコンテンツの先頭（繰り返し押すと前のコンテンツ）/ 次のコンテンツにスキップします。

⑭ **SETUP（セットアップ）キー**
テレビ画面に設定メニューを表示します（39 ページ）。

⑮ **STATUS（ステータス）キー**
テレビ画面に再生情報（再生時間など）を表示します（31 ページ）。

⑯ **DIMMER（ディマー）キー**
前面ディスプレイの明るさを 4 段階で切り替えます。

⑰ **(ブルートゥース）キー**
Bluetooth を使用する際に押します（36 ページ）。

⑱ **REPEAT A/B（リピート A/B）キー**
BD DVD CD VIDEO MUSIC
A-B リピート再生で繰り返し再生する範囲を指定します（28 ページ）。

⑲ **SUBTITLE（サブタイトル）キー**
BD DVD VIDEO
ディスクに収録されている字幕言語を切り替えます（29 ページ）。

⑳ **ANGLE（アングル）キー** *BD DVD*
ディスクに収録されているカメラアングルを切り替えます（29 ページ）。

㉑ **AUDIO（オーディオ）キー** *BD DVD VIDEO*
ディスクに収録されている音声言語や音声フォーマットを切り替えます（29 ページ）。

㉒ **SEARCH（サーチ）キー**
BD DVD CD VIDEO MUSIC PHOTO
再生中に視聴したい箇所を指定します（28 ページ）。

㉓ **YouTube（ユーチューブ）キー**
YouTube を使用する際に押します（34 ページ）。

㉔ **SETUP（セットアップ）キー**
テレビ画面に設定メニューを表示します（39 ページ）。

㉕ **POP-UP/MENU（ポップアップメニュー）キー**
BD DVD
ブルーレイディスクのポップアップメニュー画面、または DVD のディスクメニュー画面を表示します（22 ページ）。

㉖ **ON SCREEN（オンスクリーン）キー**
テレビ画面にオンスクリーンメニューを表示します（30 ページ）。

㉗ **PAGE（ページ）キー** *DVD*
DVD-Audio の再生時に、スライドショーなどのページを切り替えます。

㉘ **SA-CD/CD キー**
SA-CD/CD ハイブリッドレイヤーディスク（7 ページ）を再生する際のレイヤー（SA-CD 層または CD 層）を切り替えます。
（ディスクトレイにディスクがセットされているときは操作できません。）

㉙ **PURE DIRECT（ピュアダイレクト）キー**
ピュアダイレクトを有効 / 無効にします（29 ページ）。

◆リモコン ID を変更する

複数のヤマハ製機器お使いの場合、本機のリモコンを操作すると別の機器が同時に動いたり、ほかのリモコンを操作すると本機が動いたりすることがあります。このような場合は、それぞれのリモコンで各機器を操作するために、リモコン ID を変更してください。

初期設定では、本機（リモコンおよび本体）は「ID1」に設定されています。

1 本機で再生を行っている場合は、再生を停止する。

ディスクトレイにディスクがセットされている場合は、ディスクを取り出します。

2 リモコンの ID を変更する。

「ID1」に設定するには、リモコンの RED キー（赤）と数字キー（1）を 7 秒間押し続ける。

「ID2」に設定するには、リモコンの RED キー（赤）と数字キー（2）を 7 秒間押し続ける。

3 本体の ID を変更する。

本体前面の ⏮/◁◁ キーと ▷▷/⏭ キーを 2 秒間押し続けると現在の ID が前面ディスプレイに表示されます。

そのまま、さらに 2 秒間押し続けると「ID1」と「ID2」が切り替わります。

!

- **リモコンの電池切れ、または電池が入っていない状態が続くと、リモコンの内部メモリーが消去され自動的に「ID1」に戻ります。必要に応じてリモコンの ID を設定し直してください。**
- **本体を初期化すると、本体の ID が「ID1」に戻ります。必要に応じて本体の ID を設定し直してください。**

準備する

映像 / 音声機器を接続する

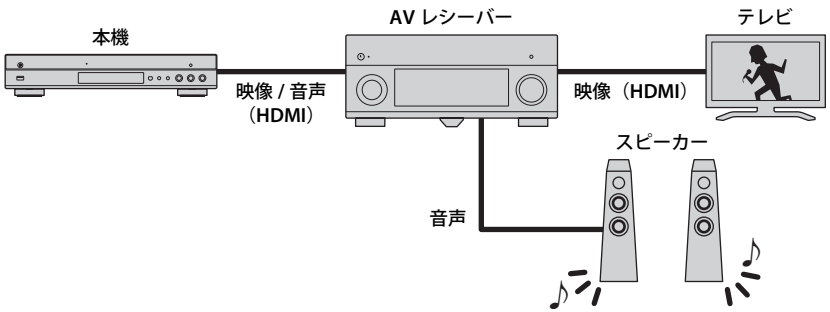
テレビや AV レシーバーなどの映像 / 音声機器を本機に接続します。

- 外部機器を接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから外してください。

- 接続する機器にあわせて、必要なケーブルをご用意ください。
- 本機が出力できる映像 / 音声信号については、「本機の映像 / 音声出力」（52 ページ）をご覧ください。

◆テレビと AV レシーバーを使って映像 / 音声を楽しむ

「AV レシーバー経由でテレビを接続する」（14 ページ）をご覧ください。



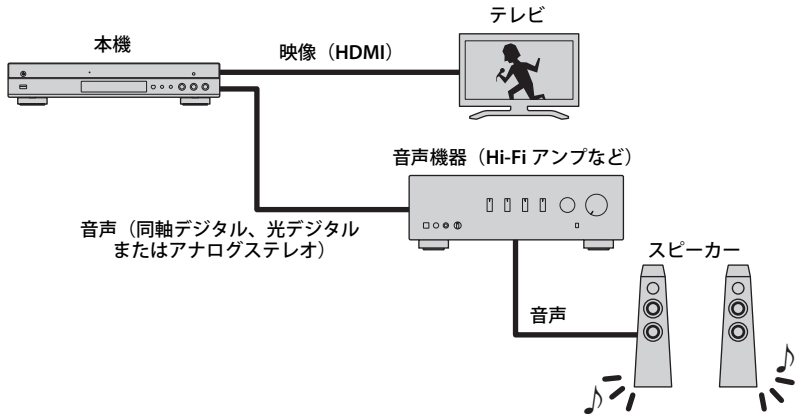
◆テレビだけで映像 / 音声を楽しむ

「テレビを接続する」（14 ページ）をご覧ください。



◆テレビと別の音声機器を使って映像 / 音声を楽しむ

「テレビ / 音声機器を接続する」（14 ページ）をご覧ください。



HDMI コントロール

HDMI ケーブルを使って、HDMI コントロール対応のテレビや AV レシーバーを本機と接続すると、テレビや本機の操作に連動して別の機器を操作できます。

- 本機で再生を始めると、テレビや AV レシーバーが本機からの入力に切り替わる。
- テレビの電源を切ると、本機の電源も切れる（再生中や設定メニュー表示中を除く）。

HDMI コントロールを使用するには、設定メニューの「HDMI コントロール」（42 ページ）を「オン」に設定してください。HDMI コントロールの設定方法については、お使いのテレビや AV レシーバーの取扱説明書をご覧ください。

ブルーレイ 3D ディスクの再生について

本機はブルーレイ 3D ディスクの再生に対応しています。3D 映像を楽しむには、設定メニューの「3D 出力」（47 ページ）を「自動」（初期値）に設定してください。なお、本機に接続するテレビや AV レシーバー（AV レシーバー使用時のみ）も 3D に対応している必要があります。

出力端子とケーブル

本機は以下の出力端子を装備しています。接続する外部機器側の出力端子に合わせて、必要なケーブルをご用意ください。

◆映像 / 音声を出力する端子

❑ HDMI 端子

デジタル映像およびデジタル音声を伝送します。接続には、HDMI ケーブルを使います。



HDMI ケーブル

- **HDMI ロゴ入りの HDMI ケーブル（19 ピン）をお使いください。また、信号の品質劣化を防ぐため、長さが 5.0 メートル以下のケーブルをおすすめします。**

- **HDMI コントロール、3D 映像の伝送に対応しています。**
- **3D 映像をお楽しみになる場合は、ハイスピード HDMI ケーブルをお使いください。**

◆音声を出力する端子

❑ OPTICAL 端子

デジタル音声を伝送します。接続には、光デジタルケーブルを使います。ケーブルの先端にキャップが付いている場合は、取り外してからお使いください。

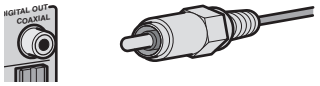
光デジタルケーブル



❑ COAXIAL 端子

デジタル音声を伝送します。接続には、同軸デジタルケーブルを使います。

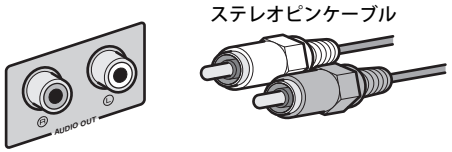
同軸デジタルケーブル



❑ AUDIO OUT 端子

アナログステレオ音声を伝送します。接続には、ステレオピンケーブルを使います。

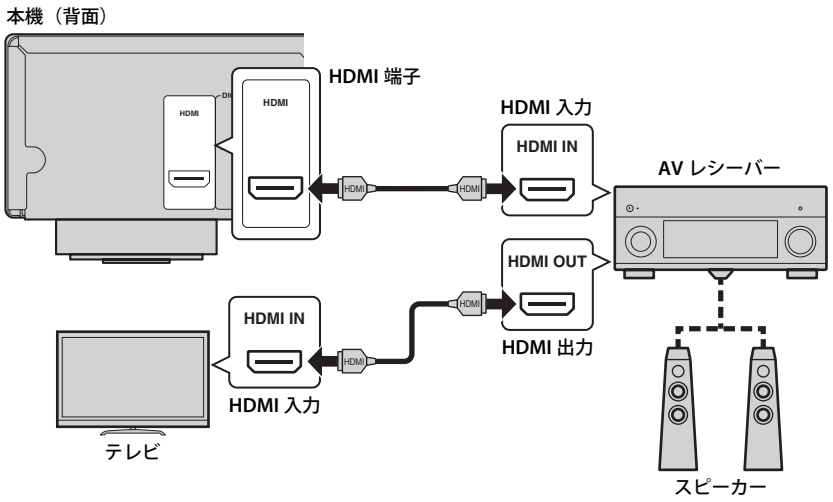
ステレオピンケーブル



AV レシーバー経由でテレビを接続する

HDMI ケーブルを使って、本機、AV レシーバー、テレビを接続します。

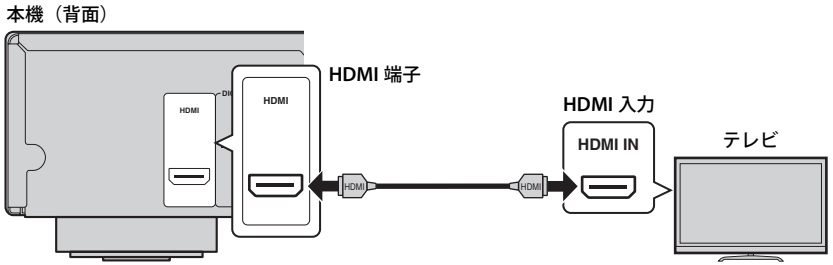
映像はテレビ、音声は AV レシーバーに接続したスピーカーで楽しむことができます。



テレビを接続する

HDMI ケーブルを使って、テレビを本機に接続します。

映像はテレビ、音声はテレビ内蔵のスピーカーで楽しむことができます。

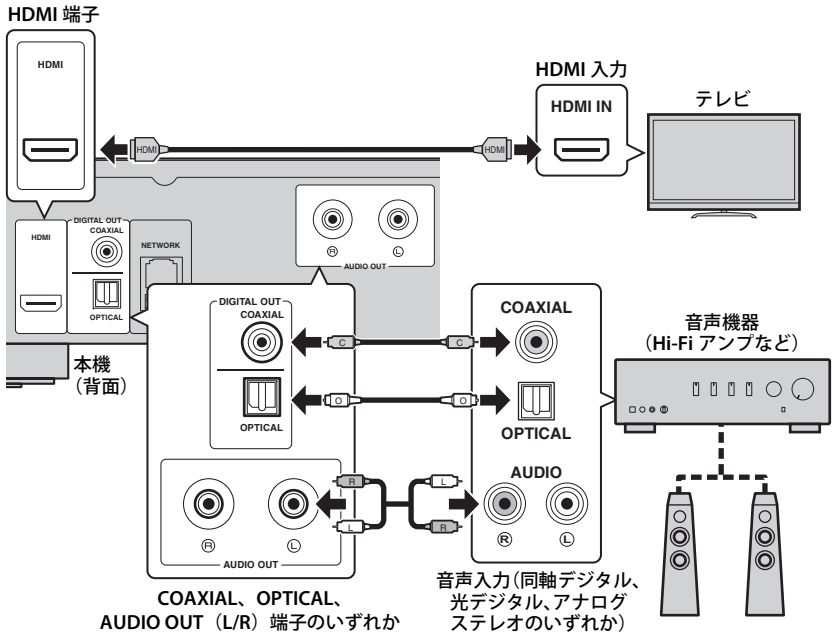


テレビ / 音声機器を接続する

HDMI ケーブルを使ってテレビを本機に接続し、音声ケーブル（同軸デジタル、光デジタル、ステレオピンケーブルのいずれか）を使って音声機器（Hi-Fi アンプなど）を本機に接続します。

映像はテレビ、音声は音声機器のスピーカーで楽しむことができます。

- スーパーオーディオ CD（SA-CD）の音声は、COAXIAL 端子および OPTICAL 端子から出力することはできません。



- テレビから音声が出力される場合は、設定メニューの「オーディオ出力（HDMI）」（50 ページ）を「オフ」に設定すると、本機からテレビへの音声出力を無効にできます。
- 設定メニューの「オーディオ出力（同軸 / 光）」（49 ページ）で COAXIAL 端子と OPTICAL 端子の音声出力フォーマットを設定できます。

ネットワークに接続する

本機を無線または有線（ネットワークケーブル）でルーター（アクセスポイント）に接続すると、以下の機能を利用することができます。

- DLNA サーバー（パソコン /NAS）のコンテンツ（動画、音楽など）を本機で楽しむ（16 ページ）
- ネットワークサービスを使ってコンテンツを楽しむ（34 ページ）
- BD-Live 対応ディスクを再生する（34 ページ）
- モバイル機器から本機を操作する（AV CONTROLLER）（38 ページ）

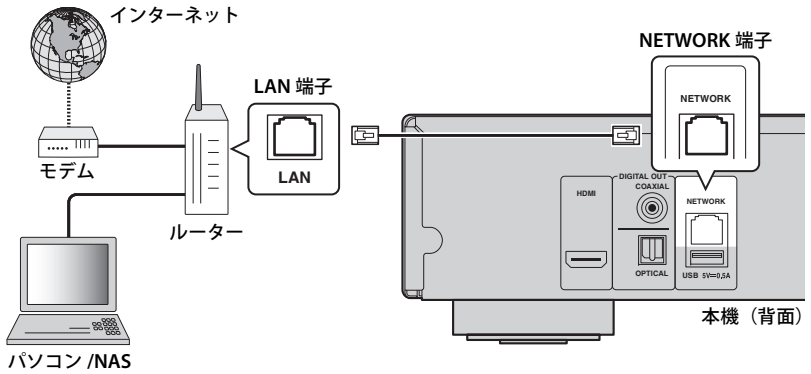
!

- **10BASE-T/100BASE-TX 対応のルーター（アクセスポイント）およびネットワークケーブルをご使用ください。**
- **セキュリティソフトや、ネットワーク機器の設定（ファイアウォールなど）により、本機がパソコンやネットワークサービスにアクセスできないことがあります。その場合はセキュリティソフトやネットワーク機器の設定を変更してください。**
- **ネットワークサービスや BD-Live 機能を使用する場合は、ブロードバンド回線をご使用ください。**

- **DHCP サーバー対応のルーターをお使いの場合は、本機でネットワーク設定を行う必要はありません。ネットワーク情報（IP アドレスなど）が自動で割り当てられます。ルーターが DHCP サーバー非対応の場合や、ネットワーク情報を手動で割り当てる場合は、設定メニューの「IP アドレス設定」（45 ページ）で設定を行ってください。**

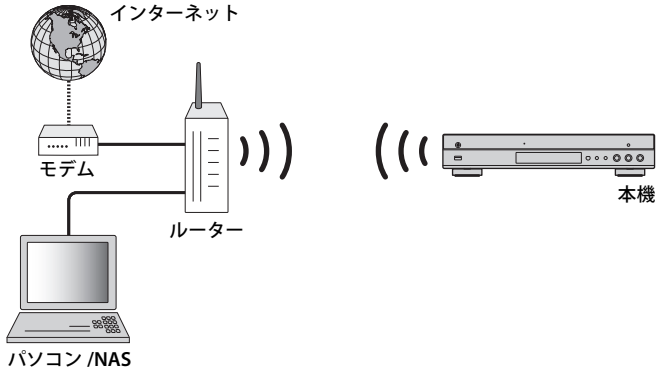
有線接続

市販の STP ネットワークケーブル（CAT-5 以上のストレートケーブル）を使って、本機をルーターに接続します。



無線接続

本機とルーターを無線で接続する場合は、すべての接続が完了してから無線の接続設定を行ってください（20 ページ）。



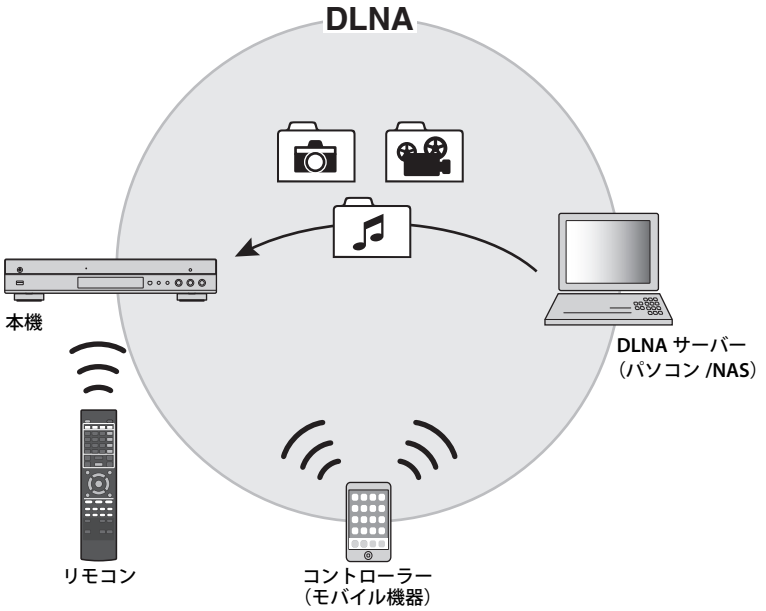
DLNA

DLNA を使用すると、DLNA サーバー（パソコンや NAS）に保存されているメディアファイル（動画、音楽、写真など）をネットワーク経由で共有し、本機で再生することができます。

また、モバイル機器（スマートフォン、タブレットなど）を使って再生するファイルを選ぶことも可能です。

これらの機能を使用するには、ネットワーク接続や電源コードの接続が完了してから、DLNA サーバーでメディアの共有設定を行ってください。

- **この機能を使用するには、本機と DLNA サーバー（パソコン /NAS）が同じネットワークに接続されている必要があります。**
- **NAS を DLNA サーバーとして使用する場合は、お使いの NAS が DLNA に対応していることをご確認ください。**



◆メディアの共有設定を行う

DLNA サーバー（パソコン /NAS）に保存されているメディアファイル（動画、音楽、写真など）を本機で再生するには、DLNA サーバーで本機とのメディア共有を有効にする必要があります。

- **メディアの共有設定について詳しくは、パソコン /NAS や DLNA サーバーソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。**

1 DLNA サーバーと本機の電源を入れる。

2 パソコンを DLNA サーバーとして使用する場合は、パソコンに DLNA サーバーソフトウェア（Windows Media Player 12 など）がインストールされていることを確認する。

3 DLNA サーバーで、メディアの共有を有効にし、本機との共有を許可する。

設定が完了すると、本機のホームメニュー（23 ページ）から、DLNA サーバーに保存されているメディアファイルが選べるようになります。

◆モバイル機器で再生ファイルを選ぶ

お使いのモバイル機器（スマートフォン、タブレットなど）にデジタル・メディア・コントローラー（DMC）対応アプリケーションがインストールされている場合、それらのアプリケーションを使って DLNA サーバーに保存されたメディアファイルを選択し、本機で再生できます。

デジタル・メディア・コントローラー（DMC）の操作方法については、アプリケーションやモバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

- **この機能を使用するには、モバイル機器が本機や DLNA サーバー（パソコン /NAS）と同じネットワークに接続されている必要があります。**

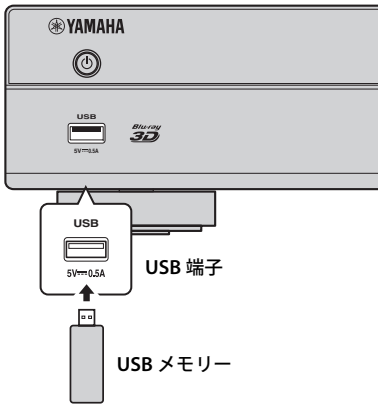
- **モバイル機器から操作するには、設定メニューの「DMC コントロール」（46 ページ）を「使用する」（初期値）に設定してください。**

USB メモリーを接続する

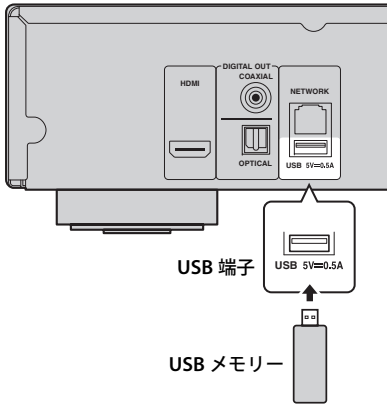
USB メモリーを使用すると、USB メモリーに保存されているメディアファイル（動画、音楽、写真など）を本機で再生することができます（23 ページ）。

- 本機は FAT16、FAT32、NTFS フォーマットの USB メモリー（マスストレージクラス）に対応しています。
- USB メモリーのメーカーやモデルによっては、USB メモリーや保存ファイルが本機で認識されない場合があります。
- USB 延長ケーブルを使用しないでください。本機が正しく動作しない場合があります。
- BD-Live 機能（34 ページ）を使用するには、USB メモリーを USB 端子（前面または背面）に接続する必要があります。

本機（前面）



本機（背面）

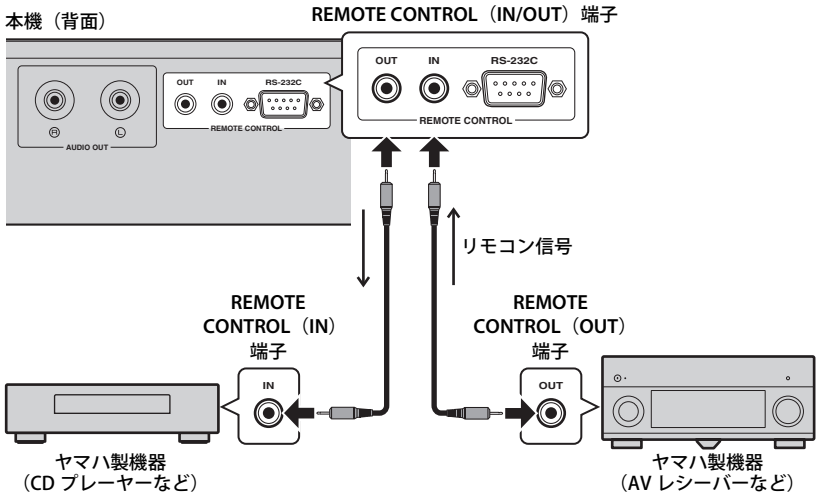


その他の機器を接続する

リモート接続対応のヤマハ製機器を接続する

本機のようにリモート接続に対応している別のヤマハ製機器をお使いの場合は、モノラルミニプラグケーブルを使って各機器の REMOTE CONTROL（IN/OUT）端子を接続すれば、リモコン信号を転送できます。

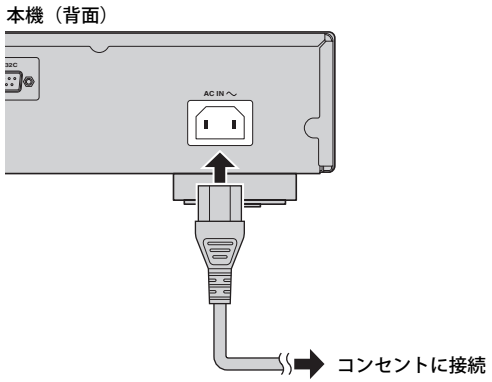
- 各機器を接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから外してください。
- RS-232C 端子はサービス用です。通常は使用しないでください。

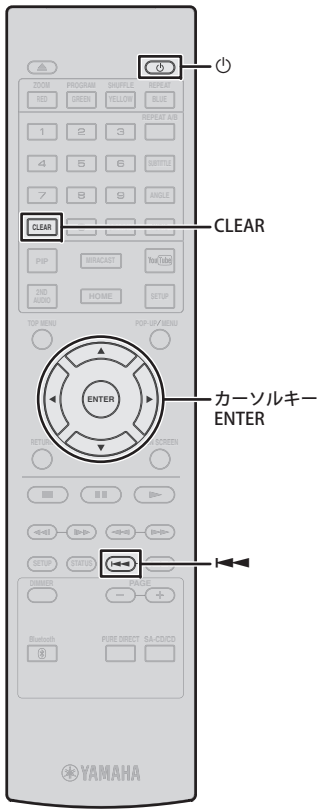


- シーン連動再生に対応しているヤマハ製 AV レシーバーをお使いの場合、AV レシーバーの操作と連動して本機の再生を開始することができます。詳しくは、AV レシーバーの取扱説明書をご覧ください。

電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、付属の電源コードを本機に接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。





初期設定を行う

簡単セットアップを実行する

初めて本機の電源を入れた場合は、簡単セットアップ画面が表示されます。簡単セットアップでは、表示言語、解像度、画面サイズをかんたんに設定できます。

1 ⏻（電源）キーで本機の電源を入れる。

2 テレビの電源を入れ、テレビ側の入力を本機からの映像に切り替える。

AV レシーバーを使用している場合は、AV レシーバーの入力を本機に切り替えてください。

3 簡単セットアップ画面が表示されたら、ENTER キーを押す。



4 カーソルキーと ENTER キーで表示言語、解像度、画面サイズを選ぶ。



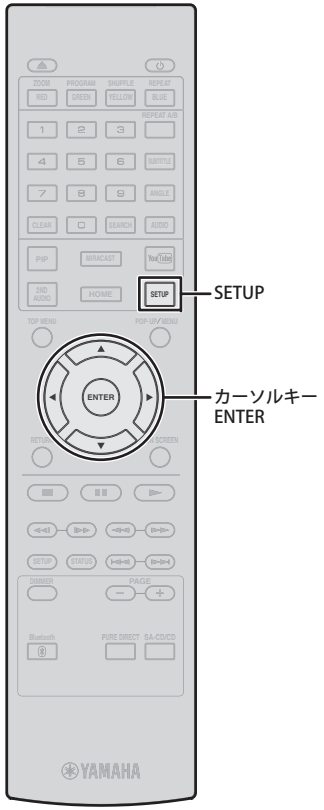
- 前の画面に戻るには、⏮ キーを押します。

5 設定が完了したら、ENTER キーを押す。



- 簡単セットアップは、設定メニューの「簡単セットアップ」（43 ページ）から実行することもできます。
- 2 回目以降は電源を入れたあと、3D 再生に関するメッセージ（43 ページ）が表示されます。ENTER キーを押すとメッセージが消えます（CLEAR キーを押すと次回以降は表示されなくなります）。

- 簡単セットアップ実行後に映像が表示されなくなった場合は、「故障かな？と思ったら（映像）」（56 ページ）をご覧ください。



無線接続を設定する

本機とルーターを無線で接続するには、以下の手順を実行します。ネットワークケーブルを使って接続している場合は、この設定は必要ありません。

1 **SETUP キーを押して設定メニュー画面を表示する。**



2 **カーソルキーと ENTER キーで「一般設定」→「ネットワーク」→「接続設定」→「ワイヤレス」の順に選ぶ。**



3 **カーソルキー（◀/▶）で「はい」を選び、ENTER キーを押す。**



4 **カーソルキー（▲/▼）で接続方法を選んでから、カーソルキー（◀/▶）で「次へ」を選び、ENTER キーを押す。**



以下の接続方法から選びます。

サーチ	検索したアクセスポイント一覧から接続先を選び、パスワードを入力します。
マニュアル	必要な情報（SSID など）を手動で入力します。
自動	WPS 機能に対応している無線ルーター（アクセスポイント）を使用時に、ルーターの WPS ボタンまたは PIN コード入力を使って無線接続を設定します。 WPS ボタンを使用する場合は「PBC」、PIN コードを使用する場合は「PIN」を選び、画面指示に従って操作してください。

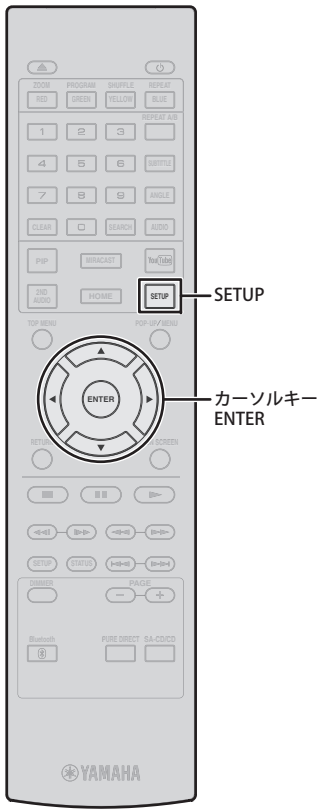
接続が完了すると、画面に「ネットワークに接続できました。」と表示されます。

「接続失敗」と表示された場合は、手順 2 からやり直すか、別の接続方法をお試しください。

- **無線ルーター（アクセスポイント）の取扱説明書もあわせてご参照ください。**
- **本機と無線ルーター（アクセスポイント）が離れていると接続できないことがあります。その場合は、本機と無線ルーターを近づけてください。**

WPS とは

WPS（Wi-Fi Protected Setup）とは、Wi-Fi Alliance によって策定された規格です。WPS により、無線ネットワークを簡単に設定できます。



本機のソフトウェアを更新する

機能の追加や不具合の改善に応じて、本機のソフトウェアが更新されることがあります。本機の性能を最大限活用するため、ソフトウェアは定期的に更新することをおすすめします。

- 設定メニューの「システム情報」（51 ページ）で、本機にインストールされているソフトウェアのバージョンを確認できます。

1 最新ソフトウェアを準備する。

USB メモリーを使用する場合：

本機のソフトウェアを弊社ウェブサイトからダウンロードし、USB メモリーの適切なフォルダーに保存してから、USB メモリーを本機の USB 端子に接続してください。

ネットワーク経由で更新する場合：

インターネットに接続されている場合は更新ソフトウェアがある場合にメッセージが表示されます（43 ページ）。本機のソフトウェアが自動的にダウンロードされるので、手順 2 に進んでください。

2 SETUP キーを押して設定メニュー画面を表示する。

3 カーソルキーと ENTER キーで「一般設定」→「システム」→「ソフトウェア更新」の順に選ぶ。

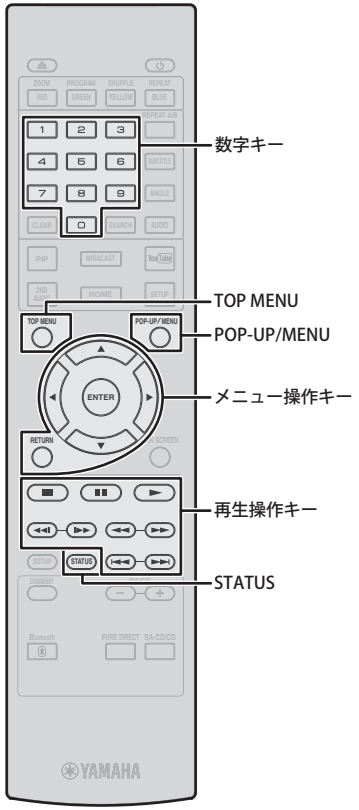


4 カーソルキー（▲/▼）で「USB ストレージ」または「ネットワーク」を選び、ENTER キーを押す。



5 画面指示にしたがってソフトウェアの更新を実行する。

ソフトウェア更新が完了すると、本機が自動的に再起動します。



再生する

再生の基本操作

市販のディスクを再生する

市販のブルーレイディスク、DVD、CD を再生します。

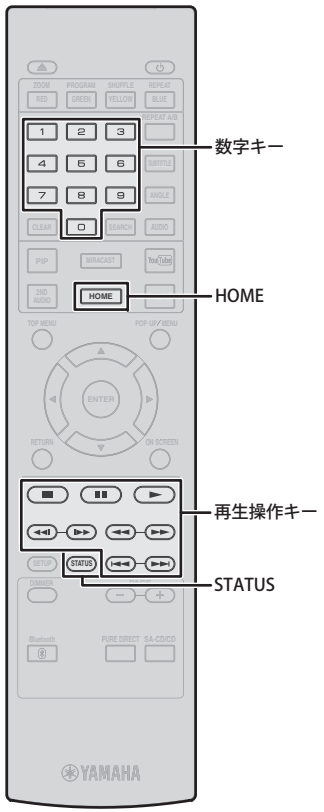
1 ディスクトレイにディスクをセットする。

自動再生機能により、再生が自動的に始まります。

- 自動的に再生が始まらない場合は、►（再生）キーを押してください。
- 一部のブルーレイディスクや DVD では、最初にディスクのトップメニュー画面が表示されます。
- ディスクによっては、一部の機能が使用できなかったり、説明と異なって動作したりすることがあります。
- 再生可能なファイルの種類は「ディスクとファイルについて」（6 ページ）をご覧ください。

◆ブルーレイディスク /DVD の再生操作に使用するリモコンキー

使用できるリモコンキー		説明
再生操作キー	■	再生を停止します。
	▮▮	再生を一時停止します。
	►	再生を始めます。
	◄◄I/I►►	10 秒前 /30 秒後の再生地点にスキップします。
	◄◄/►►	早戻し / 早送りします。押すたびに早戻し / 早送りの速さが切り替わります。
	I◄◄/►►I	再生中のチャプターの先頭（繰り返し押すと前のチャプター）/ 次のチャプターにスキップします。
数字キー		再生中に押すと、選んだ番号のチャプターを再生します。
STATUS キー		再生情報（31 ページ）を表示します。
メニュー操作キー	カーソルキー	コンテンツ（チャプターなど）を選びます。
	ENTER キー	選択を確定します。
	RETURN キー	前の画面に戻ります。
TOP MENU キー		ディスクのトップメニュー画面を表示します。
POP-UP/MENU キー		ブルーレイディスクのポップアップメニュー画面、または DVD のディスクメニュー画面を表示します。



◆CD の再生操作に使用するリモコンキー

使用できるリモコンキー		説明
再生操作キー	■	再生を停止します。
	▮▮	再生を一時停止します。
	►	再生を始めます。
	◄◄/►►	10 秒前 /30 秒後の再生地点にスキップします。
	◄◄/►►	早戻し / 早送りします。押すたびに早戻し / 早送りの速さが切り替わります。
	⏮/⏭	再生中の曲の先頭（繰り返し押すと前の曲）/ 次の曲にスキップします。
数字キー		再生中に押すと、選んだ番号の曲を再生します。
STATUS キー		再生情報（31 ページ）を表示します。

動画 / 音楽ファイルを再生する

自作ディスク（DVD-R/RW など）、USB メモリー、DLNA サーバー（パソコン /NAS）に保存した動画 / 音楽ファイルを再生します。

- 再生可能なファイルの種類は「ディスクとファイルについて」（6 ページ）をご覧ください。

1 目的に応じて、以下の操作をします。

ディスクのファイルを再生する場合：

ディスクトレイにディスクをセットする。

USB メモリーのファイルを再生する場合：

USB 端子に USB メモリーを接続する。

DLNA サーバーのファイルを再生する場合：

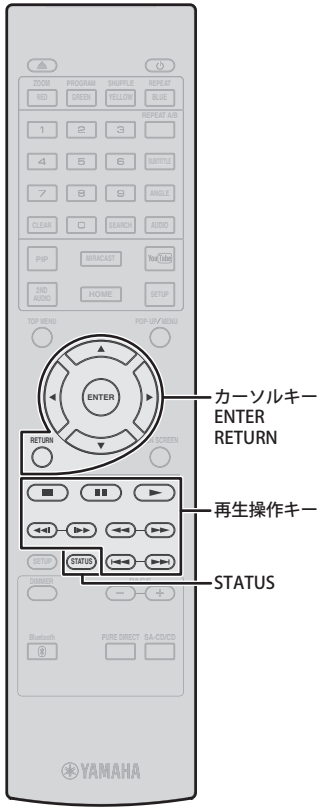
DLNA サーバーの電源が入っていて、ネットワークに接続されていることを確認する。

2 HOME キーを押す。

本機のホームメニューが表示されます。



- 市販のブルーレイディスクやDVD、動画ファイルの再生中はホームメニューを表示できません。再生を停止してから HOME キーを押してください。



3 カーソルキー（▲/▼）でディスク、USB、または DLNA を選び、ENTER キーを押す。



4 カーソルキー（▲/▼）で「音楽」、「動画」または「AVCHD」を選び、ENTER キーを押す。

手順 3 で DLNA を選択時は、手順 4 の前に DLNA サーバーを選びます。



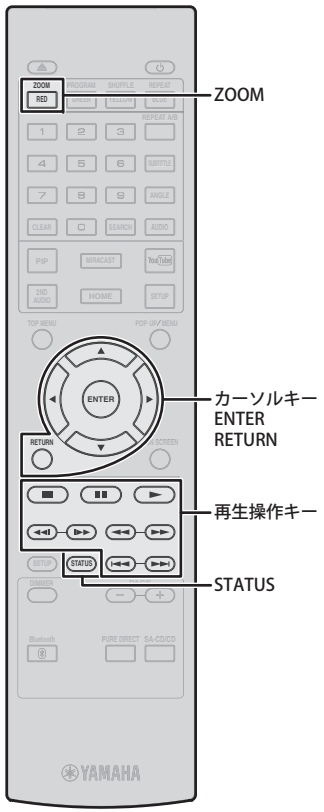
- 前の画面に戻るには、RETURN キーまたはカーソルキー（◀）を押すか、メニュー画面で を選びます。
- 「AVCHD」とは、高精細なハイビジョン映像を DVD 記録用ディスクなどに撮影記録できるように開発された記録フォーマットです。

5 カーソルキー（▲/▼）で再生するファイルを選び、ENTER キーを押す。

選択したファイルの再生が始まります。

◆ファイルの再生操作に使用するリモコンキー

使用できるリモコンキー		説明
再生操作キー	■	再生を停止します。
	❚❚	再生を一時停止します。
	►	再生を始めます。
	◄◄/►►	10 秒前 /30 秒後の再生地点にスキップします。
	◄◄/►►	早戻し / 早送りします。押すたびに早戻し / 早送りの速さが切り替わります。
	⏮/⏭	再生中のファイルの先頭（繰り返し押すと前のファイル）/次のファイルにスキップします。
STATUS キー		再生情報（31 ページ）を表示します。



写真を見る

自作ディスク（DVD-R/RW など）、USB メモリー、DLNA サーバー（パソコン /NAS）に保存した写真を閲覧します。

1 **「動画 / 音楽ファイルを再生する」（23 ページ）の手順 1 ～ 3 を実行します。**

- 市販の静止画 DVD（DVD 写真集など）をディスクトレイにセットすると、スライドショー再生が自動的に始まる場合があります。その場合は以下の手順は必要ありません。

2 **カーソルキー（▲/▼）で「写真」を選び、ENTER キーを押す。**



- 前の画面に戻るには、RETURN キーまたはカーソルキー（◀）を押すか、メニュー画面で を選びます。

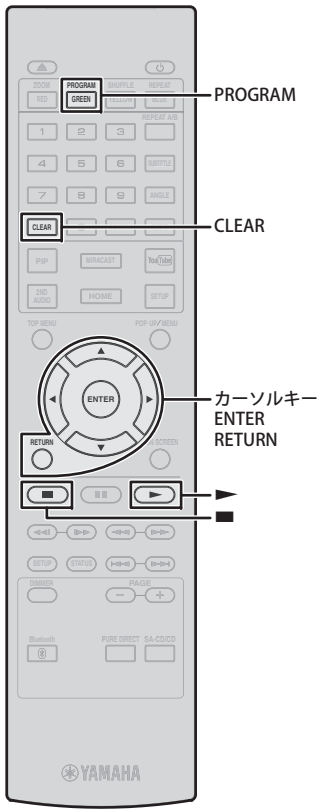
3 **カーソルキー（▲/▼）で写真ファイルを選び、ENTER キーを押す。**

選択したファイルが最初に表示され、その後スライドショー再生が始まります。

- CD や音楽ファイルの再生中に写真ファイルを選ぶと、音楽を聴きながらスライドショーを楽しむことができます。

◆写真の再生操作に使用するリモコンキー

使用できるリモコンキー		説明
再生操作キー	■	スライドショー再生を停止します。
	▮▮	スライドショー再生を一時停止します。
	►	スライドショー再生を始めます。
	◄◄/►►	スライドショー再生の速さを切り替えます。
	⏮/⏭	前の写真 / 次の写真にスキップします。
カーソルキー	▲/▼	写真を上下 / 左右に反転します。
	◄/►	写真を左回り / 右回りに 90 度回転します。
ZOOM キー		写真を拡大 / 縮小します。画面より大きいときは、カーソルキーで表示位置を移動できます。
STATUS キー		再生情報（31 ページ）を表示します。



便利な再生機能

お好みの順番で再生する（プログラム再生）

DVD *CD*

DVD のチャプターや音楽 CD の曲など、再生順を指定します。
最大 15 個のチャプター / 曲の再生順を指定できます。

1 **ディスクを再生中に、PROGRAM キーを押す。**

プログラム画面が表示されます。



2 **ENTER キーを押す。**

3 **カーソルキーで 1 番目に再生したいチャプター / 曲の番号を指定し、ENTER キーを押す。**

DVD 再生時はタイトル / チャプターの番号、CD 再生時は曲番号を指定します。



4 **手順 2 ～ 3 を繰り返して、2 番目以降のチャプター / 曲の番号を指定します。**



- **登録した内容の一部を消去するには、該当の番号を選び CLEAR キーを押します。**
- **プログラム再生を取り消すには、RETURN キーを押します。**

5 **指定した順で再生を始めるには、► キーを押す。**

- **プログラム再生中に ■ キーを押すと、再生が停止し、指定した再生順がすべて消去されます。**

再生する



順不同で再生する（シャッフル再生）

DVD *CD* *VIDEO* *MUSIC* *PHOTO*

再生中のコンテンツを順不同で再生します。

1 再生中に、SHUFFLEキーを繰り返し押して設定値を選ぶ。

ディスク / ファイル	設定値	説明
DVD	（表示なし）	シャッフル再生を無効にする。
	シャッフル CH	タイトル内のチャプターを順不同で一度だけ再生する。
	シャッフル TT	すべてのタイトルを順不同で一度だけ再生する。
	シャッフル All	すべてのチャプターを順不同で一度だけ再生する。
	ランダム CH	タイトル内のチャプターを順不同で繰り返し再生する。
	ランダム TT	すべてのタイトルを順不同で繰り返し再生する。
	ランダム All	すべてのチャプターを順不同で繰り返し再生する。
CD	（表示なし）	シャッフル再生を無効にする。
	シャッフル	すべての曲を順不同で一度だけ再生する。
	ランダム	すべての曲を順不同で繰り返し再生する。
VIDEO *MUSIC* *PHOTO*	（表示なし）	シャッフル再生を無効にする。
	シャッフル	フォルダー内のファイルを順不同で一度だけ再生する。
	ランダム	フォルダー内のファイルを順不同で繰り返し再生する。

- シャッフル再生を有効にすると、リピート再生は自動的に無効になります。
- DLNA サーバーのファイル再生時は、シャッフル / ランダム再生を設定できません。

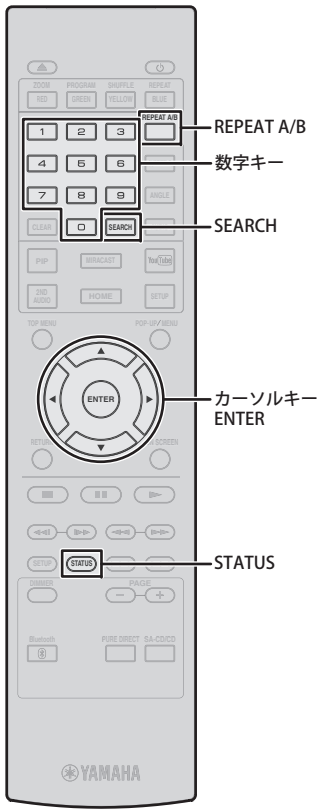
繰り返し再生する（リピート再生）

再生中のコンテンツを繰り返し再生します。A-B リピート再生を使うと、指定した範囲を繰り返し再生できます。

1 再生中に、REPEATキーを繰り返し押して設定値を選ぶ。

ディスク / ファイル	設定値	説明
BD *DVD*	（アイコンなし）	リピート再生を無効にする。
	T-T	現在のタイトルを繰り返し再生する。
	CH	現在のチャプターを繰り返し再生する。
CD	（アイコンなし）	リピート再生を無効にする。
		現在の曲を繰り返し再生する。
	All	すべての曲を繰り返し再生する。
VIDEO *MUSIC* *PHOTO*	（アイコンなし）	シャッフル再生を無効にする。
		現在のファイルを繰り返し再生する。
	F	フォルダー内のすべてのファイルを繰り返し再生する。

- リピート再生を有効にすると、シャッフル再生は自動的に無効になります。
- ブルーレイディスクによっては、REPEAT キーが使用できないことがあります。その場合は、オンスクリーンメニューの「モード」（30 ページ）でリピート再生を設定してください。



◆指定した範囲を繰り返し再生する（A-B リピート再生）

BD *DVD* *CD* *VIDEO* *MUSIC*

タイトルまたは曲の指定した範囲を繰り返し再生します。

- ディスクやファイルによっては、この機能が使用できないことがあります。

1 **再生中に、A-B リピート再生の開始地点で REPEAT A/B キーを押す。**

2 **A-B リピート再生の終了地点でもう一度 REPEAT A/B キーを押す。**

画面に「A-B」と表示され、指定した範囲が繰り返し再生されます。

- A-B リピート再生を終了して通常再生に戻るには、もう一度 REPEAT A/B キーを押します。

指定した箇所から再生する（サーチ再生）

再生中のコンテンツを指定した箇所までスキップします。

1 **再生中に、SEARCH キーを押す。**

再生情報画面（31 ページ）が表示されます。

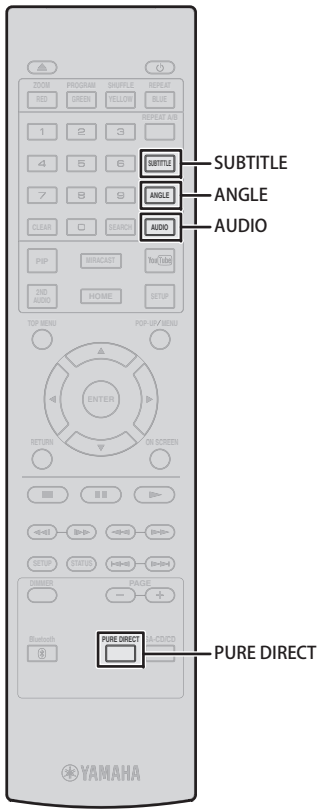
2 **カーソルキーで項目を選び、ENTER キーを押す。**

ディスク / ファイル	項目	説明
BD *DVD*		タイトル番号で指定する。
		チャプター番号で指定する。
	PT	タイトルの再生時間で指定する。
	CH	チャプターの再生時間で指定する。
CD		曲番号で指定する。
	TRACK	曲の再生時間で指定する。
	DISC	ディスクの再生時間で指定する。
VIDEO *MUSIC*		ファイル番号で指定する。
		チャプター番号で指定する。
		ファイルの再生時間で指定する。
PHOTO		ファイル番号で指定する。

3 **カーソルキー（▲/▼）または数字キーで数値を入力し、ENTER キーを押す。**

指定した箇所から再生が始まります。

4 **再生情報画面を終了するには、STATUS キーを押す。**



字幕言語を切り替える

BD DVD VIDEO

ディスクに複数の字幕言語が収録されている場合に、字幕を切り替えます。

1 **再生中に、SUBTITLE キーを繰り返し押す。**

字幕言語が切り替わります。

- **SUBTITLE キーで切り替わらない場合は、ディスクのメニュー画面から切り替えてください。**
- **録画した放送コンテンツの字幕を切り替えることはできません。**

アングルを切り替える

BD DVD

ディスクに複数のカメラアングルが収録されている場合に、アングルを切り替えます。

1 **再生中に、ANGLE キーを繰り返し押す。**

アングルが切り替わります。

- **ANGLE キーで切り替わらない場合は、ディスクのメニュー画面から切り替えてください。**

音声言語や音声フォーマットを切り替える

BD DVD VIDEO

ディスクに複数の音声言語や音声フォーマットが収録されている場合に、音声を切り替えます。

1 **再生中に、AUDIO キーを繰り返し押す。**

音声言語や音声フォーマットが切り替わります。

- **AUDIO キーで切り替わらない場合は、ディスクのメニュー画面から切り替えてください。**

原音に忠実な音声で再生する（ピュアダイレクト）

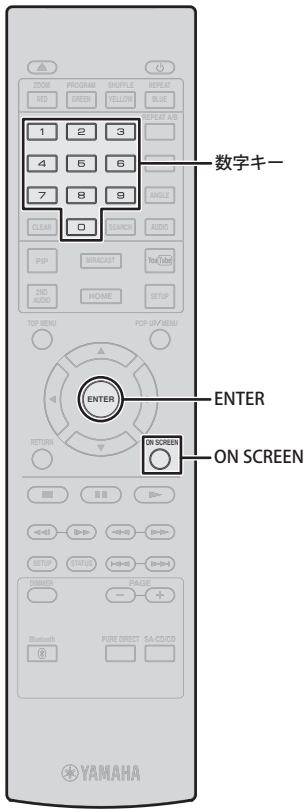
ピュアダイレクトを使うと、映像関連や前面ディスプレイを停止させることでノイズの混入を防ぎ、原音に忠実な音質で再生できます。

1 **PURE DIRECT キーを押す。**

キーを押すたびに、ピュアダイレクトの設定が切り替わります。

前面ディスプレイ表示	説明
PDIRECT1	ピュアダイレクトを有効にする（モード 1）。 前面ディスプレイおよび映像出力が無効になります。このモードは、高音質で音楽を楽しむのに適しています。
PDIRECT2	ピュアダイレクトを有効にする（モード 2）。 前面ディスプレイが無効になります。このモードは、高音質で映画を楽しむのに適しています。
（表示なし）	ピュアダイレクトを無効にする。

- **本体前面の PURE DIRECT キーでもピュアダイレクトの設定を変更できます。ピュアダイレクトが有効なときは、PURE DIRECT キーが青色に点灯します。**



再生する

テレビ画面で操作する

画面で再生操作をする（オンスクリーンメニュー）

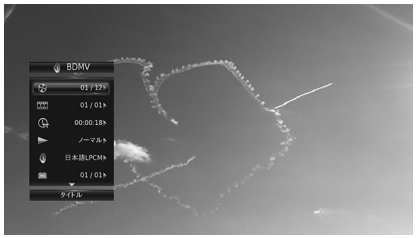
市販のディスク（ブルーレイディスク、DVD、CD）、動画 / 音楽ファイルや写真を再生しているときは、テレビ画面で現在の再生操作を行ったり、再生関連の設定を変更したりすることができます。

!

- ディスクやファイルによっては、一部の機能が使用できないことがあります。

1 コンテンツを再生中に、ON SCREEN キーを押す。

オンスクリーンメニューが表示されます。以下は市販のブルーレイディスク再生時の表示例です。



2 カーソルキーで項目を選び、ENTER キーを押す。

選択した項目によっては、数字キーで数値（チャプター番号、曲番号など）を入力することもできます。

タイトル	*BD* *DVD* *VIDEO*	再生中のタイトル番号が表示されます。再生したいタイトル番号を指定することもできます。
チャプター	*BD* *DVD* *VIDEO*	再生中のチャプター番号が表示されます。再生したいチャプター番号を指定することもできます。
トラック / ファイル	*CD* *VIDEO* *MUSIC* *PHOTO*	再生中の曲 / ファイル番号が表示されます。再生したい曲 / ファイル番号を指定することもできます。
時間	*BD* *DVD* *CD* *VIDEO* *MUSIC*	再生時間が表示されます。タイトル、チャプター、ディスク、曲、ファイルの再生経過時間と残り時間を切り替えることもできます。
モード	*BD* *DVD* *CD* *VIDEO* *MUSIC* *PHOTO*	再生方法（シャッフル / リピート）が表示されます。シャッフル再生 / リピート再生の有効 / 無効を切り替えることもできます（27 ページ）。（ブルーレイディスクはリピートのみ対応、DLNA サーバーのファイル再生時は設定不可）
音声	*BD* *DVD* *VIDEO*	音声言語 / 音声フォーマットが表示されます。音声設定を選択することもできます（29 ページ）。
アングル	*BD* *DVD*	アングル番号が表示されます。アングルを選択することもできます（29 ページ）。
字幕	*BD* *DVD* *VIDEO*	字幕言語が表示されます。字幕言語を選択することもできます（29 ページ）。
字幕スタイル	*BD*	字幕の文字スタイルが表示されます。文字スタイルを選択することもできます。
ビットレート	*BD* *DVD* *CD* *VIDEO* *MUSIC*	映像 / 音声信号のビットレートが表示されます。
2nd ビデオ	*BD*	第 2 映像（Picture in Picture）の有効 / 無効を設定します（33 ページ）。
2nd オーディオ	*BD*	第 2 音声（Secondary Audio）の有効 / 無効を設定します（33 ページ）。



30 秒サーチ	*BD* *DVD* *CD* *VIDEO* *MUSIC*	30 秒後の再生地点にスキップします。
10 秒リプレイ	*BD* *DVD* *CD* *VIDEO* *MUSIC*	10 秒前の再生地点に戻ります。
クローズドキャプション	*BD* *DVD* *VIDEO*	クローズドキャプション（文字情報表示）を設定します（49 ページ）。
スライドショー	*PHOTO*	スライドショー再生の速さが表示されます。速さを切り替えることもできます。
画面切替効果	*PHOTO*	スライドショー再生で写真が替わるときの表示方法が表示されます。表示方法を切り替えることもできます。
コードページ	*VIDEO*	DivX ビデオ（63 ページ）に追加した文字コードや字幕を選択します。

再生情報を表示する

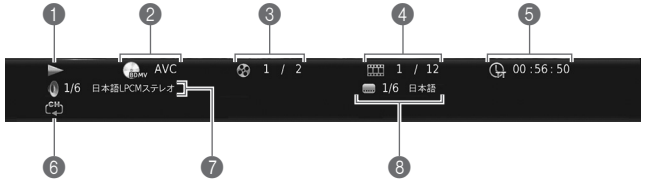
再生に関する情報（現在再生中のチャプター / 曲番号、再生時間など）を表示します。再生しているコンテンツの種類により表示される内容が異なります。

1 **コンテンツを再生中に、STATUS キーを押す。**

再生情報画面が表示されます。

- **音楽の再生を始めると、自動的に再生情報画面が表示されます。**
- **再生情報画面を閉じるには、もう一度 STATUS キーを押します。**

◆動画の再生情報



❶ ►

再生状態（再生 / 一時停止など）を表示します。

❷ BDMV

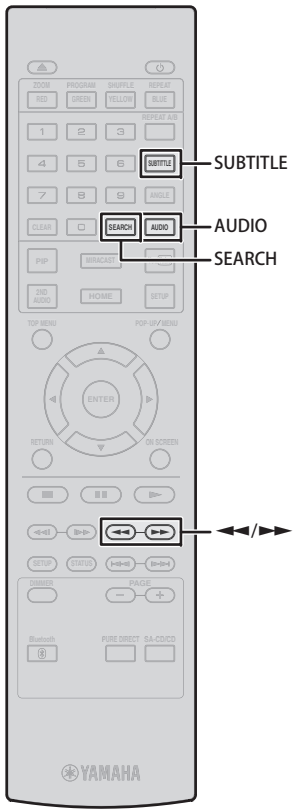
ディスクの種類やファイル形式を表示します。

❸

タイトル番号（再生中の番号 / 総数）を表示します。SEARCH キーで再生したいタイトル番号を指定できます（28 ページ）。

❹ /

チャプター / ファイル番号（再生中の番号 / 総数）を表示します。SEARCH キーで再生したいチャプター / ファイル番号を指定できます（28 ページ）。



再生する

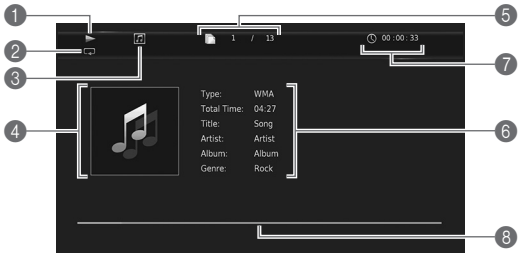
❺
再生時間を表示します。SEARCH キーで再生したい箇所を指定できます（28 ページ）。

❻
リピート再生の設定（27 ページ）を表示します。

❼
音声言語 / 音声フォーマットが表示されます。AUDIO キーで音声設定を選択できます（29 ページ）。

❽
字幕言語が表示されます。SUBTITLE キーで字幕言語を選択できます（29 ページ）。

◆音楽の再生情報



❶
再生状態（再生 / 一時停止など）を表示します。

❷
リピート再生の設定（27 ページ）を表示します。

❸
ディスクの種類や音楽アイコンを表示します。

❹ **アルバムアート**
アルバムアートのデータが存在する場合に、アルバムアートを表示します。

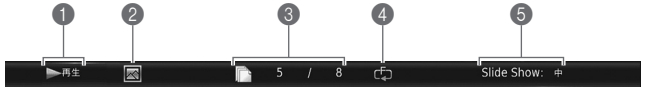
❺
曲 / ファイル番号（再生中の番号 / 総数）を表示します。SEARCH キーで再生したい曲 / ファイル番号を指定できます（28 ページ）。

❻ **曲情報表示**
ファイルの種類、曲名、アーティスト名、などの曲情報を表示します。

❼
再生時間を表示します。SEARCH キーで再生したい箇所を指定できます（28 ページ）。

❽ **プログレスバー**
曲の再生地点をゲージで表示します。

◆写真の再生情報



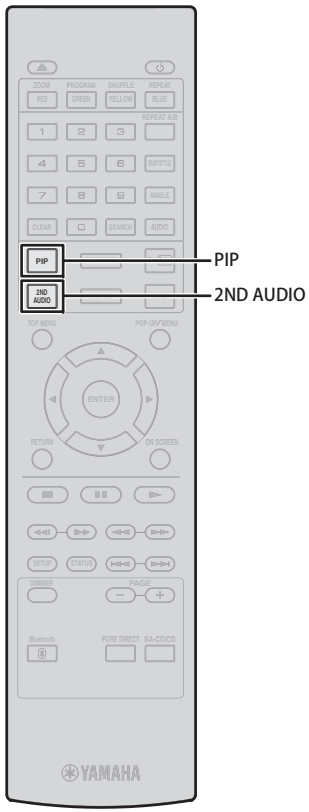
❶
スライドショー再生の状態（再生 / 一時停止など）を表示します。

❷
写真アイコンを表示します。

❸
ファイル番号（再生中の番号 / 総数）を表示します。SEARCH キーで再生したい写真のファイル番号を指定できます（28 ページ）。

❹
リピート再生の設定（27 ページ）を表示します。

❺ **スライドショー再生の速さ**
スライドショー再生の速さを表示します。◄◄/►► キーで速さを切り替えることができます。



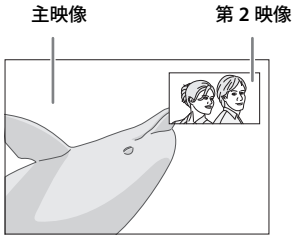
ブルーレイディスクの特殊コンテンツを楽しむ（BONUSVIEW™/BD-Live™）

本機はブルーレイディスクの BONUSVIEW（BD-ROM Profile 1 Version 1.1）および BD-Live（BD-ROM Profile 2）に対応しています。

- **BONUSVIEW や BD-Live で利用できる機能および再生方法はディスクにより異なります。詳しくは、ディスクの取扱説明書をご覧ください。**

第 2 映像や第 2 音声を楽しむ（Picture in Picture/Secondary Audio）

Picture in Picture は BONUSVIEW 対応のブルーレイディスクに入っている特典映像を子画面で表示する機能です。主映像を観ながら、画面の隅に表示される第 2 映像を楽しむことができます。また映画の解説など、Secondary Audio（第 2 音声）を楽しむこともできます。



1 BONUSVIEW 対応のブルーレイディスクを再生する。

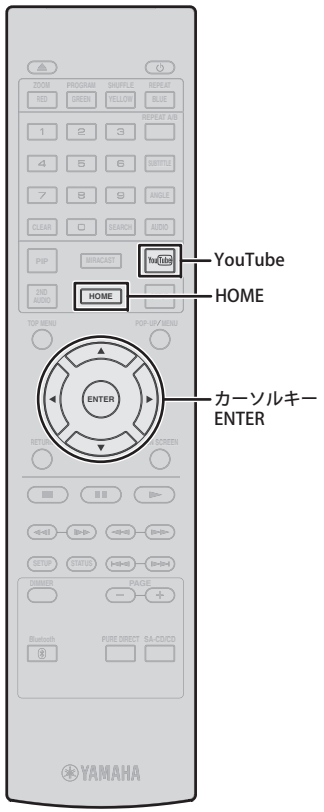
第 2 映像を表示できるときは、テレビ画面にアイコン「 PIP 」が表示されます。

第 2 音声を出力できるときは、テレビ画面にアイコン「 」が表示されます。

2 第 2 映像を有効にするには、PIP キーを押す。
第 2 音声を有効にするには、2ND AUDIO キーを押す。

- **第 2 映像または第 2 音声を無効にするには、各キーをもう一度押します。**
- **テレビ画面のアイコン表示を消したい場合は、設定メニューの「PIP マーク」（44 ページ）または「2nd オーディオマーク」（44 ページ）を「オフ」に設定してください。**

- **第 2 音声を聴くには、設定メニューの「オーディオ出力（HDMI）」（50 ページ）または「オーディオ出力（同軸 / 光）」（49 ページ）を「PCM」または「再エンコード」に設定してください。**
- **PIP キーや 2ND AUDIO キーで第 2 映像 / 第 2 音声を有効にできない場合は、ディスクのメニュー画面から設定してください。**
- **ディスクによっては、第 2 映像 / 第 2 音声が自動的に再生される場合があります。また、再生できる箇所が限定されている場合があります。**



BD-Live™ を楽しむ

BD-Live とは、インターネット経由で特殊映像などのコンテンツをダウンロードし、再生できる機能です。本機がインターネットに接続されていれば、BD-Live 対応のブルーレイディスク再生時に BD-Live を楽しむことができます。

なお、BD-Live を楽しむには、コンテンツを保存するための USB メモリー（ローカルストレージ）が本機の USB 端子（前面または背面）に接続されている必要があります（17 ページ）。

- ブルーレイディスク再生時に、「BUDA」という名称のコンテンツ保存用のフォルダーが USB メモリー内に自動的に作成されます。
- 設定メニューの「BD-LIVE 接続」（46 ページ）で、BD-Live コンテンツへの接続を制限できます。

- USB 2.0 High Speed（480Mbit/s）対応の USB メモリーをお使いください。
- 空き容量が 2.0GB 以上の USB メモリーをお使いください。空き容量が不足しているとコンテンツを保存できません。その場合は、不要なデータを削除するか別の USB メモリーをお使いください。
- BD-Live を使用中に USB メモリーを本機から抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。
- インターネットの接続環境により、コンテンツのダウンロードに時間がかかる場合があります。
- コンテンツプロバイダーの都合により、コンテンツのダウンロードや再生ができない場合があります。その場合は、しばらく経ってから再度お試しください。
- USB メモリーの空き容量が不足していると、ディスクのメニュー画面から BD-Live を起動したときに画面が表示されるまで時間がかかることがあります。その場合は、ディスクトレイからディスクを取り出し、設定メニューの「ローカルストレージ」（43 ページ）で USB メモリーをフォーマットしてください。

ネットワークサービスを利用する

以下のネットワークサービスを使って、動画や写真を本機で楽しむことができます。

- Dropbox
- Picasa ウェブアルバム
- YouTube

- これらのサービスを使用するには、本機がインターネットに接続されている必要があります。また、ブロードバンド回線の使用をおすすめします。
- サービスやコンテンツによっては、アカウントの作成や有料サービスへの契約が必要になる場合があります。
- 各サービスは事前の通知なく中止される場合があります。

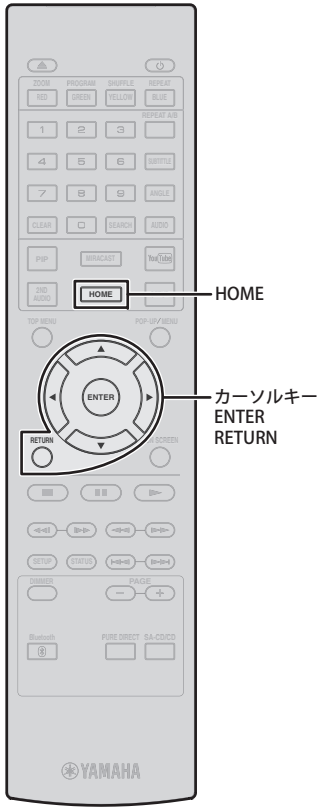
1 HOME キーを押す。

本機のホームメニューが表示されます。

- YouTube キーを押すと、直接 YouTube のメニュー画面を表示できます。

2 カーソルキー（▲/▼）で「ネットワークサービス」を選び、ENTER キーを押す。





3 カーソルキー（▲/▼）で目的のネットワークサービスを選び、ENTER キーを押す。



4 カーソルキーで項目を選び、ENTER キーを押す。

これ以降の操作方法は、各サービスが提供する内容により異なります。

- 前の画面に戻るには、RETURN キーまたはカーソルキー（◀）を押すか、メニュー画面で を選びます。
- ネットワークサービスを終了するには、HOME キーを押します。

◆Dropbox™ について

Dropbox（ドロップボックス）とは、写真や動画などのファイルを保存して、複数のデバイス（パソコン、スマートフォン、タブレットなど）からアクセスできるオンラインストレージサービスです。

詳しくは「www.dropbox.com」にアクセスしてください。

Dropbox は、米国 Dropbox, Inc. の商標または登録商標です。

Dropbox への接続について

本機では Dropbox のアカウント作成やデータのアップロードはできません。あらかじめパソコンなどで Dropbox のアカウントを作成し、そのアカウントを使って本機にログインしてください。サーバーの仕様によりログイン画面が異なります。操作手順については、下記のウェブサイトを参考にしてください。

http://download.yamaha.com/file/61882

ログインする場合は ENTER キーを押してください。ログインを中断する場合は HOME キーを押してください。ログイン中に Dropbox を終了する場合は、ログアウトより HOME キーが便利です。

◆Picasa™ ウェブアルバムについて

Picasa（ピカサ）ウェブアルバムとは、写真をアップロードして一般に公開したり、友達や家族など特定のメンバー間で共有したりできる写真共有サービスです。

詳しくは「picasaweb.google.com」にアクセスしてください。

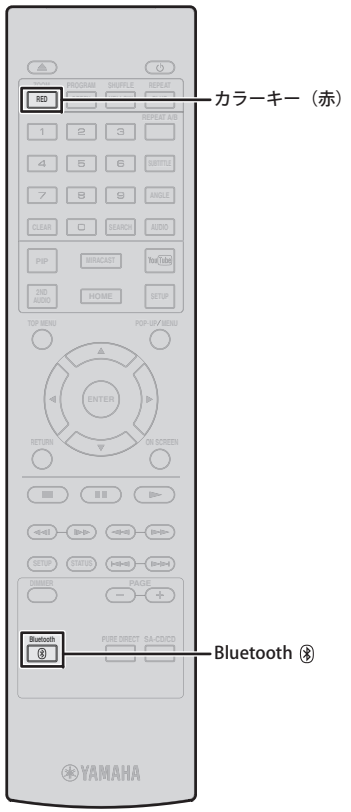
Picasa および Picasa ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

◆YouTube™ について

YouTube（ユーチューブ）とは、ユーザーが自ら撮影・編集した動画をアップロードして不特定多数のユーザーと共有できる動画共有ポータルサイトです。

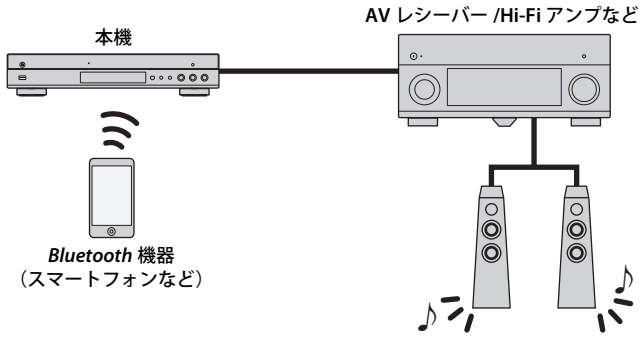
詳しくは「www.youtube.com」にアクセスしてください。

YouTube および YouTube ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。



Bluetooth® 経由で音楽を楽しむ

Bluetooth 機器（スマートフォンなど）で音楽を再生して本機で楽しむことができます。



- ***Bluetooth*** **機器は本機から 10m 以内で操作してください。**
- ***Bluetooth*** **機器ごとに本機との「ペアリング」が必要になります。**
- ***Bluetooth*** **機器の操作や設定については、各 *Bluetooth* 機器の取扱説明書をご覧ください。**

Bluetooth 機器とペアリングする

お使いの *Bluetooth* 機器を初めて本機に接続する場合は、ペアリング（2 つの *Bluetooth* 機器を組み合わせるための認証）が必要になります。

- **本機は最大 8 台の *Bluetooth* 機器とペアリングできます。9 台目の機器をペアリングすると、もっとも長く使用されていない機器のペアリング情報が消去されます。**
- ***Bluetooth*** **機器とペアリングするときは、別の *Bluetooth* 機器との接続をいったん終了してください。**
- ***Bluetooth*** **を使用しているときは、ディスクトレイの操作やほかの再生はできません。**

1 **本機で再生を行っている場合は、再生を停止する。**

2 **本機リモコンの Bluetooth キーを押す。**

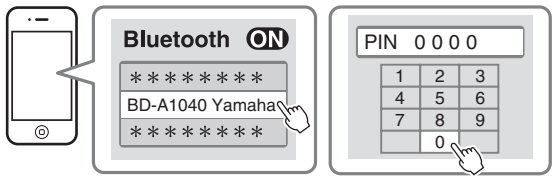
前面ディスプレイに「BT READY」と表示されます。

3 ***Bluetooth*** **機器の電源を入れ、ペアリングモードにする。**

4 **本機リモコンのカラーキー（赤）を押して、本機をペアリングモードにする。**

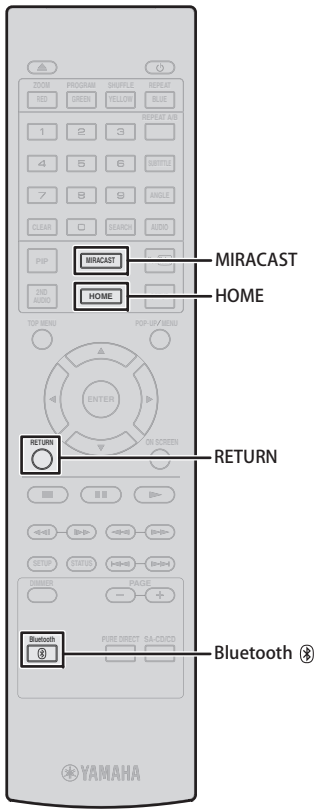
5 ***Bluetooth*** **機器のデバイスリストから「BD-A1040 Yamaha」を選ぶ。**

パスキー（PIN）が必要な場合は「0000」を入力する。



ペアリングが完了すると、前面ディスプレイに「SUCCESS」と表示されます。

「FAILED」と表示された場合はペアリング失敗です。手順 4 からやり直してください。



Bluetooth 機器と接続して再生する

ペアリングが完了したら、*Bluetooth* 機器との接続を行います。接続中は、*Bluetooth* 機器で再生を始めると本機から音声が出力されます。

- ***Bluetooth*** **機器と接続するときは、別の** ***Bluetooth*** **機器との接続をいったん終了してください。**
- ***Bluetooth*** **を使用しているときは、ディスクトレイの操作やほかの再生はできません。**

1 本機で再生を行っている場合は、再生を停止する。

2 本機リモコンの Ⓑ キーを押す。

前面ディスプレイに「BT READY」と表示されます。

3 *Bluetooth* 機器の電源を入れる。

本機と *Bluetooth* 機器の *Bluetooth* 接続が確立されます。

4 *Bluetooth* 機器で曲を再生する。

必要に応じて、*Bluetooth* 機器で音量を調節してください。

5 *Bluetooth* 接続を終了するには、本機リモコンの Ⓑ キーを押す。

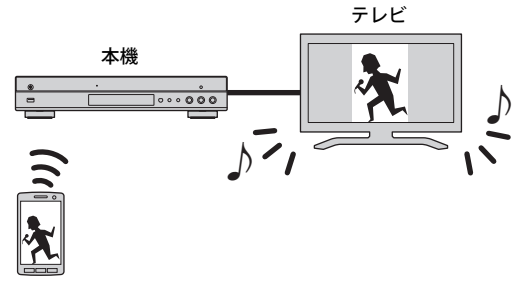
- **HOME キーまたは RETURN キーでも** ***Bluetooth*** **接続を終了できます。**
- ***Bluetooth*** **機器や本機の電源を切った場合は、** ***Bluetooth*** **接続が自動的に終了します。**
- ***Bluetooth*** **接続ができない場合は、** ***Bluetooth*** **機器のデバイスリストから「BD-A1040 Yamaha」を選んでください。**

- ***Bluetooth*** **使用中に音声が途切れたりノイズが入ったりする場合は、以下をお試しください。**
  - **–** ***Bluetooth*** **機器を本機に近づける。**
  - **– 使用していない別の無線機器の電源を切る。**
  - **– 本機と** ***Bluetooth*** **機器を、電子レンジや無線機器から遠ざける。**

スマートフォンの動画/写真をテレビで楽しむ（Miracast™）

Miracast（ミラキャスト）とは、ルーターやアクセスポイントなどを経由せずに機器どうし直接接続する Wi-Fi ダイレクトを応用した技術です。Miracast 対応機器（スマートフォンなど）から無線通信で本機に動画や写真を転送し、本機に接続したテレビで視聴することができます。

- **Miracast の対応状況や操作方法については、お使いの機器（スマートフォンなど）の取扱説明書をご覧ください。**
- **Miracast を使用しているときは、ネットワーク機能（DLNA など）は使用できません。またディスクトレイの操作やほかの再生もできません。**



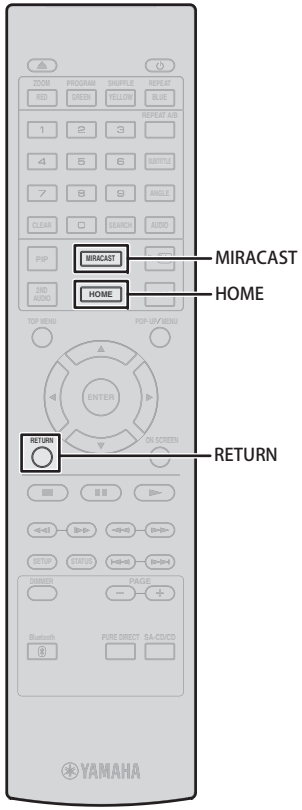
1 本機で再生を行っている場合は、再生を停止する。

2 本機リモコンの MIRACAST キーを押す。

前面ディスプレイに「MIRACAST」と表示されます。

3 手順 2 から 1 分以内に、Miracast 対応機器の Miracast を起動し、接続先として本機を選ぶ。

本機と Miracast 対応機器の Miracast 接続が確立されます。



4 **Miracast 対応機器で動画や写真を再生する。**

5 **Miracast 接続を終了するには、本機リモコンの MIRACAST キーを押す。**

• HOME キーまたは RETURN キーでも Miracast 接続を終了できます。

• Miracast 使用中に映像 / 音声が途切れたりノイズが入ったりする場合は、以下をお試しください。

– Miracast 対応機器を本機に近づける。

– 使用していない別の無線機器の電源を切る。

– 本機と Miracast 対応機器を、電子レンジ、*Bluetooth* 機器、ほかの無線機器から遠ざける。

モバイル機器から本機を操作する（AV CONTROLLER）

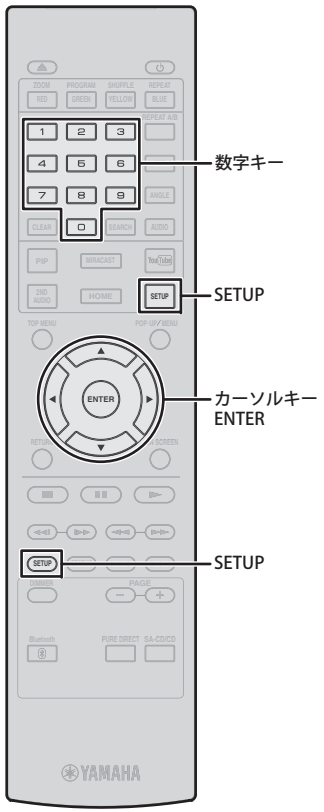
スマートフォン / タブレット用アプリケーション「AV CONTROLLER」を使用すると、お使いのモバイル機器が本機のリモコンとして動作します。

AV CONTROLLER

- ヤマハ製ブルーレイディスクプレーヤーの基本機能を操作できます（再生、一時停止、スキップ、電源操作、カーソル操作など）。
- 「AV CONTROLLER」は各国語表示に対応しています。
- 「AV CONTROLLER」について詳しくは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

• Miracast を使用しているときは、この機能を使用できません。

設定する



本機の各種機能を設定する（設定メニュー）

テレビ画面を見ながら本機の各種機能を設定します。

1 **SETUP キーを押す。**

テレビ画面に設定メニューが表示されます。



- ホームメニューの「設定」からも、設定メニューを表示できます。

2 **カーソルキー（◀/▶）でメニューを選び、ENTER キーまたはカーソルキー（▼）を押す。**



3 **カーソルキー（▲/▼）でサブメニューを選び、ENTER キーまたはカーソルキー（▶）を押す。**



- メニュー操作中、1つ前の選択に戻るにはカーソルキー（◀）を押します。

4 **カーソルキー（▲/▼）で設定項目を選び、ENTER キーまたはカーソルキー（▶）を押す。**



5 **カーソルキー（▲/▼）で設定値を選び、ENTER キーを押す。**

設定項目によっては、数字キーを使って数値（パスワードなど）を入力します。

6 **終了するには、SETUP キーを押す。**

設定メニューでできること

メニュー	サブメニュー	項目	説明	ページ
一般設定 	システム	**自動スタンバイ**	本機を一定時間操作しなかったときに電源を自動的にスタンバイにします。	42
		HDMI コントロール	HDMI コントロールを有効 / 無効にします。	42
		デフォルト設定	本機の設定を初期値に戻します。	42
		ソフトウェア更新	本機のソフトウェアを更新します。	42
		更新メッセージ	更新ソフトウェアが見つかったときにメッセージを表示するかどうかを設定します。	43
		3D メッセージ	3D 映像再生に関するメッセージを表示するかどうかを設定します。	43
		ローカルストレージ	本機に接続されている USB メモリーの空き容量を表示します。 USB メモリー内の「BUDA」フォルダーをフォーマットすることもできます。	43
		簡単セットアップ	簡単セットアップを実行します。	43
	言語	**画面表示**	本機の画面表示に使用する言語を設定します。	43
		ディスクメニュー	ディスクメニューの表示言語を設定します。	43
		音声	ブルーレイディスク /DVD 再生時の音声言語を設定します。	43
		字幕	ブルーレイディスク /DVD 再生時の字幕言語を設定します。	43
	再生	**ディスク自動再生**	ディスクの自動再生機能を有効 / 無効にします。	44
		Angle マーク	複数アングルに対応しているディスク再生時にアイコンを表示するかどうかを設定します。	44
		PIP マーク	第 2 映像に対応しているディスク再生時にアイコンを表示するかどうかを設定します。	44
		2nd オーディオマーク	第 2 音声に対応しているディスク再生時にアイコンを表示するかどうかを設定します。	44
		ラストメモリー	ディスクの再生を停止した位置を記憶させるかどうかを設定します。	44
		DivX(R) VOD DRM	DivX® ビデオの再生に必要な登録コードを表示します。	44
		DivX(R) 字幕	DivX® ビデオの字幕表示を有効 / 無効にします。	44
		DVD-Audio	DVD-Audio コンテンツの再生を有効 / 無効にします。	44
	セキュリティ	**パスワード変更**	「視聴制限」や「国 / 地域」の設定変更時に入力するパスワードを設定します。	45
		視聴制限	視聴制限レベルを設定します。	45
		国 / 地域	視聴制限に使用する国 / 地域コードを設定します。	45
	ネットワーク	**接続設定**	ネットワークへの接続方法を設定します。	45
		ネットワーク情報	ネットワーク情報（IP アドレスなど）を表示します。	45
		接続試験	ネットワークに正しく接続されているかどうかを確認します。	45
		IP アドレス設定	ネットワーク情報（IP アドレスなど）を設定します。	45
		プロキシ設定	プロキシーサーバー設定を有効 / 無効にします。	46
		ネットワークコントロール	AV CONTROLLER を使った本機の操作を有効 / 無効にします。	46
		ネットワークスタンバイ	ネットワーク機器から本機の電源を入れる機能を有効 / 無効にします。	46
		DMC コントロール	デジタル・メディア・コントローラー（DMC）対応のモバイル機器からの操作を有効 / 無効にします。	46
		BD-LIVE 接続	BD-Live コンテンツへのアクセスを制限します。	46

メニュー	サブメニュー	項目	説明	ページ
ディスプレイ設定 	テレビ	**3D 出力**	ブルーレイ 3D の再生を有効 / 無効にします。	47
		スクリーン	本機から出力する映像信号のアスペクト比（縦横比）を設定します。	47
		HDMI 解像度	本機から出力する HDMI 映像の解像度を設定します。	47
		テレビシステム	お使いのテレビにあわせて、本機のビデオ信号方式を設定します。	48
		カラースペース	本機から出力する HDMI 映像の色空間を設定します。	48
		Deep Color	Deep Color 対応のテレビや AV レシーバーを使用時に、本機から出力する HDM 映像の色数を設定します。	48
		HDMI 1080p 24Hz	HDMI 映像の 1080p/24Hz 出力を有効 / 無効にします	48
	ビデオプロセス	**ノイズリダクション**	ノイズリダクションのレベルを設定します。	49
		デインターレース	デインターレース処理方法を設定します。	49
	クローズドキャプション	**CC アトリビュート**	クローズドキャプション（文字情報表示）の表示方法を設定します。	49
オーディオ設定 	**オーディオ出力**	**同軸 / 光**	デジタル音声（同軸デジタル / 光デジタル）の出力方法を設定します。	49
		HDMI	HDMI 音声の出力方法を設定します。	50
		ダウンサンプリング	デジタル音声出力（同軸デジタル / 光デジタル）のダウンサンプリング周波数を設定します。	50
		DRC	DRC（ダイナミック・レンジ・コンプレッション）を有効 / 無効にします。	50
	SACD 出力	**優先出力**	SA-CD 再生時に使用する音声出力端子を設定します。	50
		SACD 選択	SA-CD 再生時に優先的に再生するコンテンツ（マルチチャンネル /2 チャンネル）を設定します。	50
		HDMI 出力	SA-CD 再生時に HDMI 端子から出力する音声信号の種類（DSD/PCM）を設定します。	50
	スピーカーセッティング	**2ch ダウンミックス**	マルチチャンネル音声信号を 2 チャンネル音声にダウンミックスする際の出力方法を設定します。	51
	ポストプロセス	**UpMix**	2 チャンネル音声信号をマルチチャンネル音声信号に変換して出力するかどうかを設定します。	51
システム情報 			本機のソフトウェアバージョンと MAC アドレスを表示します。	51

一般設定

本機の再生機能、セキュリティー、ネットワークに関する設定を行います。



- 各項目の初期値には下線が付いています。

◆システム

本機のシステムに関する設定を行います。

自動スタンバイ

本機を一定時間操作しなかったときに電源を自動的にスタンバイにします。

設定値

オン	入力信号が無い状態で、本機を 20 分間操作しなかったときに電源を自動的にスタンバイにする。（5 分経過すると画面にスクリーンセーバーが表示されます。）
オフ	電源を自動的にスタンバイにしない。

HDMI コントロール

HDMI コントロールを有効 / 無効にします。有効にすると、HDMI ケーブルで本機と接続したテレビや AV レシーバーとの連動操作が可能になります。

設定値

オン	HDMI コントロールを有効にする。
オフ	HDMI コントロールを無効にする。

- 本機は以下の HDMI コントロール機能に対応しています。（テレビや AV レシーバーによっては、一部の機能が動作しなかったり、別の機能が動作したりする場合があります。）
  - 本機で再生を始めると、テレビや AV レシーバーが本機からの入力に切り替わる。
  - テレビの電源を切ると、本機の電源も切れる（再生中や設定メニュー表示中を除く）。

- HDMI コントロールを使用するには、テレビや AV レシーバーが HDMI コントロールに対応している必要があります。
- HDMI コントロールを使用するには、テレビや AV レシーバー側であらかじめ連動設定が必要な場合があります。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- HDMI コントロール対応機器すべての動作を保証するものではありません。

デフォルト設定

本機の設定（「セキュリティ」設定を除く）を初期値に戻します。

ソフトウェア更新

USB メモリーまたはネットワーク経由で、本機のソフトウェアを更新します。詳しくは、「本機のソフトウェアを更新する」（21 ペ ー ジ）をご覧ください。

- 機能の追加や不具合の改善に応じて、本機のソフトウェアが更新されることがあります。本機の性能を最大限活用するため、ソフトウェアは定期的に更新することをおすすめします。

更新メッセージ

更新ソフトウェアが見つかったときにメッセージを表示するかどうかを設定します。

設定値

オン	メッセージを表示する。
オフ	メッセージを表示しない。

!

- **メッセージを表示するには、本機がインターネットに接続されている必要があります。**

3D メッセージ

本機の電源を入れたときに 3D 映像再生に関するメッセージを表示するかどうかを設定します。

設定値

オン	メッセージを表示する。
オフ	メッセージを表示しない。

ローカルストレージ

本機に接続されている USB メモリーの空き容量を表示します。

「フォーマット」を選ぶと、USB メモリー内の「BUDA」フォルダー（34 ページ）をフォーマットします。

簡単セットアップ

簡単セットアップを実行します。簡単セットアップでは、表示言語、解像度、画面サイズをかんたんに設定できます。

各項目の設定値については、「画面表示」（43 ページ）、「HDMI解像度」（47 ページ）、「スクリーン」（47 ページ）をご覧ください。

◆言語

言語に関する設定を行います。

!

- **ディスクによっては「ディスクメニュー」、「音声」、「字幕」の設定どおりに動作しない場合があります。その場合は、ディスクのメニュー画面から設定してください。**

画面表示

本機の画面表示（オンスクリーンメニュー、設定メニューなど）に使用する言語を設定します。

設定値

English（英語）、日本語

ディスクメニュー

ディスクに複数のディスクメニュー表示言語が収録されている場合に、優先的に使用する言語を設定します。

設定したい言語が見つからないときは、「More」を選ぶと選択できる言語がすべて表示されます。

音声

ディスク（ブルーレイディスク /DVD）に複数の音声言語が収録されている場合に、優先的に使用する言語を設定します。

設定したい言語が見つからないときは、「More」を選ぶと選択できる言語がすべて表示されます。

字幕

ディスク（ブルーレイディスク /DVD）に複数の字幕言語が収録されている場合に、優先的に使用する言語を設定します。

設定したい言語が見つからないときは、「More」を選ぶと選択できる言語がすべて表示されます。

字幕を表示しない場合は「オフ」を選んでください。

◆再生

再生機能に関する設定を行います。

ディスク自動再生

ディスクの自動再生機能を有効 / 無効にします。有効にすると、ディスクトレイにディスクをセットすると自動的に再生が始まります。

設定値

オン	自動再生機能を有効にする。
オフ	自動再生機能を無効にする。

Angle マーク

複数アングル（29 ページ）に対応しているディスク再生時にアイコン（）をテレビ画面に表示するかどうかを設定します。

設定値

オン	アイコンを表示する。
オフ	アイコンを表示しない。

PIP マーク

第 2 映像（Picture in Picture）（33 ページ）に対応しているブルーレイディスク再生時にアイコン（）をテレビ画面に表示するかどうかを設定します。

設定値

オン	アイコンを表示する。
オフ	アイコンを表示しない。

2nd オーディオマーク

第 2 音声（Secondary Audio）（33 ページ）に対応しているブルーレイディスク再生時にアイコン（）をテレビ画面に表示するかどうかを設定します。

設定値

オン	アイコンを表示する。
オフ	アイコンを表示しない。

ラストメモリー

ディスク（ブルーレイディスク /DVD）の再生を停止した位置を記憶させるかどうかを設定します。この機能を使うと、同じディスクを再生したときに前回停止した位置から続きを視聴できます。

設定値

オン	再生停止位置を記憶させる。
オフ	再生停止位置を記憶させない。



- ■■ キー、⏏ キー、⏻ キーのいずれかで再生を終了した場合に停止位置を記憶します。（■ キーで停止した場合は記憶しません。）



- ディスクによっては、この機能が正しく動作しない場合があります。

DivX(R) VOD DRM

DivX® ビデオ（63 ページ）の再生に必要な登録コードを表示します。

DivX(R) 字幕

DivX® ビデオ（63 ページ）の字幕表示を有効 / 無効にします。

設定値

オン	字幕表示を有効にする。
オフ	字幕表示を無効にする。

DVD-Audio

DVD-Audio コンテンツの再生を有効 / 無効にします。

設定値

DVD-AUDIO	DVD-Audio コンテンツの再生を有効にする（DVD-Video も再生可能）。
DVD-VIDEO	DVD-Audio コンテンツの再生を無効にする（DVD-Video のみ再生可能）。



- この設定を変更するには、ディスクトレイからディスクを取り出してください。
- DVD-Audio と DVD-Video の両方が収録されているディスクを再生する場合など、「DVD-Audio」を「DVD-VIDEO」に設定しないと DVD-Video を再生できないことがあります。

◆セキュリティ

セキュリティーに関する設定を行います。

パスワード変更

「視聴制限」や「国 / 地域」の設定変更時に入力するパスワードを設定します。

パスワードを設定するには、現在のパスワード（初期値：0000）を入力してから、新しいパスワードを 2 回入力してください。

パスワードを忘れた場合

パスワードを忘れた場合は、以下の手順で本機をリセットしてパスワードを初期値（0000）に戻すことができます。ただし、本機をリセットすると「セキュリティ」設定を含むすべての設定が初期化されます。

① 本機の再生を停止して、ディスクトレイからディスクを取り出す。
② 本体前面の ▯▯ キー、▭ キー、⏏ キーを同時に押し続ける。
③ 自動的に電源が切れたら、⏻ キーを押して電源を入れる。

視聴制限

ディスクによっては、その内容により視聴制限レベルが設けられている場合があります。本機で視聴制限レベルを設定すると、そのレベルを超えるディスクの再生時にパスワードの入力が必要になります。

たとえば、本機をレベル 3 に設定した場合、レベル 4 以上のディスクはパスワードを入力しないと再生できません（レベル 1 ～ 3 のディスクは通常どおり再生できます）。

設定値

1 ～ 8	選択したレベルで視聴を制限する。
オフ	視聴を制限しない。

• この設定を変更するには、パスワードの入力が必要になります。

国 / 地域

視聴制限に使用する国 / 地域コードを設定します。

• この設定を変更するには、パスワードの入力が必要になります。

◆ネットワーク

ネットワークに関する設定を行います。

接続設定

ネットワークへの接続方法を設定します。

設定値

イーサネット	市販のネットワークケーブルを使って（15 ページ）、本機をネットワークに接続する場合に選択する。
ワイヤレス	無線ルーター（アクセスポイント）を経由して、本機をネットワークに接続する場合に選択する。詳しくは「無線接続を設定する」（20 ページ）をご覧ください。

ネットワーク情報

ネットワーク情報（IP アドレスなど）を表示します。接続方法（有線 / 無線）により表示される情報が異なります。

接続試験

ネットワークに正しく接続されているかどうかを確認します。

正しく接続されている場合は「ネットワークは OK です。」と表示されます。「ネットワークが接続できません。」と表示された場合は、ネットワークケーブル接続（15 ページ）や無線設定（20 ページ）をご確認ください。

IP アドレス設定

ネットワーク情報（IP アドレスなど）を設定します。

設定値

自動	DHCP サーバーを使用して、本機のネットワーク情報（IP アドレスなど）を自動的に取得する。取得した情報は「ネットワーク情報」で確認できます。
マニュアル	DHCP サーバーを使用せずに、ネットワーク情報（IP アドレスなど）を手動で設定する。詳しくは「ネットワーク情報の手動設定」をご確認ください。

ネットワーク情報の手動設定

1 「IP アドレス設定」で「マニュアル」を選ぶ。

2 カーソルキー（◀/▶）で変更する位置を移動し、数字キーで数値を入力する。
入力した数値を消す場合は、CLEAR キーを押す。

3 手順 2 を繰り返して各項目の数値を入力する。

4 すべての入力が完了したら ENTER キーを押す。

プロキシ設定

プロキシーサーバー設定を有効 / 無効にします。

設定値

使用しない	プロキシーサーバー設定を無効にする。 通常のご家庭で使用される場合はこの設定を選んでください。
使用する	プロキシーサーバー設定を有効にする。 「サーバー名」および「ポート番号」を選んで各設定を行ってください。

ネットワークコントロール

AV CONTROLLER（38 ページ）を使った本機の操作を有効 / 無効にします。

設定値

オン	AV CONTROLLER からの操作を有効にする。
アドレスフィルタリング	AV CONTROLLER からの操作を有効にする。 「MAC1 ～ 5」で指定した MAC アドレスを持つモバイル機器（スマートフォン、タブレットなど）からのみ操作できます。
オフ	AV CONTROLLER からの操作を無効にする。

ネットワークスタンバイ

ネットワーク機器から本機の電源を入れる機能（ネットワークスタンバイ）を有効 / 無効にします。

設定値

オン	ネットワークスタンバイを有効にする。
オフ	ネットワークスタンバイを無効にする。

- 「ネットワークコントロール」が「オフ」の場合は設定できません。
- 「ネットワークスタンバイ」を「オン」に設定すると、「オフ」に設定時より電力を消費します。

DMC コントロール

デジタル・メディア・コントローラー（DMC）対応のモバイル機器からの操作（16 ページ）を有効 / 無効にします。

設定値

使用する	モバイル機器からの操作を有効にする。
使用しない	モバイル機器からの操作を無効にする。

BD-LIVE 接続

BD-Live コンテンツ（34 ページ）へのアクセスを制限します。

設定値

許可	BD-Live コンテンツへのアクセスを制限しない。
一部許可	BD-Live コンテンツにアクセスする前に、アクセスを許可するかどうかを選ぶ。
禁止	BD-Live コンテンツへのアクセスを制限する。 この場合、全てのディスクの BD-Live 機能が使用できなくなります。

ディスプレイ設定

映像や画面に関する設定を行います。



- 各項目の初期値には下線が付いています。

◆テレビ

テレビに出力する映像に関する設定を行います。

3D 出力

ブルーレイ 3D の再生を有効 / 無効にします。

設定値

自動	ブルーレイ 3D の再生を有効にする。（3D 映像 /2D 映像が自動的に識別され、テレビに出力されます。）
オフ	ブルーレイ 3D の再生を無効にする。（2D 映像のみテレビに出力されます。）

- 「3D 出力」が「自動」の状態でブルーレイ 3D ディスクを再生しても、テレビの設定やディスクによっては 2D 映像が表示される場合があります。

スクリーン

本機から出力する映像信号のアスペクト比（縦横比）を設定します。

設定値

16:9 ワイド	画面が 16:9 のテレビを使用時に選択します。4:3 の映像を表示するときは、映像を左右に引き延ばして 16:9 のテレビにあわせます。
16:9 ノーマル	画面が 16:9 のテレビを使用時に選択します。4:3 の映像を表示するときは、映像の左右に黒い帯をつけて 16:9 のテレビにあわせます。
4:3 パンスキャン	画面が 4:3 のテレビを使用時に選択します。16:9 の映像を表示するときは、映像の左右をカットして 4:3 のテレビにあわせます。
4:3 レターボックス	画面が 4:3 のテレビを使用時に選択します。16:9 の映像を表示するときは、映像の上下に黒い帯をつけて 4:3 のテレビにあわせます。

HDMI 解像度

本機から出力する HDMI 映像の解像度を設定します。詳しくは「映像出力フォーマット」（52 ページ）をご覧ください。

設定値

自動	本機と接続したテレビが対応しているもっとも高い解像度で出力する。
オリジナル	ブルーレイディスク /DVD を再生時はディスクの解像度のまま出力する。それ以外のときは本機と接続したテレビが対応しているもっとも高い解像度で出力する。 AV レシーバーなどの外部機器で解像度を変換する場合は、この設定を選んでください。
1080p、1080i、720p、480p/576p、480i/576i	指定した解像度で出力する。

- テレビが対応していない解像度を選んだ場合、映像が表示されません。その場合は、「自動」またはテレビが対応している解像度に変更してください。
- HDMI 端子から HD オーディオ（Dolby TrueHD または DTS-HD Master Audio）を出力する場合は、「自動」または 720p 以上の解像度に設定してください。

テレビシステム

テレビ映像方式を設定します。詳しくは「映像出力フォーマット」（52 ページ）をご覧ください。

設定値

NTSC	NTSC 方式のテレビを使用する場合に選択する。
PAL	PAL 方式のテレビを使用する場合に選択する。
マルチ	NTSC 方式と PAL 方式の両方に対応しているテレビを使用する場合に選択する。

カラースペース

本機から出力する HDMI 映像の色空間（63 ページ）を設定します。

設定値

YCbCr 4:4:4	YCbCr 4:4:4 の色空間で出力する。
YCbCr 4:2:2	YCbCr 4:2:2 の色空間で出力する。
Full RGB	RGB（0 ～ 255）の色空間で出力する。
RGB	RGB（16 ～ 235）の色空間で出力する。

- テレビが対応している色空間を選んだ場合のみ効果があります。

Deep Color

Deep Color（63 ページ）に対応しているテレビや AV レシーバーを使用時に、本機から出力する HDMI 映像の色数を設定します。

設定値

30 bits、36 bits、48 bits	指定したビット数のカラーで出力する。
オフ	通常の 24 ビットカラーで出力する。

HDMI 1080p 24Hz

HDMI 映像の 1080p/24Hz 出力を有効 / 無効にします。

設定値

自動	HDMI 映像の 1080p/24Hz 出力を有効にする。 1080p/24Hz 対応のブルーレイディスクを再生すると、自動的に 1080p/24Hz 信号が出力されます。
オフ	HDMI 映像の 1080p/24Hz 出力を無効にする。

- **「HDMI 1080p 24Hz」を「自動」に設定すると、毎秒 24 フレームで記録したブルーレイディスク（映画など）を再生する際、より自然な高画質映像を楽しめます（テレビが 1080p/24Hz に対応している必要があります）。**
- **1080p/24Hz 出力を有効にするには、「HDMI 解像度」（47 ページ）が「自動」、「オリジナル」、「1080p」のいずれかに設定されている必要があります。詳しくは「映像出力フォーマット」（52 ページ）をご覧ください。**

◆ビデオプロセス

映像信号処理に関する設定を行います。

ノイズリダクション

ノイズリダクションのレベルを設定します。レベルが大きいほどノイズ除去の効果が大きくなります。

設定値

0、1、2、3

デインターレース

デインターレース処理（水平方向の線形ノイズ除去）方法を設定します。

設定値

自動	映像信号にあわせてデインターレース処理を自動的に適用する。 映像表示に問題がない場合はこの設定を選んでください。
フィルム	映画に適したインターレース処理を適用する。 映画を視聴時に水平方向に線形ノイズが発生する場合はこの設定を選んでください。
ビデオ	映画以外の動画に適したインターレース処理を適用する。 動画を視聴時に水平方向に線形ノイズが発生する場合はこの設定を選んでください。

◆クローズドキャプション

米国のクローズドキャプション（文字情報表示）に関する設定を行います。

CC アトリビュート

クローズドキャプション（文字情報表示）の表示方法を設定します。

設定値

自動	コンテンツの初期設定にしたがって、クローズドキャプションを自動的に表示する。
カスタム	クローズドキャプションの表示方法を手動で設定する。 目的に応じて、文字（フォント色、フォントサイズ、フォントスタイル、フォント透かし、フォントエッジ、フォントエッジ色）、背景（BG カラー、BG 透かし）、窓枠（Window カラー、Window 透かし）を設定してください。

オーディオ設定

音声に関する設定を行います。



- **各項目の初期値には下線が付いています。**

◆オーディオ出力

音声出力に関する設定を行います。

同軸 / 光

デジタル音声（同軸デジタル / 光デジタル）の出力方法を設定します。詳しくは「音声出力フォーマット」（53 ページ）をご覧ください。

設定値

ビットストリーム	デジタル音声（同軸デジタル / 光デジタル）を変換せずにそのまま出力する。 この場合、ブルーレイディスクの第 2 音声（Secondary Audio）は再生できません。
PCM	2 チャンネル PCM 音声に変換して出力する。
再エンコード	ブルーレイディスクの第 2 音声（Secondary Audio）をミキシングして、Dolby Digital 音声や DTS 音声に変換して出力する。
オフ	デジタル音声（同軸デジタル / 光デジタル）を出力しない。

HDMI

HDMI音声の出力方法を設定します。詳しくは「音声出力フォーマット」(53 ページ)をご覧ください。

設定値

ビットストリーム	HDMI 音声を変換せずにそのまま出力する。 この場合、ブルーレイディスクの第 2 音声（Secondary Audio）は再生できません。
PCM	PCM 音声に変換して出力する。
再エンコード	ブルーレイディスクの第 2 音声（Secondary Audio）をミキシングして、Dolby Digital 音声や DTS 音声に変換して出力する。
オフ	HDMI 音声を出力しない。

- **HDMI 端子から HD オーディオ（Dolby TrueHD または DTS-HD Master Audio）を出力する場合は、「HDMI 解像度」（47 ページ）を「自動」または 720p 以上の解像度に設定してください。**

ダウンサンプリング

デジタル音声出力（同軸デジタル / 光デジタル）のダウンサンプリング周波数を設定します。同軸デジタル端子および光デジタル端子から出力できる音声が、ここで設定したサンプリング周波数以下に制限されます。

設定値
48K、96K、192K

DRC

DRC（ダイナミック・レンジ・コンプレッション）を有効 / 無効にします。有効にすると、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生できます。セリフが聞きとりにくい場合や深夜に映画を観る場合などにご利用ください。

設定値

オフ	DRC を無効にする。
オン	DRC を常に有効にする。
自動	ディスクの音声に応じて、DRC を自動的に有効 / 無効にする（Dolby TrueHD のみ対応）。

◆SACD 出力

スーパーオーディオ CD（SA-CD）の音声出力に関する設定を行います。

- **SA-CD 再生時に本機から出力される音声フォーマットについては、「スーパーオーディオ CD（SA-CD）の音声出力フォーマット」（54 ページ）をご覧ください。**

優先出力

SA-CD 再生時に使用する音声出力端子を設定します。

設定値

HDMI	HDMI 端子から音声を出力する。
アナログ	アナログ（AUDIO OUT）端子から音声をする。 DSD ステレオ信号（7 ページ）が自動的に選択され、そのままアナログに変換した信号が出力されます。

SACD 選択

SA-CD 再生時に優先的に再生するコンテンツ（マルチチャンネル /2 チャンネル）を設定します。

設定値

マルチチャンネル	マルチチャンネル音声を出力する。
ステレオ	2 チャンネル音声を出力する。

- **再生する SA-CD にマルチチャンネル音声が収録されている場合のみ有効です。**
- **「優先出力」が「アナログ」の場合は、常に 2 チャンネル音声が出力されます。**

HDMI 出力

SA-CD 再生時に HDMI 端子から出力する音声信号の種類(DSD/PCM)を設定します。

設定値

DSD	DSD（ダイレクトストリームデジタル）信号をそのまま出力する。
PCM	本機でデコードした PCM 信号を出力する。

• **本機を DSD 対応の AV レシーバーに接続する場合は、「DSD」に設定することをおすすめします。**

◆スピーカーセッティング

スピーカー出力に関する設定を行います。

2ch ダウンミックス

マルチチャンネル音声信号を 2 チャンネル音声にダウンミックスする際の出力方法を設定します。

設定値

ステレオ	2 チャンネル（ステレオ）音声に変換して出力する。 音声はステレオスピーカー（2 つのフロントスピーカー）からのみ出力されます。
Lt/Rt	Dolby Surround 対応の 2 チャンネル音声に変換して出力する。 Dolby Pro Logic 対応の AV レシーバーを使って再生する場合、サラウンド音声が出力されます。

◆ポストプロセス

音声信号の後処理に関する設定を行います。

UpMix

2 チャンネル音声信号をマルチチャンネル音声信号に変換して出力するかどうかを設定します。

設定値

オフ	2 チャンネル音声をそのまま出力する。
DTS NEO:6	DTS NEO:6 デコーダーを使って、2 チャンネル音声信号をマルチチャンネル音声信号に変換して出力する。 再生コンテンツに応じて「シネマ」または「音楽」を選んでください。

システム情報

本機のソフトウェアバージョン（21 ページ）と MAC アドレス（64 ページ）を表示します。



本機の映像 / 音声出力

映像出力フォーマット

「テレビシステム」を「NTSC」に設定時

コンテンツ	HDMI 解像度（47 ページ）						
	自動	オリジナル	1080p	1080i	720p	480p/576p	480i/576i
BD-Video（1080p/24Hz 収録）	*1	1080p 24Hz	1080p 24Hz/60Hz *3	1080i 60Hz	720p 60Hz	480p	480i
BD-Video（1080p/24Hz 未収録）	*1	*2	1080p 60Hz	1080i 60Hz	720p 60Hz	480p	480i
DVD-Video	*1	*2	1080p 60Hz	1080i 60Hz	720p 60Hz	480p	480i
その他	*1	*1	1080p 60Hz	1080i 60Hz	720p 60Hz	480p	480i

「テレビシステム」を「PAL」に設定時

コンテンツ	HDMI 解像度（47 ページ）						
	自動	オリジナル	1080p	1080i	720p	480p/576p	480i/576i
BD-Video（1080p/24Hz 収録）	*1	1080p 24Hz	1080p 24Hz/50Hz *3	1080i 50Hz	720p 50Hz	576p	576i
BD-Video（1080p/24Hz 未収録）	*1	*2	1080p 50Hz	1080i 50Hz	720p 50Hz	576p	576i
DVD-Video	*1	*2	1080p 50Hz	1080i 50Hz	720p 50Hz	576p	576i
その他	*1	*1	1080p 50Hz	1080i 50Hz	720p 50Hz	576p	576i

***1** 本機と接続したテレビが対応しているもっとも高い解像度で出力する。
***2** ディスクの解像度 / 周波数のまま出力する。
***3** 1080p 24Hz 対応のテレビを接続し「HDMI 1080p 24Hz」（48 ページ）を「自動」に設定時は 1080p 24Hz で出力、それ以外は 1080p 50/60Hz で出力する。

「テレビシステム」を「マルチ」に設定時

「テレビシステム」が「マルチ」に設定されている場合、ディスクの映像方式（NTSC/PAL）のまま HDMI 映像信号が出力されます。各映像方式の解像度 / 周波数については、上記テーブルをご覧ください。

- 出力解像度で映像を表示するには、テレビが各解像度に対応している必要があります。
- 「テレビシステム」（48 ページ）を「NTSC」に設定時は、コンテンツの周波数に関係なく常に 60Hz で出力されます。また「PAL」に設定時は常に 50Hz で出力されます。

音声出力フォーマット

ソースフォーマット	HDMI 端子			DIGITAL OUT（COAXIAL/OPTICAL）端子			AUDIO OUT 端子
	ビットストリーム *1	PCM *1	再エンコード *1	ビットストリーム *1	PCM *1	再エンコード *1	
PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch *2	PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch *2	2ch
PCM 5.1ch	PCM 5.1ch	PCM 5.1ch	PCM 5.1ch *2	PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch *2	2ch
PCM 7.1ch	PCM 7.1ch	PCM 7.1ch	PCM 7.1ch *2	PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch *2	2ch
Dolby Digital	Dolby Digital	PCM 最大 5.1ch	Dolby Digital	Dolby Digital	PCM 2ch	Dolby Digital	2ch
Dolby Digital Plus	Dolby Digital Plus	PCM 最大 7.1ch	Dolby Digital Plus *2	Dolby Digital	PCM 2ch	Dolby Digital	2ch
Dolby TrueHD	Dolby TrueHD	PCM 最大 7.1ch	Dolby TrueHD *2	Dolby Digital	PCM 2ch	Dolby Digital	2ch
DTS	DTS	PCM 最大 5.1ch *3	DTS *4	DTS	PCM 2ch *3	DTS *4	2ch *3
DTS-HD High Resolution	DTS-HD High Resolution	PCM 最大 7.1ch *3	DTS-HD High Resolution *5	DTS	PCM 2ch *3	DTS *4	2ch *3
DTS-HD Master Audio	DTS-HD Master Audio	PCM 最大 7.1ch *3	DTS-HD Master Audio *5	DTS	PCM 2ch *3	DTS *4	2ch *3

***1** 「オーディオ出力」（**49** ページ）の設定値による。
***2** 第 **2** 音声（**Secondary Audio**）や特殊音声（ボタンクリック音、効果音など）を含む場合は、**Dolby Digital** で出力する。
***3** **USB**、**DLNA**、ネットワークサービスのコンテンツを再生時は、音声を出力しない。
***4** **USB**、**DLNA**、ネットワークサービスのコンテンツを再生時は、再エンコードしない（ビットストリームと同じフォーマットで出力）。
***5** 第 **2** 音声（**Secondary Audio**）や特殊音声（ボタンクリック音、効果音など）を含む場合は、**DTS** で出力する。ただし、**USB**、**DLNA**、ネットワークサービスのコンテンツを再生時は、再エンコードしない（**Bitstream** と同じフォーマットで出力）。

◆スーパーオーディオ CD（SA-CD）の音声出力フォーマット

SACD 出力（50 ページ）			HDMI 端子	DIGITAL OUT（COAXIAL/OPTICAL）端子	AUDIO OUT 端子
優先出力	SACD 選択	HDMI 出力			
HDMI	マルチチャンネル	DSD	DSD 最大 5.1ch	出力なし	2ch（DSD 信号を変換）
		PCM	PCM 最大 5.1ch	出力なし	2ch（PCM 信号を変換）
	ステレオ	DSD	DSD 2ch	出力なし	2ch（DSD 信号を変換）
		PCM	PCM 2ch	出力なし	2ch（PCM 信号を変換）
アナログ	マルチチャンネル	DSD	出力なし	出力なし	2ch（DSD 信号を変換）
		PCM	出力なし	出力なし	2ch（DSD 信号を変換）
	ステレオ	DSD	出力なし	出力なし	2ch（DSD 信号を変換）
		PCM	出力なし	出力なし	2ch（DSD 信号を変換）

付録

故障かな？と思ったら

ご使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。

対処しても正常に動作しない、または下記以外で異常が認められた場合は、本機の電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

最初にご確認ください ...

① 本機、テレビ、ほかの外部機器（AV レシーバーなど）の電源プラグがコンセントにしっかりと接続されている。

② 本機、テレビ、ほかの外部機器（AV レシーバーなど）の電源が入っている。

③ 各機器間のケーブルが端子にしっかりと接続されている。

電源 / システム / リモコン

症状	原因	対策
電源が切れない	内部システムがフリーズしている。	本体前面の ⏻（電源）キーを 5 秒以上押して本機を再起動してください。（それでも解決しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜き、30 秒以上経ってから接続し直してください。）
電源が自動的にスタンバイに切り替わる	操作がない状態で一定時間が経過したため、自動スタンバイ機能が作動した。	自動スタンバイ機能を無効にするには、設定メニューの「自動スタンバイ」を「オフ」に設定してください（42 ページ）。
本機が操作を受け付けない	内部システムがフリーズしている。	本体前面の ⏻（電源）キーを 5 秒以上押して本機を再起動してください。（それでも解決しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜き、30 秒以上経ってから接続し直してください。）
リモコンで本機を操作できない	操作範囲から外れている。	操作範囲内で操作してください（4 ページ）。
	乾電池が消耗している。	新しい乾電池に交換してください。
	本体のリモコン信号受光部に日光や強い照明が当たっている。	照明または本体の向きを変えてください。
	本体とリモコンの ID が一致していない。	本体側またはリモコン側のリモコン ID を変更してください（11 ページ）。
ディスクトレイが開閉しない	ネットワークサービス、*Bluetooth* または Miracast を使用中でディスクトレイがロックされている。	ネットワークサービスを終了するには HOME キーを押してください。 *Bluetooth* を終了するには Bluetooth キーを押してください。 Miracast を終了するには MIRACAST キーを押してください。

症状	原因	対策
ディスクを再生できない	ディスクがディスクトレイに正しくセットされていない。	ディスクをセットし直してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください（61 ページ）。
	本機が対応していないディスク / ファイルを再生しようとしている。	本機で再生できるディスク / ファイルか確認してください（6 ページ）。
	本機が対応していないリージョンコードのディスクを再生しようとしている。	ディスクのリージョンコードを確認してください（7 ページ）。
	ファイナライズされていない自作ディスク（DVD-R/RW など）を再生しようとしている。	ディスクをファイナライズしてください（6 ページ）。
	ディスクまたはディスク内のデータが破損している。	該当ディスクを別のプレーヤーで再生する、または別のディスクが問題なく本機で再生できるかご確認ください。
ブルーレイディスクの再生に時間がかかる	USB 端子（前面または背面）に USB メモリーが接続されていない。	ブルーレイディスクを読み込む際、本機は BD-Live コンテンツ（34 ページ）を保存するための USB メモリー（ローカルストレージ）を確認します。再生までの時間を短縮するには、USB メモリーを USB 端子（前面または背面）に常時接続しておくことをおすすめします（17 ページ）。

映像

症状	原因	対策
映像が出ない	テレビや AV レシーバーで別の入力が選択されている。	テレビや AV レシーバーの入力を本機からの映像に切り替えてください。
	テレビが対応していない解像度で出力している。	本機の再生を停止してディスクを取り出し、本体前面の ▻ キーと ▭ キーを同時に 5 秒以上押して解像度の設定を初期値に戻してください。また必要に応じて、設定メニューの「HDMI 解像度」でテレビが対応している解像度に設定し直してください（47 ページ）。
	テレビが対応していない映像方式（NTSC/PAL）で出力している。	本機の再生を停止してディスクを取り出し、本体前面の ▭ キーを 5 秒以上押して映像方式（NTSC/PAL）を切り替えてください。
	本機が対応していないディスク / ファイルを再生しようとしている。	本機で再生できるディスク / ファイルか確認してください（6 ページ）。
映像が止まる	ディスクの読み込みに問題が生じた。	いったん再生を停止するか本機の電源を入れ直してから、もう一度再生してください。
	内部システムがフリーズしている。	本体前面の ⏻（電源）キーを 5 秒以上押して本機を再起動してください。（それでも解決しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜き、30 秒以上経ってから接続し直してください。）。
映像が伸びたり切れたりする	アスペクト比（縦横比）が正しく設定されていない。	設定メニューの「スクリーン」でお使いのテレビにあったアスペクト比を選んでください（47 ページ）。
四角いノイズ（モザイク）が出る	デジタル画像圧縮技術の特性上、動きの速い場面なででブロック状のノイズが生じることがあります。	故障ではありません。

音声

症状	原因	対策
音が出ない	音量が極端に小さい。	テレビや AV レシーバーの音量を上げてください。
	本機が対応していないディスク / ファイルを再生しようとしている。	本機で再生できるディスク / ファイルか確認してください（6 ページ）。
音が途切れる	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください（61 ページ）。
	本機が対応していないディスク / ファイルを再生しようとしている。	本機で再生できるディスク / ファイルか確認してください（6 ページ）。
	ディスクまたはディスク内のデータが破損している。	該当ディスクを別のプレーヤーで再生する、または別のディスクが本機で問題なく再生できるかご確認ください。
意図した音声フォーマットで出力されない	音声出力が正しく設定されていない。	設定メニューの「オーディオ出力」で目的にあった音声出力設定を選んでください（49 ページ）。なお、本機から出力できる音声フォーマットについては、「音声出力フォーマット」（53 ページ）をご覧ください。
ブルーレイディスクの第 2 音声（Secondary Audio）を再生できない	第 2 音声が無効になっている。	2ND AUDIO キーを押して第 2 音声を有効にしてください（33 ページ）。
	第 2 音声を再生できない音声出力設定が選ばれている。	設定メニューの「オーディオ出力（HDMI）」（50 ページ）または「オーディオ出力（同軸 / 光）」（49 ページ）を「PCM」または「再エンコード」に設定してください。
	ディスクによっては、ディスクのメニュー画面でしか操作できない場合があります。	ディスクのメニュー画面で第 2 音声の再生操作を行ってください。
スーパーオーディオ CD（SA-CD）の音が出ない	設定メニューの「優先出力」が「アナログ」に設定されている状態で、HDMI 端子に接続した機器で再生しようとしている。	設定メニューの「優先出力」を「HDMI」に設定してください（50 ページ）。
	COXIAL 端子または OPTICAL 端子に接続した機器で再生しようとしている。	スーパーオーディオ CD（SA-CD）の音声は、COAXIAL 端子および OPTICAL 端子から出力することはできません。HDMI 端子または AUDIO OUT 端子をご利用ください。詳しくは「スーパーオーディオ CD（SA-CD）の音声出力フォーマット」（54 ページ）をご覧ください。

ネットワーク

症状	原因	対策
ネットワーク機能（有線 / 無線）を使用できない	ネットワークへの接続方法が正しく設定されていない。	設定メニューの「接続設定」で目的にあった接続方法を選んでください（45 ページ）。
	ネットワーク情報（IP アドレス）が正しく取得されていない。	ルーターの DHCP サーバー機能を有効にしてください。また、本機の設定メニューで「IP アドレス設定」を「自動」に設定してください（45 ページ）。 DHCP サーバーを使用せずに、ネットワーク情報を手動で設定する場合は、本機の IP アドレスが他のネットワーク機器と重複しないようにしてください（46 ページ）。

症状	原因	対策
無線ネットワークが見つからない	無線ルーター（アクセスポイント）の電源が切れている。	無線ルーター（アクセスポイント）の電源を入れてください。
	本機と無線ルーター（アクセスポイント）の距離が離れすぎている。	本機と無線ルーター（アクセスポイント）を近づけてください。
	本機と無線ルーター（アクセスポイント）の間に障害物がある。	本機または無線ルーター（アクセスポイント）を移動し、機器間に障害物がなくなるように設置してください。
	2.4GHz 周波数帯を使用する機器（電子レンジ、コードレス電話など）からの干渉により、無線通信が妨害されている。	それらの機器の電源を切るか、本機や無線ルーターから遠ざけてください。 それでも改善されない場合は、有線接続をご利用ください（45 ページ）。その場合は、設定メニューの「接続設定」を「イーサネット」に設定してください（15 ページ）。
	無線ルーター（アクセスポイント）の設定が適切でない。	無線ルーター（アクセスポイント）の取扱説明書を参照のうえ、各種設定を確認してください。
無線ルーター（アクセスポイント）経由でインターネットに接続できない	無線ルーター（アクセスポイント）の電源が切れている。	無線ルーター（アクセスポイント）の電源を入れてください。
	無線ルーター（アクセスポイント）の設定が適切でない。	無線ルーター（アクセスポイント）の取扱説明書を参照のうえ、各種設定（ファイアウォール設定など）を確認してください。
無線接続の通信速度が遅い	2.4GHz 周波数帯を使用する機器（電子レンジ、コードレス電話など）からの干渉により、無線通信が妨害されている。	それらの機器の電源を切るか、本機や無線ルーターから遠ざけてください。 それでも改善されない場合は、有線接続をご利用ください（45 ページ）。その場合は、設定メニューの「接続設定」を「イーサネット」に設定してください（15 ページ）。
DLNA サーバー（パソコンなど）が検出されない	メディアの共有設定が正しくない。	本機が DLNA サーバーのフォルダーにアクセスできるように、メディアの共有設定を行ってください（16 ページ）。
	セキュリティソフトなどの設定により、パソコンへのアクセスが制限されている。	セキュリティソフトの設定を確認してください。
	本機とパソコンが同じネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続やルーター（アクセスポイント）の設定を確認し、同じネットワークに接続してください。
DLNAサーバーのコンテンツを再生できない	本機が対応していないファイルを再生しようとしている。	本機が再生できるファイルか確認してください（6 ページ）。
	DLNA サーバーが対応していないファイルを再生しようとしている。	DLNA サーバーの取扱説明書を参照のうえ、DLNA サーバーが対応しているファイルか確認してください。
BD-Liveコンテンツをダウンロードできない	USB 端子（前面または背面）に USB メモリーが接続されていない。	BD-Live コンテンツを保存するための USB メモリー（ローカルストレージ）を USB 端子に接続してください（17 ページ）。
	USB メモリー（ローカルストレージ）の空き容量が不足している。	USB メモリー（ローカルストレージ）をフォーマットするか（43 ページ）、別の USB メモリー（空き容量が 2.0GB 以上）を使用してください。
	コンテンツプロバイダーの都合により、コンテンツのダウンロードができない状態になっている。	しばらく経ってから再度お試しください。

症状	原因	対策
モバイル機器用アプリケーション（AV CONTROLLER）で本機が検出されない	本機とモバイル機器が同じネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続やルーター（アクセスポイント）の設定を確認し、同じネットワークに接続してください。
	本機にアクセスできるネットワーク機器が制限されている。	設定メニューの「ネットワークコントロール」を「オフ」または「アドレスフィルタリング」に設定してください（46 ページ）。「アドレスフィルタリング」に設定した場合は、使用するモバイル機器の MAC アドレスを指定してください。
ネットワーク経由でソフトウェアを更新できない	ネットワークの接続状態がよくない。	しばらく経ってから再度実行するか、USB メモリーを使ってソフトウェアを更新してください（21 ページ）。

Bluetooth

症状	原因	対策
ペアリングできない	本機と *Bluetooth* 機器の距離が離れすぎている。	本機と *Bluetooth* 機器を近づけてください。
	本機が別の *Bluetooth* 機器と接続されている。	ⓑキーを押して現在の *Bluetooth* 接続を終了してから、ペアリングを行ってください（36 ページ）。
	お使いの *Bluetooth* 機器が A2DP プロトコルに対応していない。	A2DP 対応の *Bluetooth* 機器をお使いください。
	2.4GHz 周波数帯を使用する機器（電子レンジ、コードレス電話など）からの干渉により、無線通信が妨害されている。	それらの機器の電源を切るか、本機や *Bluetooth* 機器から遠ざけてください。
ペアリングした *Bluetooth* 機器と接続できない	本機が別の *Bluetooth* 機器と接続されている。	ⓑキーを押して現在の *Bluetooth* 接続を終了してから、目的の *Bluetooth* 機器と接続してください（37 ページ）。
	新しい *Bluetooth* 機器とペアリングしたため、古いペアリング情報が消去された。（本機は最大 8 台の *Bluetooth* 機器とペアリングできます。）	本機と目的の *Bluetooth* 機器をもう一度ペアリングしてください（36 ページ）。
音が出なかったり途切れたりする	音量が極端に小さい。	*Bluetooth* 機器の音量を上げてください。
	本機と *Bluetooth* 機器が接続されていない。	本機と *Bluetooth* 機器を接続してください（37 ページ）。
	Bluetooth 機器の *Bluetooth* 機能が動作していない、または音声を伝送する設定になっていない。	*Bluetooth* 機器の *Bluetooth* 設定を確認してください。
	本機と *Bluetooth* 機器の距離が離れすぎている。	本機と *Bluetooth* 機器を近づけてください。
	2.4GHz 周波数帯を使用する機器（電子レンジ、コードレス電話など）からの干渉により、無線通信が妨害されている。	それらの機器の電源を切るか、本機や *Bluetooth* 機器から遠ざけてください。

テレビ画面のエラー表示

メッセージ	内容	対策
BD-Live 接続はセットアップメニューで禁止されています。	BD-Live コンテンツへのアクセスが制限されています。	BD-Live コンテンツにアクセスにすには、設定メニューの「BD-LIVE 接続」を「許可」または「一部許可」に設定してください（46 ページ）。
IP 設定が無効です。再度設定ください ...	入力されたネットワーク情報（IP アドレスなど）が正しくない。	設定メニューの「IP アドレス設定」でネットワーク情報（IP アドレスなど）を設定し直してください（45 ページ）。
ネットワークが接続できません。	本機がネットワークに接続されていない。	ネットワークケーブル接続（15 ページ）または無線接続の設定（20 ページ）を確認してください。
ネットワーク OK、プロキシ NG **ネットワークが接続できません。**	本機がプロキシーサーバーに接続されていない。	設定メニューの「プロキシ設定」の設定を確認してください（46 ページ）。
リージョンコードが違います。	本機が対応していないリージョンコードのディスクを再生しようとしている。	ディスクのリージョンコードを確認してください（7 ページ）。
非対応ファイル	本機が対応していないファイルを再生しようとしている。	本機が再生できるファイルか確認してください（6 ページ）。
ソフトウェアの更新に失敗しました。	何らかの理由でソフトウェアの更新に失敗した。	ネットワーク経由で更新している場合は、ネットワークケーブル接続（15 ページ）または無線接続の設定（20 ページ）を確認してください。 USB メモリーで更新している場合は、ダウンロードしたソフトウェアが USB メモリーの適切なフォルダーに保存されているか、また USB メモリーがしっかりと USB 端子に接続されているかを確認してください。

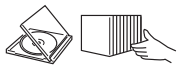
ディスクと動画再生に関するご注意

ディスクに関するご注意

傷やほこりに注意

- ブルーレイディスク、DVD、CD の記録面に傷、ほこり、指紋がつくと再生できなくなることがあります。ディスクの取り扱いや保管には十分ご注意ください。

ディスクの保管

ケースに保管するときは、ラベル面を上にしてケース中央にしまってください。	
直射日光の当たる場所や高温多湿な場所に保管しないでください。	
不安定な場所や衝撃や振動を受けやすい場所に保管しないでください。	
ほこりや水気の多い場所に保管しないでください。	

ディスクの取り扱い



- 記録面に指紋やほこりがついたときは、水で湿らせた柔らかい布を使って内側（中心）から外側（直角方向）に軽く拭いてください。
- ディスクを拭く際に、レコードスプレー、ベンジン、シンナー、帯電防止剤、その他の化学薬品を絶対に使わないでください。
- ディスクの表面に触れないでください。
- ディスクに紙やシールを貼ったりしないでください。
- ディスクの表面に汚れや傷がついていると、再生されずに自動的にディスクトレイが開くことがあります。汚れがついている場合は、柔らかい布を使って拭き取ってください。

本機の読み取りレンズのクリーニングについて

- 市販のクリーニングディスクは絶対に使用しないでください。
- 読み取りレンズのクリーニングが必要な場合は、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

3D 映像の視聴に関するご注意

- 3D 映像の視聴中に目の疲労、体の疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D 映像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。
- 不快な症状が出たときは、回復するまで 3D 映像の視聴をやめてください。また、必要に応じて医師にご相談ください。
- 3D 映像の視聴に関しては、テレビやブルーレイディスクの取扱説明書もあわせてご覧ください。またテレビ画面に表示される 3D 映像に関するメッセージもよくお読みください。
- お子様（特に 6 歳未満）の視覚は発達段階にあります。お子様により 3D 映像の視聴については、小児科や眼科などの医師にご相談されることをおすすめします。
- 大人のかたは、お子様が上記の注意点を守るようご配慮ください。

Cinavia テクノロジーについて

Cinavia は、ブルーレイディスクプレーヤーなどに搭載されている、動画コンテンツのコピーを防止する技術です。

Cinavia により保護されているコンテンツを不正にコピーして本機で再生した場合、以下のメッセージ（英文）が表示され、再生が停止したり音声出力が無効になったりします。

Playback stopped. The content being played is protected by Cinavia® and is not authorized for playback on this device.

For more information, see http://www.cinavia.com. Message Code 1.

（参考訳）

再生が停止しました。再生されているコンテンツは Cinavia® により保護されており、この装置上での再生が許可されていません。

詳細は http://www.cinavia.com をご覧ください。メッセージコード 1

Audio outputs temporarily muted. Do not adjust the playback volume. The content being played is protected by Cinavia® and is not authorized for playback on this device.

For more information, see http://www.cinavia.com. Message Code 3.

（参考訳）

音声出力は一時的にミュート状態になっています。再生音量を調整しないでください。再生されているコンテンツは Cinavia® によって保護されており、この装置上での再生が認可されていません。

詳細は http://www.cinavia.com をご覧ください。メッセージコード 3

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、「http://www.cinavia.com」の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

用語 / 技術解説

映像 / ディスクに関する用語

色空間
立方的に記述される色の空間のことで、カラースペースとも呼ばれます。光の 3 原色（赤、緑、黄色）で表す RGB 色空間や、輝度信号（Y）と 2 種類の色差信号（CbCr）で表す YCbCr 色空間などがあります。

クローズドキャプション
映画やドラマなどの台詞や効果音などを文字情報に変換し、字幕のようにテレビ画面に表示する技術です。主に、聴覚障害者の方がテレビ放送やビデオソフトを楽しむために適用されています。

ブルーレイ 3D
ブルーレイディスクで 3D 映像を再生するための規格です。左右両目の視差を考慮した映像をフル HD で表示することで、立体的な映像を創りだします。

AVCHD（Advanced Video Coded High Definition）
ブルーレイディスクの BDMV フォーマットを応用した、ハイビジョン映像をビデオカメラで記録するための規格です。

BDAV（Blu-ray Disc Audio/Visual）
BD-R、BD-RE などの書き込み式ブルーレイディスクで採用されているアプリケーションフォーマットの 1 つです。BD レコーダーで編集できることを特徴とした規格です。

BD-Live
ブルーレイディスクの拡張規格の 1 つで、インターネット経由で特殊映像などの追加コンテンツを取得したり再生したりできます。BD-Live を楽しむには、取得したコンテンツを保存するための記憶装置（Local Storage）が必要になります。

BDMV（Blu-ray Disc Movie）
光ディスクメディアで採用されているアプリケーションフォーマットの 1 つで、ブルーレイディスクの読み出し用規格です。通称で BD-Video と呼ばれることもあります。

BONUSVIEW
ブルーレイディスクに記録された本編（主映像）を再生しながら、特典映像やサービスコンテンツなどの第 2 映像（Picture in Picture）や第 2 音声（Secondary Audio）を同時に再生する機能です。

DivX
DivX 社が開発したデジタルビデオコーデックの一種で、DivX 認証（DivX Certified）が付与されたブルーレイディスク /DVD プレーヤーなどの AV 機器で再生することができます。より詳しい情報は「www.divx.com」をご覧ください。

Deep Color
HDMI がサポートしている映像技術です。RGB または YCbCr 信号の階調を高めることで、より豊かな色調表現が可能です。表現できる色の数が従来の数百万色から数億色に増えたことにより、グラデーションの表現力や暗部のディテール再現力が向上します。

HDMI
世界業界標準規格である HDMI（High-Definition Multimedia Interface Specification）規格に準じた、デジタルインターフェースです。デジタルビデオ / オーディオ信号をデジタルのまま劣化させることなく、1 本のケーブルで伝送できます。また、著作権保護技術（HDCP：High-bandwidth Digital Content Protection System）に対応しています。より詳しい情報は「http://www.hdmi.org」をご覧ください。

x.v.Color
HDMI がサポートしている映像技術です。色空間規格の 1 つで、sRGB 規格より広い色空間を持っているため、今までできなかった色の表現が可能です。sRGB 規格との互換性を確保しながら色空間を拡張し、より鮮明で自然な映像になっています。

音声に関する用語

サンプリング周波数
1 秒間にサンプリング（信号の大きさを数値に置き換えること）する回数を示します。この数値が大きいほど再生可能な音域が広がります。

AAC（Advanced Audio Coding）
MPEG-2/MPEG-4 オーディオ規格の一つで、モノラル音声から 5.1 チャンネル音声までを効率良く圧縮できる音声フォーマットです。

ALAC（Apple Lossless Audio Codec）
アップル社により開発された音声圧縮方式の一つで、ロスレス（可逆型）圧縮方式を採用しています。圧縮率では非可逆圧縮方式フォーマットには劣るものの、音質の劣化がないため、高品質の音声を楽しめます。

Dolby Digital
ドルビーラボラトリーズにより開発された、5.1 チャンネル対応の圧縮音声フォーマットです。多くの DVD などで採用されています。

Dolby Digital Plus
ドルビーラボラトリーズにより開発された、7.1 チャンネル対応の圧縮音声フォーマットです。従来の Dolby Digital と互換性があるため、Dolby Digital 対応の機器でも再生できます。ブルーレイディスクなどで採用されています。

Dolby TrueHD
スタジオマスター品質の音声を家庭で再現するために、ドルビーラボラトリーズによって開発されたロスレス（可逆型）高品質音声フォーマットです。96kHz/24bit 時で最大 8 チャンネル（192kHz/24bit 時は最大 6 チャンネル）のディスクリート音声信号を収録・再生できます。

DSD（Direct Stream Digital）
スーパーオーディオ CD（SA-CD）などで採用されている、デジタル信号を記録する方式の一つです。2.8224Mbps のビットレートで記録され、CD よりも高音質な再生ができます。

DTS デジタルサラウンド
DTS 社により開発された、5.1 チャンネル対応の圧縮音声フォーマットです。多くの DVD などで採用されています。

DTS-HD High Resolution Audio
DTS 社により開発された高品質 96kHz/24bit 7.1 チャンネルに対応した圧縮音声フォーマットです。従来の DTS デジタルサラウンドと互換性があります。ブルーレイディスクなどで採用されています。

DTS-HD Master Audio
スタジオマスター品質の音声を家庭で再現するために、DTS 社により開発されたロスレス（可逆型）高品質音声フォーマットです。96kHz/24bit 時で最大 8 チャンネル（192kHz/24bit 時は最大 6 チャンネル）のディスクリート音声信号を収録・再生できます。ブルーレイディスクで採用されています。

DTS Neo:6
2 チャンネルで記録された信号のソースを、6 チャンネル音声に変換する技術です。映画用の Cinema モード、音楽用の Music モードが用意されています。ディスクリート方式で記録されたソースのようなチャンネル分離感を実現します。

FLAC（Free Lossless Audio Codec）
音声圧縮方式の一つで、ロスレス（可逆型）圧縮方式を採用しています。圧縮率では非可逆圧縮方式フォーマットには劣るものの、音質の劣化がないため、高品質の音声を楽しめます。

PCM（Pulse Code Modulation）
アナログ音声信号をデジタル音声信号に記録・変換・伝送する方式で、すべてのデジタル音声信号方式の基礎となる技術です。また非圧縮音声フォーマットとして、CD をはじめとしてブルーレイディスクなどさまざまなコンテンツで採用されており、リニア PCM とも呼ばれています。

ネットワークに関する用語

MAC アドレス
ネットワークに接続する各機器に割り当てられている識別番号で、ネットワーク機器間で通信先を特定するのに使用されます。

SSID（Service Set Identifier）
無線ネットワークのアクセスポイントを特定するための名前です。

Wi-Fi
無線電波による電子機器間でのデータ通信やインターネット接続を可能にする技術です。ケーブル接続の煩雑さがないのが利点です。Wi-Fi Alliance の互換性テストをクリアした製品のみに「Wi-Fi Certified」ロゴが付与されます。

WPS（Wi-Fi Protected Setup）
無線ネットワークを簡単に設定するための、Wi-Fi Alliance によって策定された規格です。

商標

ブルーレイディスク、ブルーレイ、ブルーレイ 3D、BD-Live、BONUSVIEW 及びその関連のロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。

DVD は DVD Format/Licensing Corporation の商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

米国特許 5,956,674、5,974,380、6,226,616、6,487,535、7,212,872、7,333,929、7,392,195、7,272,567 およびその他の国における特許（出願中含む）に基づき製造されています。DTS-HD および記号は DTS 社の登録商標です。また、DTS-HD Master Audio は DTS 社の商標です。製品にはソフトウェアを含みます。著作権 DTS 社。不許複製。

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国々における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

x.v.Color™

「x.v.Color」は、ソニー株式会社の商標です。

AVCHD および AVCHD ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

AVCREC および AVCREC ロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。

Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Bluetooth は米国 *Bluetooth* SIG, Inc. の登録商標です。

DLNA™ および DLNA CERTIFIED™ はデジタルリビングネットワークアライアンスの登録商標です。無断使用は固く禁じられています。

Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance の認証マークです。
Wi-Fi Protected Setup マークは Wi-Fi Alliance の認証マークです。
Wi-Fi、Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi Direct および Miracast は Wi-Fi Alliance の商標です。

DivX®、DivX Certified®、DivX Plus® HD、関連ロゴは、DivX, LLC の商標であり、使用には許可が必要です。

DivX Certified® は、プレミアムコンテンツを含む高画質 1080p HD の DivX® および DivX Plus® HD (H.264/MKV) 動画を再生。

DIVX

DivX Certified® デバイスは、DivX® の動画再生における厳密なテストに合格した製品です。

購入した DivX 映画を再生するには、まずお客様のデバイスを vod.divx.com で登録してください。本機の設定メニューの「DivX(R) VOD ROM」で、お客様の登録コードが表示できます。

Windows Media Player は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Copyright 2004-2012 Verance Corporation. Cinavia® は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。

This product is licensed under the AVC patent portfolio license and VC-1 patent portfolio license for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the AVC Standard and VC-1 Standard (“AVC/VC-1 Video”) and/or (ii) decode AVC/VC-1 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a video provider licensed to provide AVC/VC-1 Video. No license is granted or shall be implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA, LLC. See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MVC patent portfolio license for the personal use of a consumer or other uses in which it does not receive remuneration to (i) encode video in compliance with the MVC Standard (“MVC Video”) and/or (ii) decode MVC Video that was encoded by a consumer engaged in a personal activity and/or was obtained from a video provider licensed to provide MVC Video. No license is granted or shall be implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA, LLC. See http://www.mpegla.com

映像や音声には著作権で保護されているものがあります。その全体または一部を著作権者の承諾なしに複製・録音することはできません。

主な仕様

総合

- 電源電圧 ..... AC 100V 50/60Hz
- 消費電力 19W
- 待機時消費電力
  HDMI コントロールオフ / ネットワークスタンバイオフ
  ..... 0.2W
  HDMI コントロールオン / ネットワークスタンバイオフ
  ..... 0.3W
  HDMI コントロールオフ / ネットワークスタンバイオン
  有線ネットワーク接続 5.3W
  無線ネットワーク接続 5.0W
  HDMI コントロールオン / ネットワークスタンバイオン
  ..... 5.3W
- 寸法（幅 × 高さ × 奥行き） ..... 435×86×258mm
  （脚部、突起物を含む）
- 質量 2.9kg

オーディオ部

- 出力電圧（1kHz、0dB）
  ブルーレイディスク /DVD/CD-DA ..... 2±0.3V
- S/N 比
  ブルーレイディスク /DVD/CD-DA 115dB
- ダイナミックレンジ
  ブルーレイディスク /DVD 110dB
  CD-DA 100dB
- 全高調波歪率（1kHz）
  ブルーレイディスク /DVD/CD-DA 0.002%
- 周波数特性
  ブルーレイディスク /DVD（48kHz サンプリング）
  ..... 4Hz ～ 22kHz
  ブルーレイディスク /DVD（96kHz サンプリング）
  ..... 4Hz ～ 44kHz
  CD-DA ..... 4Hz ～ 20kHz

入力 / 出力

- HDMI 出力 ..... Type A コネクター ×1
  480i/576i/480p/576p/720p/1080i/1080p/1080p@24Hz
  Deep Color、x.v. Color 対応
- デジタル音声出力 ..... 光 ×1、同軸 ×1
- アナログ音声出力 ..... Mixed 2ch×1
- USB ..... Type A コネクター ×2
- 無線 LAN ..... 規格 IEEE 802.11 b/g/n
  周波数帯域：2.4GHz 帯（対応チャンネル：1ch ～ 13ch）
- *Bluetooth*
  規格 ..... *Bluetooth* Ver. 4.0
  対応プロファイル A2DP
  対応コーデック ..... SBC、AAC
  対応コンテンツ保護 ..... SCMS-T 方式
  周波数帯域 ..... 2.4GHz 帯
  無線出力 ..... *Bluetooth* Class 2
  最大通信距離 ..... 10m（妨害がないとき）
- その他 ..... REMOTE IN/OUT×1
  RS-232C×1（サービス用）
  NETWORK 端子 ×1

※ 仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

***Bluetooth* について**

- ***Bluetooth*** **とは、免許なしで使うことのできる 2.4GHz の周波数帯を使った短距離無線通信の規格です。約 10m までの *Bluetooth* に対応している機器どうしで通信することができます。**

***Bluetooth* 通信について**

- ***Bluetooth*** **機器が使用する 2.4GHz の周波数帯は、ほかのさまざまな機器でも使われています。これらの機器からの干渉を避けるため、*Bluetooth* 機器の通信速度が遅くなったり、通信距離が短くなったりする場合があります。**
- ***Bluetooth*** **の通信速度は、*Bluetooth* 機器間の距離、障害物、電波の状態、機器の種類などにより異なります。**

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 **この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。**

2 **万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。**

本機の無線方式について

(Wi-Fi)



「2.4」..... 2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「DS/OF」..... 変調方式は DS-SS および OFDM 方式
「4」..... 想定干渉距離が 40 m 以内
..... 全帯域を回避可能

(*Bluetooth*)



「2.4」..... 2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「FH/XX」..... 変調方式は周波数ホッピング（FH-SS）またはその他の方式
「1」..... 想定干渉距離が 10 m 以内
.....
全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。

ソフトウェア情報

以下は本機で使用しているソフトウェアに関する表示です。権利者の要請により英語原文を掲載しております。

This product uses the following free software.

For information (copyright, etc) about each software, please read the original sentences stated below.

■ About Linux kernel, D-Bus, cpio, samba, SquashFS, iputils, udhcpc, net-tools, iproute2, dibbler, sysvinit, module-init-tools, util-linux-ng, psmisc, coreutils, gawk, grep, findutils, bash, tar, sed, gzip, inetunitls, gdb (gdbserver), mtd-util, Wireless Tools, Fusion, msdl, e2fsprogs, gconv, oprofile, ntfsprogs, which, libnl

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright © 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you". Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.
   You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

   a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

   b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

   c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

   a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

   b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

   c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

> <one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
> Copyright © <year> <name of author>
>
> This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.
>
> This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.
>
> You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this

when it starts in an interactive mode:

> Gnomovision version 69, Copyright © year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type 'show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type 'show c' for details.

The hypothetical commands 'show w' and 'show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than 'show w' and 'show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

> Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program 'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
>
> <signature of Ty Coon>, 1 April 1989
>
> Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General

Public License instead of this License.

■ About gcc libgcc, gcc libstdc++

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 3, 29 June 2007

Copyright © 2007 Free Software Foundation, Inc. <http://fsf.org/>

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The GNU General Public License is a free, copyleft license for software and other kinds of works.

The licenses for most software and other practical works are designed to take away your freedom to share and change the works. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change all versions of a program--to make sure it remains free software for all its users. We, the Free Software Foundation, use the GNU General Public License for most of our software; it applies also to any other work released this way by its authors. You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for them if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs, and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to prevent others from denying you these rights or asking you to surrender the rights. Therefore, you have certain responsibilities if you distribute copies of the software, or if you modify it: responsibilities to respect the freedom of others.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must pass on to the recipients the same freedoms that you received. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

Developers that use the GNU GPL protect your rights with two steps:

(1) assert copyright on the software, and (2) offer you this License giving you legal permission to copy, distribute and/or modify it.

For the developers' and authors' protection, the GPL clearly explains that there is no warranty for this free software. For both users' and authors' sake, the GPL requires that modified versions be marked as changed, so that their problems will not be attributed erroneously to authors of previous versions.

Some devices are designed to deny users access to install or run modified versions of the software inside them, although the manufacturer can do so. This is fundamentally incompatible with the aim of protecting users' freedom to change the software. The systematic pattern of such abuse occurs in the area of products for individuals to use, which is precisely where it is most unacceptable. Therefore, we have designed this version of the GPL to prohibit the practice for those products. If such problems arise substantially in other domains, we stand ready to extend this provision to those domains in future versions of the GPL, as needed to protect the freedom of users.

Finally, every program is threatened constantly by software patents. States should not allow patents to restrict development and use of software on general-purpose computers, but in those that do, we wish to avoid the special danger that patents applied to a free program could make it effectively proprietary. To prevent this, the GPL assures that patents cannot be used to render the program non-free.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS

0. Definitions.

"This License" refers to version 3 of the GNU General Public License.

"Copyright" also means copyright-like laws that apply to other kinds of works, such as semiconductor masks.

"The Program" refers to any copyrightable work licensed under this License. Each licensee is addressed as "you". "Licensees" and "recipients" may be individuals or organizations.

To "modify" a work means to copy from or adapt all or part of the work in a fashion requiring copyright permission, other than the making of an exact copy. The resulting work is called a "modified version" of the earlier work or a work "based on" the earlier work.

A "covered work" means either the unmodified Program or a work based on the Program.

To "propagate" a work means to do anything with it that, without permission, would make you directly or secondarily liable for infringement under applicable copyright law, except executing it on a computer or modifying a private copy. Propagation includes copying, distribution (with or without modification), making available to the public, and in some countries other activities as well.

To "convey" a work means any kind of propagation that enables other parties to make or receive copies. Mere interaction with a user through a computer network, with no transfer of a copy, is not conveying.

An interactive user interface displays "Appropriate Legal Notices" to the extent that it includes a convenient and prominently visible feature that (1) displays an appropriate copyright notice, and (2) tells the user that there is no warranty for the work (except to the extent that warranties are provided), that licensees may convey the work under this License, and how to view a copy of this License. If the interface presents a list of user commands or options, such as a menu, a prominent item in the list meets this criterion.

1. Source Code.

The "source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. "Object code" means any non-source form of a work.

A "Standard Interface" means an interface that either is an official standard defined by a recognized standards body, or, in the case of interfaces specified for a particular programming language, one that is widely used among developers working in that language.

The "System Libraries" of an executable work include anything, other than the work as a whole, that (a) is included in the normal form of packaging a Major Component, but which is not part of that Major Component, and (b) serves only to enable use of the work with that Major Component, or to implement a Standard Interface for which an implementation is available to the public in source code form. A "Major Component", in this context, means a major essential component (kernel, window system, and so on) of the specific operating system (if any) on which the executable work runs, or a compiler used to produce the work, or an object code interpreter used to run it.

The "Corresponding Source" for a work in object code form means all the source code needed to generate, install, and (for an executable work) run the object code and to modify the work, including scripts to control those activities. However, it does not include the work's System Libraries, or general-purpose tools or generally available free programs which are used unmodified in performing those activities but which are not part of the work. For example, Corresponding Source includes interface definition files associated with source files for the work, and the source code for shared libraries and dynamically linked subprograms that the work is specifically designed to require, such as by intimate data communication or control flow between those subprograms and other parts of the work.

The Corresponding Source need not include anything that users can regenerate automatically from other parts of the Corresponding Source.

The Corresponding Source for a work in source code form is that same work.

2. Basic Permissions.

All rights granted under this License are granted for the term of copyright on the Program, and are irrevocable provided the stated conditions are met. This License explicitly affirms your unlimited permission to run the unmodified Program. The output from running a covered work is covered by this License only if the output, given its content, constitutes a covered work. This License acknowledges your rights of fair use or other equivalent, as provided by copyright law.

You may make, run and propagate covered works that you do not convey, without conditions so long as your license otherwise remains in force. You may convey covered works to others for the sole purpose of having them make modifications exclusively for you, or provide you with facilities for running those works, provided that you comply with the terms of this License in conveying all material for which you do not control copyright. Those thus making or running the covered works for you must do so exclusively on your behalf, under your direction and control, on terms that prohibit them from making any copies of your copyrighted material outside their relationship with you.

Conveying under any other circumstances is permitted solely under the conditions stated below. Sublicensing is not allowed; section 10 makes it unnecessary.

3. Protecting Users' Legal Rights From Anti-Circumvention Law.

No covered work shall be deemed part of an effective technological measure under any applicable law fulfilling obligations under article 11 of the WIPO copyright treaty adopted on 20 December 1996, or similar laws prohibiting or restricting circumvention of such measures.

When you convey a covered work, you waive any legal power to forbid circumvention of technological measures to the extent such circumvention is effected by exercising rights under this License with respect to the covered work, and you disclaim any intention to limit operation or modification of the work as a means of enforcing, against the work's users, your or third parties' legal rights to forbid circumvention of technological measures.

4. Conveying Verbatim Copies.

You may convey verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice; keep intact all notices stating that this License and any non-permissive terms added in accord with section 7 apply to the code; keep intact all notices of the absence of any warranty; and give all recipients a copy of this License along with the Program.

You may charge any price or no price for each copy that you convey, and you may offer support or warranty protection for a fee.

5. Conveying Modified Source Versions.

You may convey a work based on the Program, or the modifications to produce it from the Program, in the form of source code under the terms of section 4, provided that you also meet all of these conditions:

a) The work must carry prominent notices stating that you modified it, and giving a relevant date.

b) The work must carry prominent notices stating that it is released under this License and any conditions added under section

7. This requirement modifies the requirement in section 4 to "keep intact all notices".

c) You must license the entire work, as a whole, under this License to anyone who comes into possession of a copy. This License will therefore apply, along with any applicable section 7 additional terms, to the whole of the work, and all its parts, regardless of how they are packaged. This License gives no permission to license the work in any other way, but it does not invalidate such permission if you have separately received it.

d) If the work has interactive user interfaces, each must display Appropriate Legal Notices; however, if the Program has interactive interfaces that do not display Appropriate Legal Notices, your work need not make them do so.

A compilation of a covered work with other separate and independent works, which are not by their nature extensions of the covered work, and which are not combined with it such as to form a larger program, in or on a volume of a storage or distribution medium, is called an "aggregate" if the compilation and its resulting copyright are not used to limit the access or legal rights of the compilation's users beyond what the individual works permit. Inclusion of a covered work in an aggregate does not cause this License to apply to the other parts of the aggregate.

6. Conveying Non-Source Forms.

You may convey a covered work in object code form under the terms of sections 4 and 5, provided that you also convey the machine-readable Corresponding Source under the terms of this License, in one of these ways:

a) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by the Corresponding Source fixed on a durable physical medium customarily used for software interchange.

b) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by a written offer, valid for at least three years and valid for as long as you offer spare parts or customer support for that product model, to give anyone who possesses the object code either (1) a copy of the Corresponding Source for all the software in the product that is covered by this License, on a durable physical medium customarily used for software interchange, for a price no more than your reasonable cost of physically performing this conveying of source, or (2) access to copy the Corresponding Source from a network server at no charge.

c) Convey individual copies of the object code with a copy of the written offer to provide the Corresponding Source. This alternative is allowed only occasionally and noncommercially, and only if you received the object code with such an offer, in accord with subsection 6b.

d) Convey the object code by offering access from a designated place (gratis or for a charge), and offer equivalent access to the Corresponding Source in the same way through the same place at no further charge. You need not require recipients to copy the Corresponding Source along with the object code. If the place to copy the object code is a network server, the Corresponding Source may be on a different server (operated by you or a third party) that supports equivalent copying facilities, provided you maintain clear directions next to the object code saying where to find the Corresponding Source. Regardless of what server hosts the Corresponding Source, you remain obligated to ensure that it is available for as long as needed to satisfy these requirements.

e) Convey the object code using peer-to-peer transmission, provided you inform other peers where the object code and Corresponding Source of the work are being offered to the general public at no charge under subsection 6d.

A separable portion of the object code, whose source code is excluded from the Corresponding Source as a System Library, need not be included in conveying the object code work.

A "User Product" is either (1) a "consumer product", which means any tangible personal property which is normally used for personal, family, or household purposes, or (2) anything designed or sold for incorporation into a dwelling. In determining whether a product is a consumer product, doubtful cases shall be resolved in favor of coverage. For a particular product received by a particular user, "normally used" refers to a typical or common use of that class of product, regardless of the status of the particular user or of the way in which the particular user actually uses, or expects or is expected to use, the product. A product is a consumer product regardless of whether the product has substantial commercial, industrial or non-consumer uses, unless such uses represent the only significant mode of use of the product.

"Installation Information" for a User Product means any methods, procedures, authorization keys, or other information required to install and execute modified versions of a covered work in that User Product from a modified version of its Corresponding Source. The information must suffice to ensure that the continued functioning of the modified object code is in no case prevented or interfered with solely because modification has been made.

If you convey an object code work under this section in, or with, or specifically for use in, a User Product, and the conveying occurs as part of a transaction in which the right of possession and use of the User Product is transferred to the recipient in perpetuity or for a fixed term (regardless of how the transaction is characterized), the Corresponding Source conveyed under this section must be accompanied by the Installation Information. But this requirement does not apply if neither you nor any third party retains the ability to install modified object code on the User Product (for example, the work has been installed in ROM).

The requirement to provide Installation Information does not include a requirement to continue to provide support service, warranty, or updates for a work that has been modified or installed by the recipient, or for the User Product in which it has been modified or installed. Access to a network may be denied when the modification itself materially and adversely affects the operation of the network or violates the rules and protocols for communication across the network.

Corresponding Source conveyed, and Installation Information provided, in accord with this section must be in a format that is publicly documented (and with an implementation available to the public in source code form), and must require no special password or key for unpacking, reading or copying.

7. Additional Terms.

"Additional permissions" are terms that supplement the terms of thisLicense by making exceptions from one or more of its conditions. Additional permissions that are applicable to the entire Program shall be treated as though they were included in this License, to the extent that they are valid under applicable law. If additional permissions apply only to part of the Program, that part may be used separately under those permissions, but the entire Program remains governed by this License without regard to the additional permissions.

When you convey a copy of a covered work, you may at your option remove any additional permissions from that copy, or from any part of it. (Additional permissions may be written to require their own removal in certain cases when you modify the work.) You may place additional permissions on material, added by you to a covered work, for which you have or can give appropriate copyright permission.

Notwithstanding any other provision of this License, for material you add to a covered work, you may (if authorized by the copyright holders of that material) supplement the terms of this License with terms:

a) Disclaiming warranty or limiting liability differently from the terms of sections 15 and 16 of this License; or

b) Requiring preservation of specified reasonable legal notices or author attributions in that material or in the Appropriate Legal Notices displayed by works containing it; or

c) Prohibiting misrepresentation of the origin of that material, or requiring that modified versions of such material be marked in reasonable ways as different from the original version; or

d) Limiting the use for publicity purposes of names of licensors or authors of the material; or

e) Declining to grant rights under trademark law for use of some trade names, trademarks, or service marks; or

f) Requiring indemnification of licensors and authors of that material by anyone who conveys the material (or modified versions of it) with contractual assumptions of liability to the recipient, for any liability that these contractual assumptions directly impose on those licensors and authors.

All other non-permissive additional terms are considered "further restrictions" within the meaning of section 10. If the Program as you received it, or any part of it, contains a notice stating that it is governed by this License along with a term that is a further restriction, you may remove that term. If a license document contains a further restriction but permits relicensing or conveying under this License, you may add to a covered work material governed by the terms of that license document, provided that the further restriction does not survive such relicensing or conveying.

If you add terms to a covered work in accord with this section, you must place, in the relevant source files, a statement of the additional terms that apply to those files, or a notice indicating where to find the applicable terms.

Additional terms, permissive or non-permissive, may be stated in the form of a separately written license, or stated as exceptions; the above requirements apply either way.

8. Termination.

You may not propagate or modify a covered work except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to propagate or modify it is void, and will automatically terminate your rights under this License (including any patent licenses granted under the third paragraph of section 11).

However, if you cease all violation of this License, then your license from a particular copyright holder is reinstated (a) provisionally, unless and until the copyright holder explicitly and finally terminates your license, and (b) permanently, if the copyright holder fails to notify you of the violation by some reasonable means prior to 60 days after the cessation.

Moreover, your license from a particular copyright holder is reinstated permanently if the copyright holder notifies you of the violation by some reasonable means, this is the first time you have received notice of violation of this License (for any work) from that copyright holder, and you cure the violation prior to 30 days after your receipt of the notice.

Termination of your rights under this section does not terminate the licenses of parties who have received copies or rights from you under this License. If your rights have been terminated and not permanently reinstated, you do not qualify to receive new licenses for the same material under section 10.

9. Acceptance Not Required for Having Copies.

You are not required to accept this License in order to receive or run a copy of the Program. Ancillary propagation of a covered work occurring solely as a consequence of using peer-to-peer transmission to receive a copy likewise does not require acceptance. However, nothing other than this License grants you permission to propagate or modify any covered work. These actions infringe copyright if you do not accept this License. Therefore, by modifying or propagating a covered work, you indicate your acceptance of this License to do so.

10. Automatic Licensing of Downstream Recipients.

Each time you convey a covered work, the recipient automatically receives a license from the original licensors, to run, modify and propagate that work, subject to this License. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

An "entity transaction" is a transaction transferring control of an organization, or substantially all assets of one, or subdividing an organization, or merging organizations. If propagation of a covered work results from an entity transaction, each party to that transaction who receives a copy of the work also receives whatever licenses to the work the party's predecessor in interest had or could give under the previous paragraph, plus a right to possession of the Corresponding Source of the work from the predecessor in interest, if the predecessor has it or can get it with reasonable efforts.

You may not impose any further restrictions on the exercise of the rights granted or affirmed under this License. For example, you may not impose a license fee, royalty, or other charge for exercise of rights granted under this License, and you may not initiate litigation (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that any patent claim is infringed by making, using, selling, offering for sale, or importing the Program or any portion of it.

11. Patents.

A "contributor" is a copyright holder who authorizes use under this License of the Program or a work on which the Program is based. The work thus licensed is called the contributor's "contributor version".

A contributor's "essential patent claims" are all patent claims owned or controlled by the contributor, whether already acquired or hereafter acquired, that would be infringed by some manner, permitted by this License, of making, using, or selling its contributor version, but do not include claims that would be infringed only as a consequence of further modification of the contributor version. For purposes of this definition, "control" includes the right to grant patent sublicenses in a manner consistent with the requirements of this License.

Each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under the contributor's essential patent claims, to make, use, sell, offer for sale, import and otherwise run, modify and propagate the contents of its contributor version.

In the following three paragraphs, a "patent license" is any express agreement or commitment, however denominated, not to enforce a patent (such as an express permission to practice a patent or covenant not to sue for patent infringement). To "grant" such a patent license to a party means to make such an agreement or commitment not to enforce a patent against the party.

If you convey a covered work, knowingly relying on a patent license, and the Corresponding Source of the work is not available for anyone to copy, free of charge and under the terms of this License, through a publicly available network server or other readily accessible means, then you must either (1) cause the Corresponding Source to be so available, or (2) arrange to deprive yourself of the benefit of the patent license for this particular work, or (3) arrange, in a manner consistent with the requirements of this License, to extend the patent license to downstream recipients. "Knowingly relying" means you have actual knowledge that, but for the patent license, your conveying the covered work in a country, or your recipient's use of the covered work in a country, would infringe one or more identifiable patents in that country that you have reason to believe are valid.

If, pursuant to or in connection with a single transaction or arrangement, you convey, or propagate by procuring conveyance of, a covered work, and grant a patent license to some of the parties receiving the covered work authorizing them to use, propagate, modify or convey a specific copy of the covered work, then the patent license you grant is automatically extended to all recipients of the covered work and works based on it.

A patent license is "discriminatory" if it does not include within the scope of its coverage, prohibits the exercise of, or is conditioned on the non-exercise of one or more of the rights that are specifically granted under this License. You may not convey a covered work if you are a party to an arrangement with a third party that is in the business of distributing software, under which you make payment to the third party based on the extent of your activity of conveying the work, and under which the third party grants, to any of the parties who would receive the covered work from you, a discriminatory patent license (a) in connection with copies of the covered work conveyed by you (or copies made from those copies), or (b) primarily for and in connection with specific products or compilations that contain the covered work, unless you entered into that arrangement, or that patent license was granted, prior to 28 March 2007.

Nothing in this License shall be construed as excluding or limiting any implied license or other defenses to infringement that may otherwise be available to you under applicable patent law.

12. No Surrender of Others' Freedom.

If conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot convey a covered work so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not convey it at all. For example, if you agree to terms that obligate you to collect a royalty for further conveying from those to whom you convey the Program, the only way you could satisfy both those terms and this License would be to refrain entirely from conveying the Program.

13. Use with the GNU Affero General Public License.

Notwithstanding any other provision of this License, you have permission to link or combine any covered work with a work licensed under version 3 of the GNU Affero General Public License into a single combined work, and to convey the resulting work. The terms of this License will continue to apply to the part which is the covered work, but the special requirements of the GNU Affero General Public License, section 13, concerning interaction through a network will apply to the combination as such.

14. Revised Versions of this License.

The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the GNU General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies that a certain numbered version of the GNU General Public License "or any later version" applies to it, you have the option of following the terms and conditions either of that numbered version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of the GNU General Public License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

If the Program specifies that a proxy can decide which future versions of the GNU General Public License can be used, that proxy's public statement of acceptance of a version permanently authorizes you to choose that version for the Program.

Later license versions may give you additional or different permissions. However, no additional obligations are imposed on any author or copyright holder as a result of your choosing to follow a later version.

15. Disclaimer of Warranty.

THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. Limitation of Liability.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MODIFIES AND/OR CONVEYS THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

17. Interpretation of Sections 15 and 16.

If the disclaimer of warranty and limitation of liability provided above cannot be given local legal effect according to their terms, reviewing courts shall apply local law that most closely approximates an absolute waiver of all civil liability in connection with the Program, unless a warranty or assumption of liability accompanies a copy of the Program in return for a fee.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively state the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This program is free software: you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation, either version 3 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program. If not, see <http://www.gnu.org/licenses/>.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program does terminal interaction, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

<program> Copyright © <year> <name of author>

This program comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type 'show w'.

This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type 'show c' for details.

The hypothetical commands 'show w' and 'show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, your program's commands might be different; for a GUI interface, you would use an "about box".

You should also get your employer (if you work as a programmer) or school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary.

For more information on this, and how to apply and follow the GNU GPL, see

<http://www.gnu.org/licenses/>.

The GNU General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License. But first, please read

<http://www.gnu.org/philosophy/why-not-lgpl.html>.

GCC RUNTIME LIBRARY EXCEPTION

Version 3.1, 31 March 2009

Copyright c 2009 Free Software Foundation, Inc. <http://fsf.org/>

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

This GCC Runtime Library Exception ("Exception") is an additional permission under section 7 of the GNU General Public License, version 3 ("GPLv3"). It applies to a given file (the "Runtime Library") that bears a notice placed by the copyright holder of the file stating that the file is governed by GPLv3 along with this Exception.

When you use GCC to compile a program, GCC may combine portions of certain GCC header files and runtime libraries with the compiled program. The purpose of this Exception is to allow compilation of non-GPL (including proprietary) programs to use, in this way, the header files and runtime libraries covered by this Exception.

0. Definitions.

A file is an "Independent Module" if it either requires the Runtime Library for execution after a Compilation Process, or makes use of an interface provided by the Runtime Library, but is not otherwise based on the Runtime Library.

"GCC" means a version of the GNU Compiler Collection, with or without modifications, governed by version 3 (or a specified later version) of the GNU General Public License (GPL) with the option of using any subsequent versions published by the FSF.

"GPL-compatible Software" is software whose conditions of propagation, modification and use would permit combination with GCC in accord with the license of GCC.

"Target Code" refers to output from any compiler for a real or virtual target processor architecture, in executable form or suitable for input to an assembler, loader, linker and/or execution phase.

Notwithstanding that, Target Code does not include data in any format that is used as a compiler intermediate representation, or used for producing a compiler intermediate representation.

The “Compilation Process” transforms code entirely represented in non-intermediate languages designed for human-written code, and/or in Java Virtual Machine byte code, into Target Code. Thus, for example, use of source code generators and preprocessors need not be considered part of the Compilation Process, since the Compilation Process can be understood as starting with the output of the generators or preprocessors.

A Compilation Process is “Eligible” if it is done using GCC, alone or with other GPL-compatible software, or if it is done without using any work based on GCC. For example, using non-GPL-compatible Software to optimize any GCC intermediate representations would not qualify as an Eligible Compilation Process.

1. Grant of Additional Permission.

You have permission to propagate a work of Target Code formed by combining the Runtime Library with Independent Modules, even if such propagation would otherwise violate the terms of GPLv3, provided that all Target Code was generated by Eligible Compilation Processes.

You may then convey such a combination under terms of your choice, consistent with the licensing of the Independent Modules.

2. No Weakening of GCC Copyleft.

The availability of this Exception does not imply any general presumption that third-party software is unaffected by the copyleft requirements of the license of GCC.

■ About glibc, libmtp, libusb, libusb-compat, DirectFB, SaWMan, Qt

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author’s reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the “Lesser” General Public License because it does Less to protect the user’s freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users’ freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a “work based on the library” and a “work that uses the library”. The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called “this License”). Each licensee is addressed as “you”.

A “library” means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The “Library”, below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A “work based on the Library” means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modification”.)

“Source code” for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library’s complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

   a) The modified work must itself be a software library.

   b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

   c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

   d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

   (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a “work that uses the Library”. Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a “work that uses the Library” with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a “work that uses the library”. The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a “work that uses the Library” uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a ‘work that uses the Library” with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer’s own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable “work that uses the Library”, as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user’s computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the “work that uses the Library” must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

   a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

   b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients’ exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.> Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990 Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

■ About Live555, procps (ps, top), libavformat, libavutil, libavcodec, zziplib

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1991 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the library GPL. It is numbered 2 because it goes with version 2 of the ordinary GPL.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Library General Public License, applies to some specially designated Free Software Foundation software, and to any other libraries whose authors decide to use it. You can use it for your libraries, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link a program with the library, you must provide complete object files to the recipients so that they can relink them with the library, after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

Our method of protecting your rights has two steps: (1) copyright the library, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

Also, for each distributor's protection, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free library. If the library is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original version, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that companies distributing free software will individually obtain patent licenses, thus in effect transforming the program into proprietary software. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License, which was designed for utility programs. This license, the GNU Library General Public License, applies to certain designated libraries. This license is quite different from the ordinary one; be sure to read it in full, and don't assume that anything in it is the same as in the ordinary license.

The reason we have a separate public license for some libraries is that they blur the distinction we usually make between modifying or adding to a program and simply using it. Linking a program with a library, without changing the library, is in some sense simply using the library, and is analogous to running a utility program or application program. However, in a textual and legal sense, the linked executable is a combined work, a derivative of the original library, and the ordinary General Public License treats it as such.

Because of this blurred distinction, using the ordinary General Public License for libraries did not effectively promote software sharing, because most developers did not use the libraries. We concluded that weaker conditions might promote sharing better.

However, unrestricted linking of non-free programs would deprive the users of those programs of all benefit from the free status of the libraries themselves. This Library General Public License is intended to permit developers of non-free programs to use free libraries, while preserving your freedom as a user of such programs to change the free libraries that are incorporated in them. (We have not seen how to achieve this as regards changes in header files, but we have achieved it as regards changes in the actual functions of the Library.) The hope is that this will lead to faster development of free libraries.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, while the latter only works together with the library.

Note that it is possible for a library to be covered by the ordinary General Public License rather than by this special one.

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Library General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a “work that uses the Library”. Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a “work that uses the Library” with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a “work that uses the library”. The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a “work that uses the Library” uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also compile or link a “work that uses the Library” with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer’s own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable “work that uses the Library”, as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

c) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place

d) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the “work that uses the Library” must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients’ exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Library General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the “copyright” line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library’s name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Library General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Library General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Library General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a “copyright disclaimer” for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library ‘Frob’ (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That’s all there is to it!

■ About bison_parser

Conditions for Using Bison

The distribution terms for Bison-generated parsers permit using the parsers in nonfree programs. Before Bison version 2.2, these extra permissions applied only when Bison was generating LALR(1) parsers in C. And before Bison version 1.24, Bison-generated parsers could be used only in programs that were free software.

The other GNU programming tools, such as the GNU C compiler, have never had such a requirement. They could always be used for nonfree software. The reason Bison was different was not due to a special policy decision; it resulted from applying the usual General Public License to all of the Bison source code.

The main output of the Bison utility?the Bison parser implementation file?contains a verbatim copy of a sizable piece of Bison, which is the code for the parser’s implementation. (The actions from your grammar are inserted into this implementation at one point, but most of the rest of the implementation is not changed.) When we applied the GPL terms to the skeleton code for the parser’s implementation, the effect was to restrict the use of Bison output to free software.

We didn’t change the terms because of sympathy for people who want to make software proprietary. Software should be free. But we concluded that limiting Bison’s use to free software was doing little to encourage people to make other software free. So we decided to make the practical conditions for using Bison match the practical conditions for using the other GNU tools.

This exception applies when Bison is generating code for a parser. You can tell whether the exception applies to a Bison output file by inspecting the file for text beginning with “As a special exception...”. The text spells out the exact terms of the exception.

■ About cURL, libcurl

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright © 1996 - 2009, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.
All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

■ About c-ares

Copyright 1998 by the Massachusetts Institute of Technology.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of M.I.T. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

M.I.T. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided “as is” without express or implied warranty.

■ About Expat

Copyright © 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd
and Clark Cooper

Copyright © 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the “Software”), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ About libxml2

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright © 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the “Software”), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

■ About NTP

Copyright © University of Delaware 1992-2012

Permission to use, copy, modify, and distribute this software andits documentation for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided “as is” without express or implied warranty.

■ About tcpdump

License: BSD

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The names of the authors may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS” AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

■ About tinyxml

www.sourceforge.net/projects/tinyxml

Original code (2.0 and earlier)copyright © 2000-2006 Lee Thomason (www.grinninglizard.com)

This software is provided ‘as-is’, without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

■ About dmalloc

This is a version (aka dlmalloc) of malloc/free/realloc written by Doug Lea and released to the public domain, as explained at http://creativecommons.org/licenses/publicdomain. Send questions,comments, complaints, performance data, etc to dl@cs.oswego.edu.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE CRYPTIX FOUNDATION LIMITED AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.IN NO EVENT SHALL THE CRYPTIX FOUNDATION LIMITED OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ About DMG’s dtoa and strtod

The author of this software is David M. Gay.

Copyright © 1991, 2000, 2001 by Lucent Technologies.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED “AS IS”, WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR LUCENT MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

■ About EMX_sprintf_sscanf

The emx libraries are not distributed under the GPL. Linking an application with the emx libraries does not cause the executable to be covered by the GNU General Public License. You are allowed to change and copy the emx library sources if you keep the copyright message intact. If you improve the emx libraries, please send your enhancements to the emx author (you should copyright your enhancements similar to the existing emx libraries).

■ About Lua

The MIT License (MIT)

Copyright ©1994-2013 Lua.org, PUC-Rio.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the “Software”), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ About ncurses

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Copyright © 1998-2000,2006 Free Software Foundation, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining acopy of this software and associated documentation files (the”Software”), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge,

publish,-- distribute, distribute with modifications, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name(s) of the above copyright holders shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization.

■ About popt

Copyright © 1998 Red Hat Software

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the “Software”), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE X CONSORTIUM BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of the X Consortium shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from the X Consortium.

■ About protobuf

Copyright © 2008, Google Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Google Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Code generated by the Protocol Buffer compiler is owned by the owner of the input file used when generating it. This code is not standalone and requires a support library to be linked with it. This support library is itself covered by the above license.

■ About UnZip

Copyright © 1990-2009 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, “Info-ZIP” is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided “as is,” without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. Additional documentation is not needed for executables where a command line license option provides these and a note regarding this option is in the executable’s startup banner. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names “Info-ZIP” (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), “Pocket UnZip,” “WiZ” or “MacZip” without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
4. Info-ZIP retains the right to use the names “Info-ZIP,” “Zip,” “UnZip,” “UnZipSFX,” “WiZ,” “Pocket UnZip,” “Pocket Zip,” and “MacZip” for its own source and binary releases.

■ About zlib

Copyright notice:

© 1995-2004 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided ‘as-is’, without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software. Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler

jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes. Please read the FAQ for more information on the distribution of modified source versions.

■ About 3DES

3DES

Des3Cipher - the triple-DES encryption method

Copyright © 1996 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Visit the ACME Labs Java page for up-to-date versions of this and other fine Java utilities: http:www.acme.com/java/

■ About AES

Cryptix General License

Copyright © 1995-2005 The Cryptix Foundation Limited. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

■ About DES

DES
DesCipher - the DES encryption method

The meat of this code is by Dave Zimmerman <dzimm@widget.com>, and is:

Copyright © 1996 Widget Workshop, Inc. All Rights Reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for NON-COMMERCIAL or COMMERCIAL purposes and without fee is hereby granted, provided that this copyright notice is kept intact.

WIDGET WORKSHOP MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES ABOUT THE SUITABILITY OF THE SOFTWARE, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. WIDGET WORKSHOP SHALL NOT BE LIABLE FOR ANY DAMAGES SUFFERED BY LICENSEE AS A RESULT OF USING, MODIFYING OR DISTRIBUTING THIS SOFTWARE OR ITS DERIVATIVES.

THIS SOFTWARE IS NOT DESIGNED OR INTENDED FOR USE OR RESALE AS ON-LINE CONTROL EQUIPMENT IN HAZARDOUS ENVIRONMENTS REQUIRING FAIL-SAFE PERFORMANCE, SUCH AS IN THE OPERATION OF NUCLEAR FACILITIES, AIRCRAFT NAVIGATION OR COMMUNICATION SYSTEMS, AIR TRAFFIC CONTROL, DIRECT LIFE SUPPORT MACHINES, OR WEAPONS SYSTEMS, IN WHICH THE FAILURE OF THE SOFTWARE COULD LEAD DIRECTLY TO DEATH, PERSONAL INJURY, OR SEVERE PHYSICAL OR ENVIRONMENTAL DAMAGE (“HIGH RISK ACTIVITIES”). WIDGET WORKSHOP SPECIFICALLY DISCLAIMS ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY OF FITNESS FOR HIGH RISK ACTIVITIES.

The rest of the code is:

Copyright © 1996 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Visit the ACME Labs Java page for up-to-date versions of this and other fine Java utilities: http:www.acme.com/java/

■ About OpenSSL

Copyright © 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
   “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)”
4. The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
   ‘This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young’s, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   “This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)” The word ‘cryptographic’ can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
   “This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

■ About WPA Supplicant, WPA Supplicant (WPS)

WPA Supplicant

Copyright © 2003-2012, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors

All Rights Reserved.

This program is licensed under the BSD license (the one with advertisement clause removed).

If you are submitting changes to the project, please see CONTRIBUTIONS file for more instructions.

License

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ About FreeType

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by
David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

– We don’t promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. (‘as is’ distribution)
– You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. (‘royalty-free’ usage)
– You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. (‘credits’)

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products. We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

Portions of this software are copyright © <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms

0. Definitions

Throughout this license, the terms ‘package’, ‘FreeType Project’, and ‘FreeType archive’ refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the ‘FreeType Project’, be they named as alpha, beta or final release.

‘You’ refers to the licensee, or person using the project, where ‘using’ is a generic term including compiling the project’s source code as well as linking it to form a ‘program’ or ‘executable’. This program is referred to as ‘a program using the FreeType engine’.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright © 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED ‘AS IS’ WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:
– Redistribution of source code must retain this license file (‘FTL.TXT’) unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.
– Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn’t mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: ‘FreeType Project’, ‘FreeType Engine’, ‘FreeType library’, or ‘FreeType Distribution’.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:
freetype@nongnu.org

Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven’t found anything to help you in the documentation.

o freetype-devel@nongnu.org

Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at

http://www.freetype.org

■ About fonts

Fonts are © Bitstream (see below). DejaVu changes are in public domain.

Glyphs imported from Arev fonts are © Tavmjong Bah (see below)

Bitstream Vera Fonts Copyright

Copyright © 2003 by Bitstream, Inc. All Rights Reserved. Bitstream Vera is a trademark of Bitstream, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the fonts accompanying this license (“Fonts”) and associated documentation files (the “Font Software”), to reproduce and distribute the Font Software, including without limitation the rights to use, copy, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Font Software, and to permit persons to whom the Font Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright and trademark notices and this permission notice shall be included in all copies of one or more of the Font Software typefaces.

The Font Software may be modified, altered, or added to, and in particular the designs of glyphs or characters in the Fonts may be modified and additional glyphs or characters may be added to the Fonts, only if the fonts are renamed to names not containing either the words “Bitstream” or the word “Vera”.

This License becomes null and void to the extent applicable to Fonts or Font Software that has been modified and is distributed under the “Bitstream Vera” names.

The Font Software may be sold as part of a larger software package but no copy of one or more of the Font Software typefaces may be sold by itself.

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL BITSTREAM OR THE GNOME FOUNDATION BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the names of Gnome, the Gnome Foundation, and Bitstream Inc., shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Font Software without prior written authorization from the Gnome Foundation or Bitstream Inc., respectively. For further information, contact: fonts at gnome dot org.

Arev Fonts Copyright

Copyright © 2006 by Tavmjong Bah. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the fonts accompanying this license (“Fonts”) and associated documentation files (the “Font Software”), to reproduce and distribute the modifications to the Bitstream Vera Font Software, including without limitation the rights to use, copy, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Font Software, and to permit persons to whom the Font Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright and trademark notices and this permission notice shall be included in all copies of one or more of the Font Software typefaces.

The Font Software may be modified, altered, or added to, and in particular the designs of glyphs or characters in the Fonts may be modified and additional glyphs or characters may be added to the Fonts, only if the fonts are renamed to names not containing either the words “Tavmjong Bah” or the word “Arev”.

This License becomes null and void to the extent applicable to Fonts or Font Software that has been modified and is distributed under the “Tavmjong Bah Arev” names.

The Font Software may be sold as part of a larger software package but no copy of one or more of the Font Software typefaces may be sold by itself.

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL TAVMJONG BAH BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Tavmjong Bah shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Font Software without prior written authorization from Tavmjong Bah. For further information, contact: tavmjong@free. fr.

■ About International Components for Unicode

ICU License - ICU 1.8.1 and later
COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright © 1995-2003 International Business Machines Corporation and others
All rights reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the “Software”), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, provided that the above copyright notice(s) and this permission notice appear in all copies of the Software and that both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in supporting documentation.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

All trademarks and registered trademarks mentioned herein are the property of their respective owners.

■ About Independent JPEG Group’s software, libjpeg

In plain English:

1. We don’t promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)

2. You can use this software for whatever you want. You don’t have to pay us.

3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you’ve used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided “AS IS”, and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright © 1991-2009, Thomas G. Lane, Guido Vollbeding.

All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.

(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that “this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group”.

(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author’s name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as “the Independent JPEG Group’s software”.

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script “configure” was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by X Consortium but is also freely distributable.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce “uncompressed GIFs”. This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that

“The Graphics Interchange Format© is the Copyright property of

CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of

CompuServe Incorporated.”

■ About libpng

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence. This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.47, February 18, 2012, are Copyright © 2004, 2006-2009 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright © 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux

Eric S. Raymond

Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright © 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane

Glenn Randers-Pehrson

Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright © 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler

Kevin Bracey

Sam Bushell

Magnus Holmgren

Greg Roelofs

Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright © 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, “Contributing Authors” is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger

Dave Martindale

Guy Eric Schalnat

Paul Schmidt

Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied “AS IS”. The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.

2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.

3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A “png_get_copyright” function is available, for convenient use in “about” boxes and the like:

printf(“%s”,png_get_copyright(NULL));

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files “pngbar.png” and “pngbar.jpg (88x31) and “pngnow.png” (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson

glennrp at users.sourceforge.net

February 18, 2012

■ About Apple Lossless Audio Codec

Copyright © 2011 Apple Inc. All rights reserved.

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the “License”); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

■ About FLAC codec library

Copyright © 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

– Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

– Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

– Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

数字

10 秒リプレイ　31
30 秒サーチ　31
3D　12
3D メッセージ　43

A

AAC（Advanced Audio Coding）　63
A-B リピート再生　28
ALAC（Apple Lossless Audio Codec）　63
AV CONTROLLER　38
AVCHD　24

B

BDAV（Blu-ray Disc Audio/Visual）　63
BD-Live　34
BDMV（Blu-ray Disc Movie）　63
Bluetooth　36
BONUSVIEW　33

D

Deep Color　63
DIMMER　11
DivX　63
DLNA　16
Dolby Digital　63
Dolby Digital Plus　63
Dolby TrueHD　64
Dropbox　34
DSD　64
DTS Neo:6　64
DTS-HD High Resolution Audio　64
DTS-HD Master Audio　64
DTS デジタルサラウンド　64

F

FLAC（Free Lossless Audio Codec）　64

H

HDMI ケーブル　13
HDMI コントロール　12

M

Miracast　37

P

PBC（無線接続）　20
PCM　64
Picasa ウェブアルバム　34
Picture in Picture　33
PIN（無線接続）　20
PURE DIRECT　29

R

REMOTE CONTROL 端子　17

S

SA-CD　7
Secondary Audio　33
SSID（Service Set Identifier）　64

U

USB メモリー　17

W

WPS　20

X

x.v.Color　63

Y

YouTube　34

あ

アスペクト比　47
アングル　29

い

色空間　63

お

オンスクリーンメニュー　30

か

カラースペース　48
簡単セットアップ　19

く

クローズドキャプション　49

こ

更新メッセージ　43

さ

サーチ（無線接続）　20
サーチ再生　28
サンプリング周波数　63

し

システム情報　51
視聴制限　45
字幕　29
シャッフル再生　27

す

スーパーオーディオ CD　7
ステレオピンケーブル　13
スライドショー再生　25

せ

設定メニュー　39
前面ディスプレイの明るさ　11

そ

ソフトウェアの更新　21

た
第 2 映像　33
第 2 音声　33
タイトル　30

ち
チャプター　30

て
ディマー　11
デインターレース　49
デジタル・メディア・コントローラー　16
デフォルト設定　42

と
同軸デジタルケーブル　13
トラック　30

ね
ネットワークコントロール　46

の
ノイズリダクション　49

は
ハイブリッドレイヤー　7
パスワード　45

ひ
光デジタルケーブル　13
ピュアダイレクト　29

ふ
ファイナライズ　6
ファイル　30
ブルーレイ 3D　12
プロキシ設定　46
プログラム再生　26

へ
ペアリング（*Bluetooth*）　36

ほ
ポストプロセス　51

み
ミラキャスト　37

む
無線接続（設定）　20

め
メディアの共有設定　16

ら
ランダム再生　27

り
リージョン　7
リピート再生　27
リモート接続　17
リモコン ID　11

ろ
ローカルストレージ　34、43

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



「ご注意ください」という注意喚起を示します。



「〜しないでください」という「禁止」を示します。



「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠警告

電源 / 電源コード



電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- **異常なにおいや音がする。**
- **煙が出る。**
- **内部に水や異物が混入した。**
- **異常に高温になる。**

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



電源コードを傷つけない。

- **重いものを上に載せない。**
- **ステープルで止めない。**
- **加工をしない。**
- **熱器具には近づけない。**
- **無理な力を加えない。**

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず AC100V（50/60Hz）の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

電池



付属の電池を充電しない。
電池の破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池からもれ出た液には直接触れない。
液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止



分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



本機を下記の場所には設置しない。
- **浴室・台所・海岸・水辺**
- **加湿器を過度にきかせた部屋**
- **雨や雪、水がかかるところ**

水の混入により、火災や感電の原因になります。



放熱のため本機を設置する際には：
- **布やテーブルクロスをかけない。**
- **じゅうたん・カーペットの上には設置しない。**
- **仰向けや横倒しには設置しない。**
- **通気性の悪い狭いところへは押し込まない。**

（本機の周囲に左右 10cm、上 10cm、背面 10cm 以上のスペースを確保する。）
本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。



心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用する。
本機が発生する電波により、ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

設置



医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。
電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

使用上のご注意



ディスクの挿入口や放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
火災や感電の原因になります。



本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。



本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。



レーザー光源をのぞき込まない。
レーザー光が目に当たると、視覚障害の原因になります。

お手入れ



電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

⚠注意

電源 / 電源コード



本機を主電源から完全に切り離すには、電源プラグをコンセントから抜く。
本体の ⏻ ボタンでスタンバイ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。

電池



電池は極性表示（プラス＋とマイナス－）に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



長時間使用しない場合は、電池を電池ケースから抜いておく。
電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



電池は幼児の手の届かない所に保管する。
口に入れたりすると危険です。



使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外し、自治体の条例、または取り決めに従って廃棄する。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

設置



不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。



ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。



他の電気製品を本機の上に置かない。
本機の上部は高温になります。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

移動



移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上のご注意



ディスクをセットする際は、手をディスクトレイに挟まれないよう注意する。
閉めるときに挟まれて、けがの原因になることがあります。

使用上のご注意



音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



ディスクの挿入口には手を入れない。
本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。
ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。



環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



業務用機器とは接続しない。
デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。

お手入れ



手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。



薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。
また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ヤマハお客様コミュニケーションセンター
オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通） 0570-011-808

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053)460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付:月～金曜日 10:00～18:00　土曜日 10:00～17:00
（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

■ ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル（全国共通） 0570-012-808

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053)460-4830

受付:月～金曜日 9:00～18:00　土曜日 9:00～17:00
（日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03)5762-2125

九州、沖縄、中国、四国、近畿、北陸地域にお住まいのお客様
(06)6465-0367

修理品お持ち込み窓口
受付:月～金曜日 9:00～17:45
（土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く）

東日本サービスセンター
〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター
〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82
ユニバーサル・シティ和幸ビル9F
FAX (06) 6465-0374

＊ 名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● **保証期間**
製品に添付されている保証書をご覧ください。

● **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● **修理料金の仕組み**

技術料　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！

愛情点検

こんな症状はありませんか？
- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、
必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社
〒430-8650　浜松市中区中沢町10-1



ヤマハ株式会社

© 2014 Yamaha Corporation

Printed in China BD-A1040/J